

Supplement for Video Communication System

操作ガイド _____ **JP**

最初にお読みください！

Operation Guide _____ **GB**

Please read it before proceeding!

Guide d'utilisation _____ **FR**

Lisez-le avant de continuer!

Bedienanleitung _____ **DE**

Lesen Sie sie bitte, bevor Sie fortfahren!

Guía de funcionamiento _____ **ES**

Léalo antes de continuar!

Guida per l'uso _____ **IT**

Leggere attentamente prima di procedere!

操作指南 _____ **CS**

敬请操作之前阅读！

Guia de Operação _____ **PT**

Leia antes de continuar!

PCS-11/11P



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



スラグをコンセントから抜く

はじめてお使いになるときに

この操作マニュアルは、2 地点間のテレビ会議で、日常の会議を始めるところから終了するまでの操作を簡単に説明しています。より詳しい操作方法や会議に必要なさまざまな設定については、付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は付属の CD-ROM に PDF 形式で入っています。取扱説明書をお読みになるには、Adobe[®] Acrobat^{®*} Reader が必要です。パソコンに Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、4 ページに示したホームページからダウンロードしてください。

取扱説明書の見かた

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM 「Manuals for Video Communication System」を挿入する。

しばらくすると、画面に CD-ROM の内容が表示されます。

2 「Japanese」というファイル名の PDF をダブルクリックする。

Adobe Acrobat Reader が起動し、本機の取扱説明書の表紙が画面に表示されます。

「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

Adobe Acrobat Reader5.0J のインストール

Adobe Acrobat Reader5.0J をインストールするために必要なハードウェア、ソフトウェアは以下のとおりです。

- Intel[®] Pentium[®] または 100 パーセント互換のプロセッサを搭載したパソコン
- Microsoft[®] Windows^{®**} 98 SE、Windows Millennium、Windows NT^{®**} 4.0 Service Pack 5 または Windows 2000 以降
- 64MB 以上の RAM
- 70MB 以上のハードディスクの空き容量

Adobe Acrobat Reader は下記のホームページから最新版が無料で入手できます。

* Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

** Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

日本向け [http://
www.adobe.co.jp/products/
acrobat/readstep.html](http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html)

北米向け [http://
www.adobe.com/products/
acrobat/readstep.html](http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html)

欧州向け [http://
www.adobe.com/products/
acrobat/acrrcenteuro.html](http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html)

目次

⚠ 警告.....	6
⚠ 注意.....	7
電池についての安全上のご注意	9
電源を入れる	10
相手を呼び出す	11
映像や音声を調節する	14
カメラアングルとズームを調節する	14
音量を調節する	15
会議を終了する	16
回線を切る	16
システムをスタンバイ状態にする	16
ヘルプを表示する	18
システムの接続	19
接続例 (LAN 接続)	19
接続例 (ISDN 接続)	20
仕様	21

付属の CD-ROM には、本機のより詳しい情報を記載した取扱説明書が収録されています。操作ガイドと併せてお読みください。



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけない



禁止

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、ほこりの多い場所には置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺の物品に損害**を与えることがあります

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

通気孔をふさがない



禁止

通気孔をふさぐと、本機内部に熱がこもり、発煙、発火などが起こり、やけどの原因になることがあります。

接続の際は電源を切る



注意

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

付属の AC アダプターや、電源コード、接続コードを使う



指示

付属の AC アダプターや電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因になることがあります。

付属の AC アダプターは指定された製品以外には使用しない



禁止

指定された製品以外に使用すると、故障の原因になることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ぬれた手で AC アダプターにさわらない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く



指示

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に
損害を与えることがあります

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない



禁止

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となります。特に窓際に置くときなどご注意ください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください

電池についての安全 上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

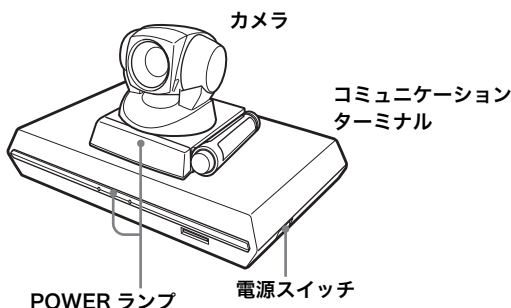
- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機を廃棄する場合は、内蔵の電池を小型化学廃棄物として処理する必要がありますので、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

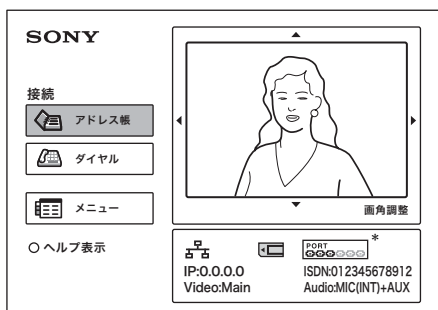
電源を入れる

- 1 モニター用テレビの電源を入れる。
- 2 会議で使用するその他の機器の電源を入れる。
- 3 コミュニケーションターミナル右側面の電源スイッチをオン（I側）にする。



しばらくすると、コミュニケーションターミナルの電源が入ります。コミュニケーションターミナル前面の3つのランプとカメラのPOWERランプがいったんすべて点灯し、その後、POWERランプだけが緑色に点灯します。

モニター用テレビにはランチャーメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。



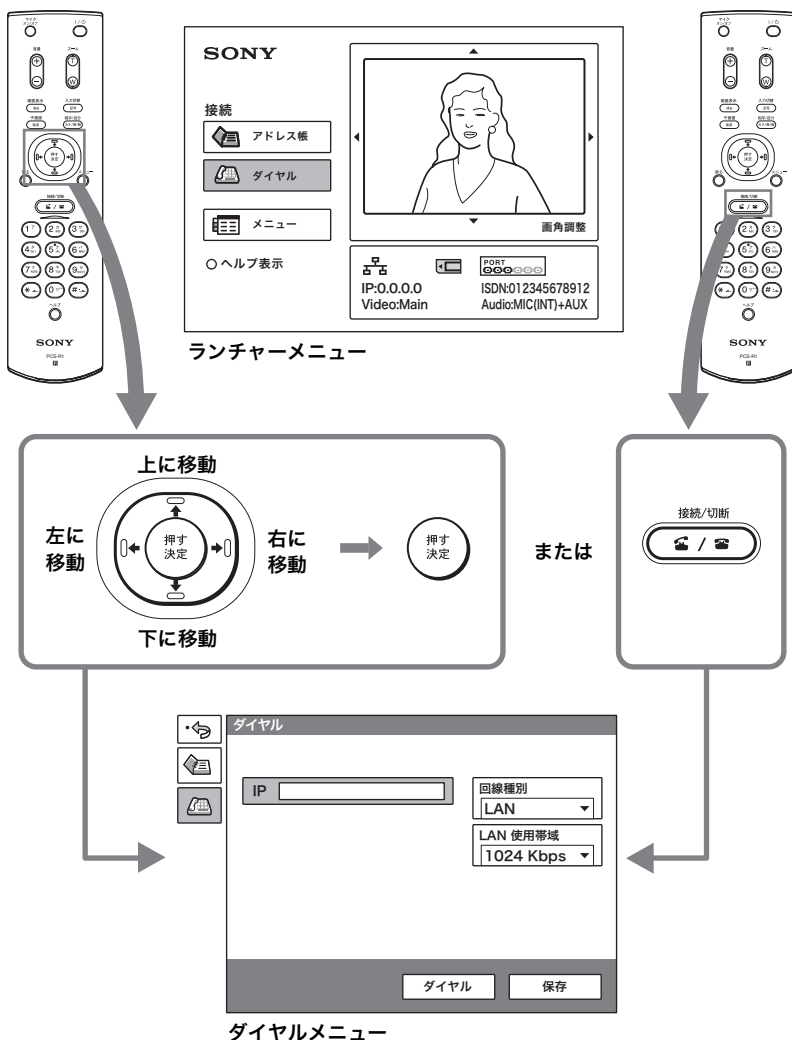
* この操作ガイドに記載のランチャーメニューのイラストは ISDN ユニット PCS-B768 使用時の例です。ISDN ユニット PCS-B384 使用時は、ISDN ポートインジケータの表示が異なります。

相手呼び出す

ここでは、アドレス帳に登録されていない相手呼び出す方法を説明します。

- 1 リモコンの▲/▼/◀/▶ ボタンを押してランチャーメニューの「ダイヤル」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの接続/切断 (☎ / ☎) ボタンを押す。

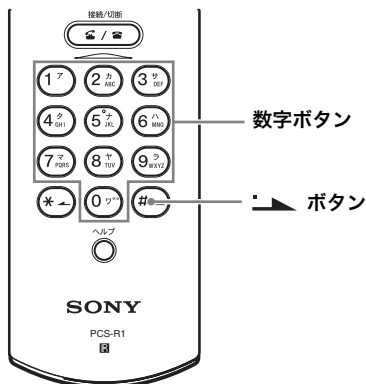
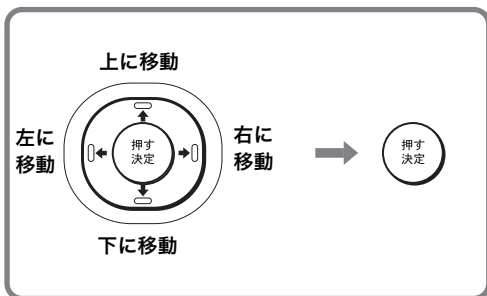
ダイヤルメニューが表示されます。



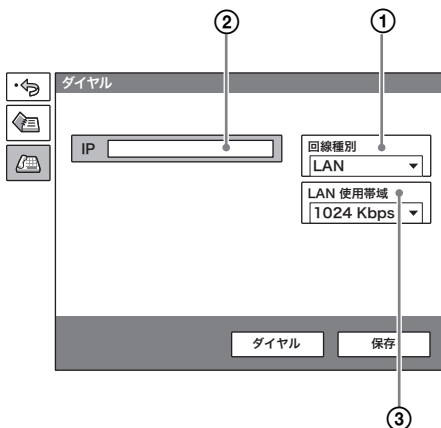
2 ダイアルメニューを設定する。

リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押して決定します。

数字ボタンと \blacktriangleleft ボタンで数値を入力します。

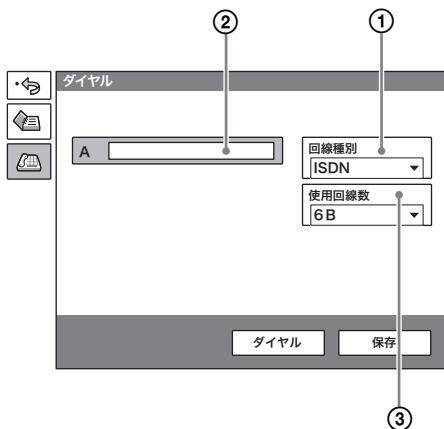


LAN を使用する場合



- ① 「回線種別」を選び、表示される項目から LAN を選ぶ。
- ② IP アドレス入力欄を選び、リモコンの数字ボタンと \blacktriangleleft ボタン (ピリオド) で相手の IP アドレスを入力する。
- ③ 「LAN 使用帯域」を選び、使用する帯域幅を選ぶ。

ISDN 回線を使用する場合



- ① 「回線種別」を選び、表示される項目から ISDN を選ぶ。
- ② 電話番号入力欄を選び、リモコンの数字ボタンで相手の回線番号を入力する。
- ③ 「使用回線数」を選び、使用する ISDN 回線のチャンネル数を選ぶ。

3 リモコンの \blacktriangleleft / \blacktriangleright / \blacktriangleleft / \blacktriangleright ボタンを押してダイヤルメニューの「ダイヤル」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの接続/切断 (☎ / ☎) ボタンを押す。

相手側とつながると「ミーティングを始めます。」と表示され、以下のような画面になります。

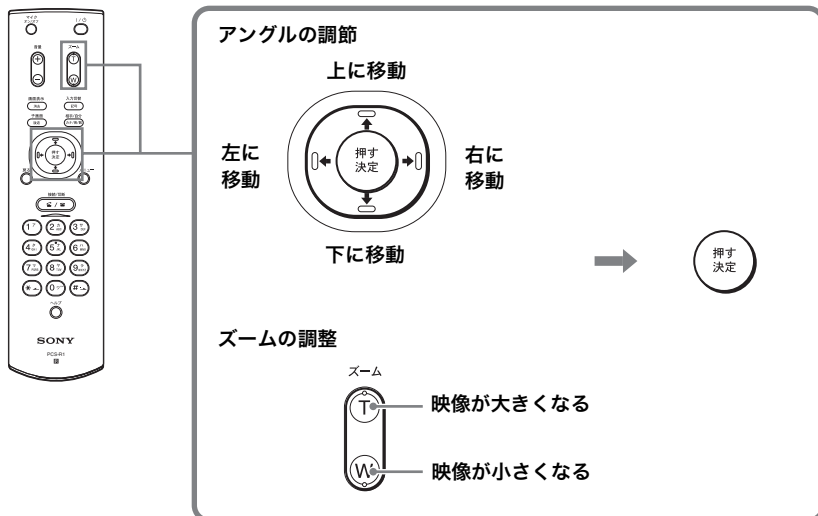


映像や音声を調節する

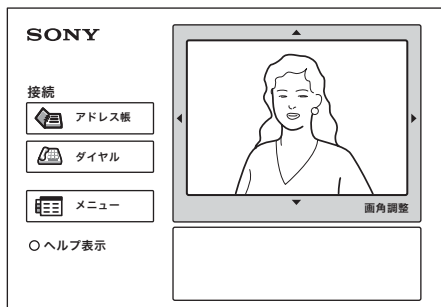
カメラアングルとズームを調節する

通信していないとき

リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンを押してランチャーメニューの映像を選び、決定ボタンを押します。その後、**▲/▼/◀/▶** ボタンを押してカメラアングルを調節し、ズームボタンを押してズームを調節します。調節し終わったら決定ボタンを押します。



通信していないときは…



通信中は…



通信しているとき

リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンとズームボタンで、自分側の映像のカメラアングルとズームを調節できます。

相手側の映像のカメラアングルを調整する場合は、取扱説明書をご覧ください。

音量を調節する

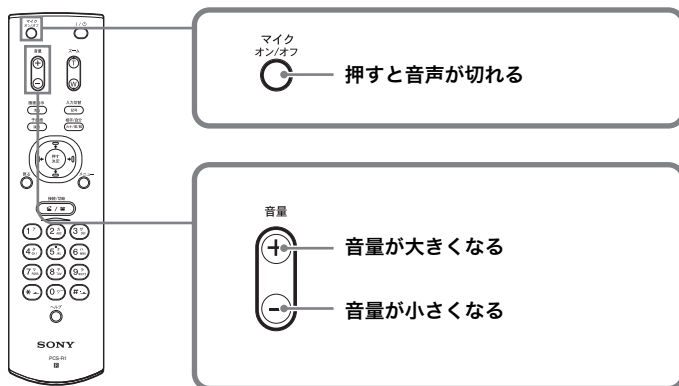
相手から送られてくる音声を調節するには

リモコンの音量+ / - ボタンを押します。

自分側から相手に送られる音声を一時的に消すには

リモコンのマイクオン/オフボタンを押します。

モニター画面に「MIC OFF」と表示されます。もう一度押すと音声
が再び送られます。

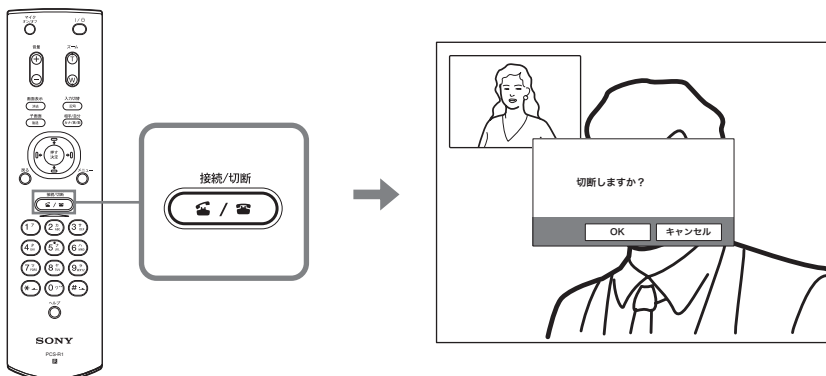


会議を終了する

回線を切る

- 1 リモコンの接続/切断（☎ / ☎）ボタンを押す。

モニター画面に「切断しますか？」と表示されます。



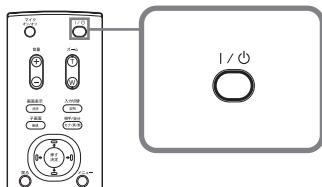
- 2 リモートコマンダーの◀または▶ボタンを押して「OK」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの接続/切断（☎ / ☎）ボタンをもう一度押す。

これで相手との回線が切れ、ランチャーメニューに戻ります。

システムをスタンバイ状態にする

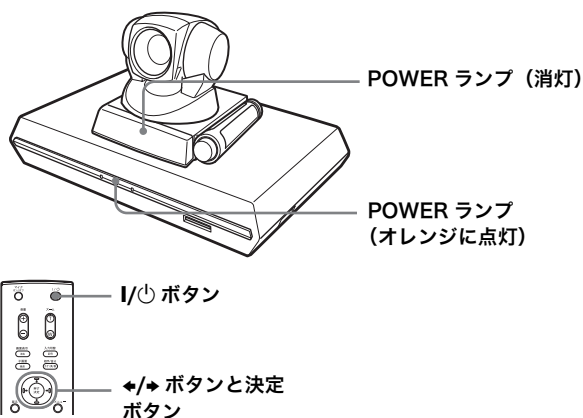
- 1 リモコンのI/⏻ボタンを押す。

モニター画面に「電源を切りますか？」と表示されます。



- 2 リモコンの◀または▶ボタンを押して「OK」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンのI/⏻ボタンをもう一度押す。

スタンバイ状態になり、コミュニケーションターミナルの POWER ランプがオレンジ色に点灯します。



この状態にしておくと、リモコンの I/O ボタンで電源を入れることができます。

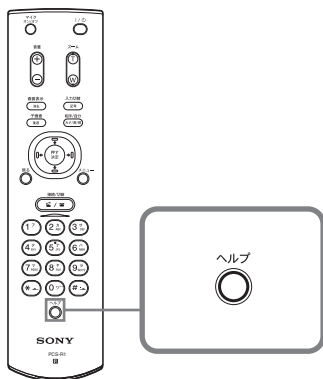
相手から呼び出しを受けると、スタンバイモードは解除されて着信します。

電源を切るには

コミュニケーションターミナル右側面の電源スイッチをオフ（○側）にし、会議に使用したその他の機器の電源を切ります。

ヘルプを表示する

リモコンのヘルプボタンを押すと、操作案内用のバルーンヘルプまたはヘルプ画面が表示されます。



ヘルプ画面を消すには、もう一度ヘルプボタンを押します。

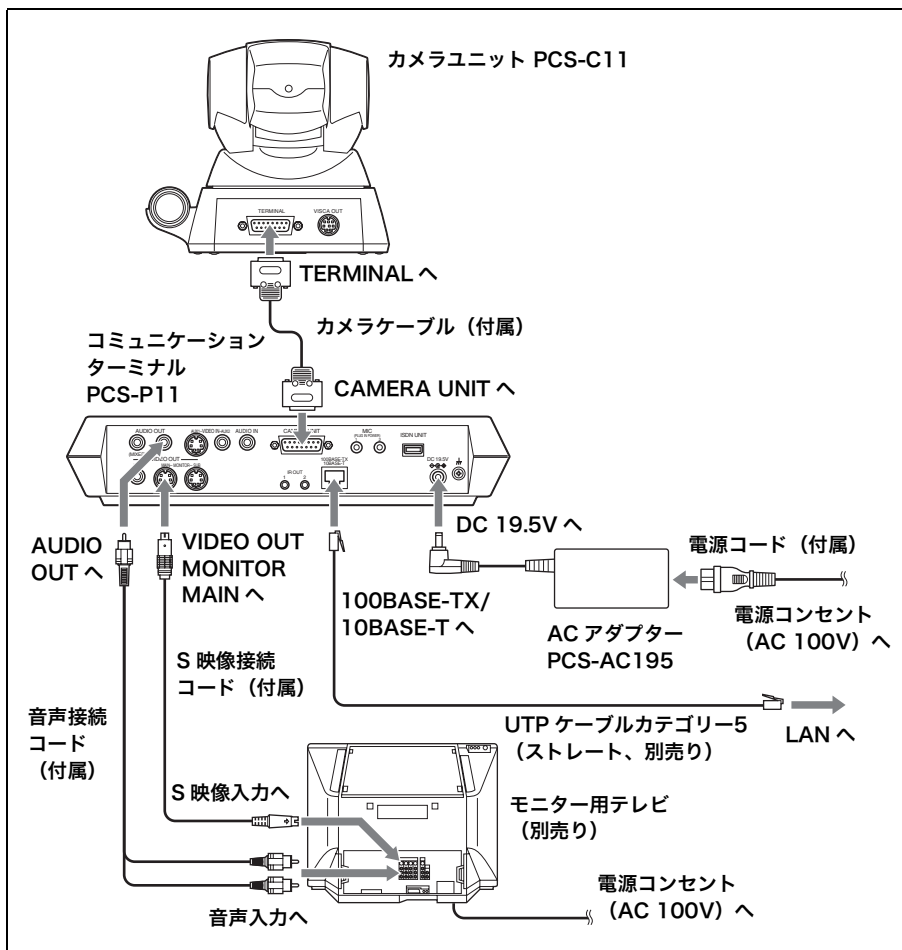
システムの接続

ここでは、代表的なシステムの接続のしかたを説明します。

⚠ 注意

- 接続するときは、必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
- カメラユニットやコミュニケーションターミナルが壊れますので、電源を入れたままカメラケーブルを抜き差ししないでください。
- 安全のために、100BASE-TX/10BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。

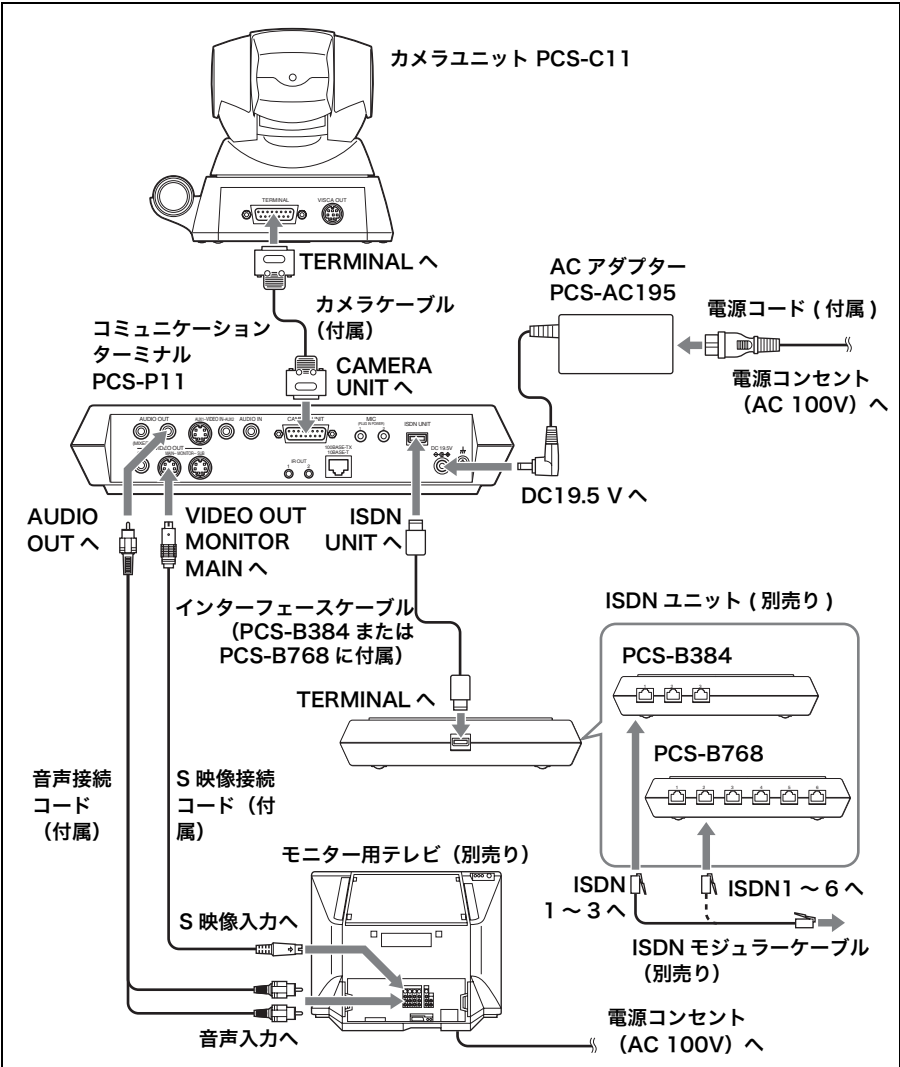
接続例 (LAN 接続)



接続例 (ISDN 接続)

⚠ 注意

- カメラユニットやコミュニケーションターミナル、ISDNユニットが壊れますので、電源を入れたままカメラケーブルやインターフェースケーブルを抜き差ししないでください。
- ISDNユニットを初めてコミュニケーションターミナルに接続して使用するとき、コミュニケーションターミナルが自動的にISDNユニットのソフトウェアをバージョンアップすることがあります。画面にバージョンアップ中のメッセージが表示されている間は故障の原因となりますので、絶対に電源を切らないでください。



仕様

コミュニケーションターミナル PCS-P11

本機は ITU-T 勧告 H.320 と H.323 に準拠しています。

動画

動作帯域 64 Kbps ~ 1024 Kbps (標準、LAN による接続)
56 Kbps ~ 384 Kbps (PCS-B384 取り付け時、ISDN による接続)
56 Kbps ~ 768 Kbps (PCS-B768 取り付け時、ISDN による接続)

コーディング方式

H.261/H.263/H.263+/
H.263++/H.264 (ITU-T 勧告準拠)

画素

CIF 352 ピクセル × 288 ライン
QCIF 176 ピクセル × 144 ライン

カラー方式

NTSC
ただし、PAL 方式と相互接続可能

静止画

画素 704 ピクセル × 480 ライン
圧縮方式 H.261 (ITU-T 勧告準拠)
Annex. D (4CIF)
H.263 (独自方式)

音声

周波数帯域 7 kHz (G.722 ITU-T 勧告準拠)
3.4 kHz (G.711/G.728 ITU-T 勧告準拠)

伝送レート 56 Kbps、64 Kbps (G.711 ITU-T 勧告準拠)
48 Kbps、56 Kbps、64 Kbps (G.722 ITU-T 勧告準拠)
16 Kbps (G.728 ITU-T 勧告準拠)

ネットワーク

多重分離化 映像信号、音声信号、データを多重分離化

フレームフォーマット

H.221 (ITU-T 勧告準拠)

回線

LAN (標準)、64 Kbps ~ 1024 Kbps

ISDN (BRI)、6 回線接続可能 (PCS-B768 取り付け時)、3 回線接続可能 (PCS-B384 取り付け時)

データ伝送レート

LSD 1.2 Kbps、4.8 Kbps、6.4 Kbps
MLP 6.4 Kbps、24 Kbps、32 Kbps
HMLP 62.4 Kbps、64 Kbps、128 Kbps

サポート LAN プロトコル

HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP

リモートコントロール

相手カメラコントロール

H.281 (ITU-T 勧告準拠)

データ伝送 T.120 (ITU-T 勧告準拠)

その他

電源電圧 19.5V

消費電流	3.0A
動作温度	5° C ~ 35° C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20° C ~ + 60° C
保存湿度	20% ~ 80% (結露しないこと)
外形寸法	258 × 54 × 171 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず)
質量	約 1.3 kg
付属品	リモコン PCS-R1 (1) リモコン用単 3 形乾電池 (2) IR リピーター (2) カメラケーブル (0.25 m) (1) S 映像接続コード (1.5 m) (1) 音声接続コード (1 m) (1) AC アダプター PCS-AC195 (1) 電源コード (1) マジックテープ (カメラユニット用 3、ターミナル用 2) CD-ROM (1) 操作ガイド (1) B&P ワランティブックレット (1)

カメラユニット PCS-C11

映像信号	NTSC カラー EIAJ 標準方式
映像素子	1/4 型カラー CCD (総画素数 約 41 万画素、有効画素数 約 38 万画素)
レンズ	f = 3.1 ~ 31 mm, F1.8 ~ F2.9、水平面角 6.6° ~ 65°

最至近撮影距離	100 mm (WIDE 端)、600 mm (TELE 端)
---------	---------------------------------

最低被写照度	3.5 ルクス (F1.8) /50 IRE にて
--------	---------------------------

被写照度範囲	3.5 ~ 100,000 ルクス
--------	-------------------

水平解像度	470 TV 本
-------	----------

パン・チルト機能	水平 ± 100°、垂直 ± 25°
----------	--------------------

外形寸法	147 × 130 × 138 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず)
------	--

質量	約 1.1 kg
----	----------

マイクロホン

周波数帯域	18 kHz
-------	--------

指向特性	狭角度指向性
------	--------

リモコン PCS-R1

信号方式	赤外線 SIRCS
------	-----------

制御	DC 3 V 単 3 形乾電池 2 本使用
----	--------------------------

外形寸法	50 × 24 × 197 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず)
------	--

質量	約 140 g (乾電池含む)
----	-----------------

AC アダプター PCS-AC195

電源	AC 100 ~ 240V、50/60 Hz、1.3 A ~ 0.6 A
----	--------------------------------------

出力	19.5 V、4.1 A
----	--------------

動作温度	5° C ~ 35° C
------	--------------

動作湿度	20% ~ 80%
------	-----------

保存温度	- 20° C ~ + 60° C
------	-------------------

保存湿度	20% ~ 80% (結露しないこと)
------	---------------------

外形寸法	63 × 31 × 140 mm (幅/高さ / 奥行き)
質量	約 410 g

マイクロホン PCS-A1 (別売り)

周波数帯域	13 kHz
指向特性	無指向性
外形寸法	74 × 16 × 93 mm (幅/高さ / 奥行き)
質量	約 170 g
電源	プラグインパワータイプ

マイクロホン PCS-A300 (別売り)

周波数帯域	13 kHz
指向特性	単一指向性
外形寸法	68 × 16 × 96 mm (幅/高さ / 奥行き)
質量	約 200 g
電源	プラグインパワータイプ

ISDN ユニット PCS-B384 (別売り)

電源電圧	19.5 V
消費電流	0.3 A
動作温度	5° C ~ 35° C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20° C ~ + 60° C
保存湿度	20% ~ 80% (結露しないこと)
外形寸法	165 × 34 × 127 mm (幅/高さ / 奥行き) (突起部含まず)
質量	約 400 g
付属品	インターフェースケーブル (5 m) (1) 取扱説明書 (1) B&P ワランティブックレット (1)

ISDN ユニット PCS-B768 (別売り)

電源電圧	19.5 V
消費電流	0.5 A
動作温度	5° C ~ 35° C
動作湿度	20% ~ 80%
保存温度	- 20° C ~ + 60° C
保存湿度	20% ~ 80% (結露しないこと)
外形寸法	165 × 34 × 127 mm (幅/高さ / 奥行き) (突起部含まず)
質量	約 400 g
付属品	インターフェースケーブル (5 m) (1) 取扱説明書 (1) B&P ワランティブックレット (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Owner's Record

The model and the serial numbers are located at the bottom. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. PCS-11/11P

Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

This unit has no power switch. When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power cord to socket-outlet which must be provided near the unit and easily accessible. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power cord.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For the customers in the USA

WARNING

Using this unit at a voltage other than 120 V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This manual focuses on using ISDN lines to conduct a videoconference, but it also covers non-ISDN lines. If you use ISDN lines, consult your Sony dealer for more information.

- The ISDN service may not be available in some areas.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



If you dispose the unit, consult your nearest Sony Service Center. The built-in battery must be treated as a chemical waste.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

When Using the System for the First Time

This guide briefly describes basic operations for a point-to-point videoconference using the PCS-11/11P Video Communication System. You will learn how to conduct a daily conference from start to finish. For more detailed operations and various settings required for conferencing, refer to the Operating Instructions stored in the supplied CD-ROM.

About the Operating Instructions

The Operating Instructions of the System is stored in the supplied CD-ROM in PDF format. You are prompted to use Adobe® Acrobat® Reader to read it. If Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download its latest version from websites described below.

How to read the Operating Instructions

- 1** Insert the supplied CD-ROM entitled “Manuals for Video Communication System” into the CD-ROM drive of your computer.
After a short time a window will open displaying the files on the CD-ROM.
- 2** Double-click the PDF file named “English”.
Adobe Acrobat Reader will start, then display the cover page of the Operating Instructions.

Clicking an item in the Table of Contents allows you to jump to the relevant page.

To install Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

To install Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) in your computer, you need the following hardware and software:

- A computer with an Intel® Pentium® or 100% compatible processor
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5, or Windows 2000 and above
- 64 MB or more of RAM
- 70 MB or more of free disk space

You can obtain the latest version of Adobe Acrobat Reader, free of charge, from the following websites.

North American version:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

European Version:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html>

Japanese version:

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

* Adobe and Acrobat are trademarks of Adobe Systems, Incorporated.

** Windows and Windows NT are registered trademarks of the U.S. Microsoft Corporation in the U.S. and other countries.

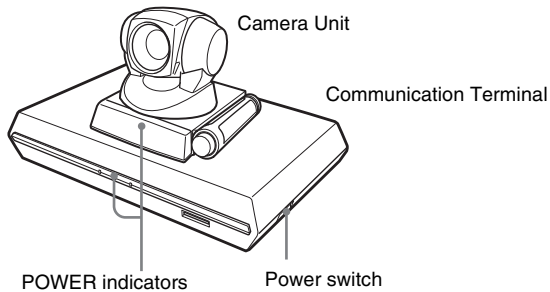
Table of Contents

Turning the System On	6
Calling a Remote Party	7
Adjusting the Picture and Sound	10
Adjusting the Camera Angle and Zoom	10
Adjusting the Volume	11
Ending the Conference	12
Disconnecting the Line	12
Setting the System to Standby Mode	12
Displaying the Help	14
System Components	15
Basic System Components	15
Optional Equipment	16
System Connections	18
System Connection via a LAN ...	18
System Connection via an ISDN	19
Specifications	20

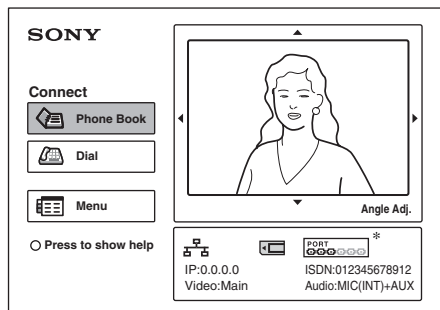
The supplied CD-ROM includes the Operating Instructions that describe more detailed information on this system. Please read the Operating Instructions as well as the Operation Guide.

Turning the System On

- 1 Turn on the TV monitor.
- 2 Turn on the power of any other equipment to be used for the videoconference.
- 3 Set the power switch on the right side of the Communication Terminal to the on position (I).





The Communication Terminal turns on after a while. Three indicators on the front of the Communication Terminal and the POWER indicator on the camera light, then only the POWER indicators on both units remain on in green. The launcher menu will appear on the monitor screen and the picture shot by the local camera will also appear in the launcher menu.



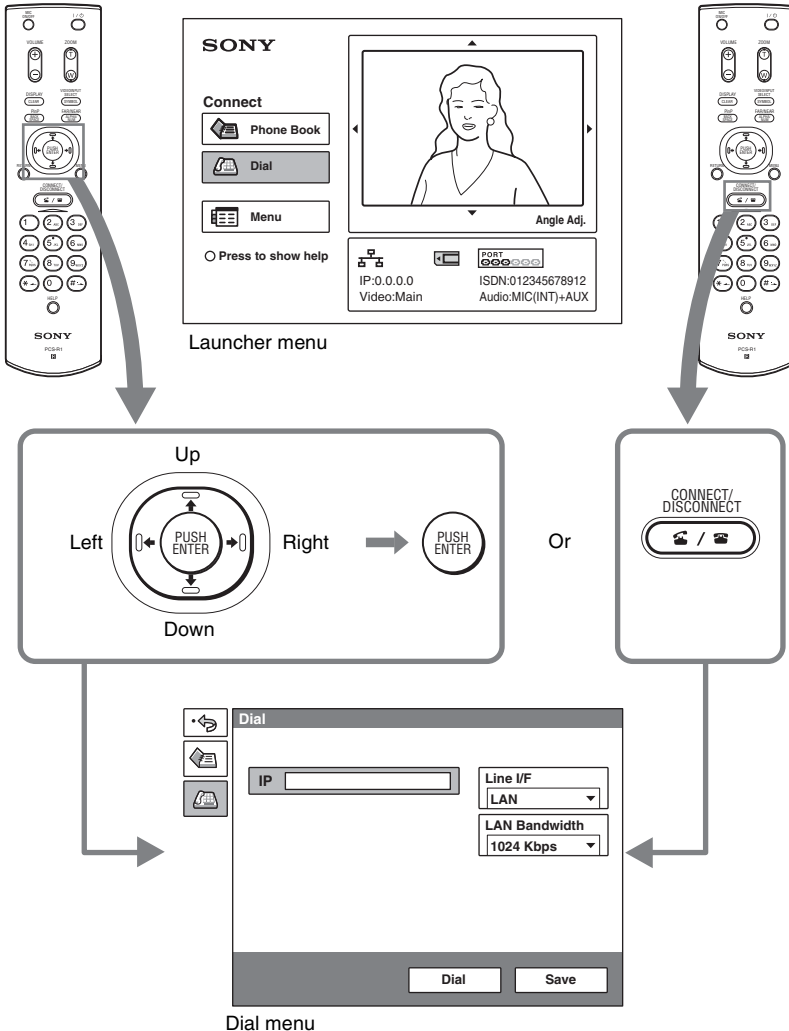
* The illustration of the launcher menu in this guide shows an example of when the PCS-B768 ISDN Unit is used. The ISDN port indicator differs from that of the PCS-B384 ISDN Unit.

Calling a Remote Party

This guide shows you how to call a remote party not registered in the Phone Book.

- 1 Press the **↑**, **↓**, **←** or **→** button on the Remote Commander to select “Dial” in the launcher menu, then press the **PUSH ENTER** button, or press the **CONNECT/DISCONNECT** ( / ) button.

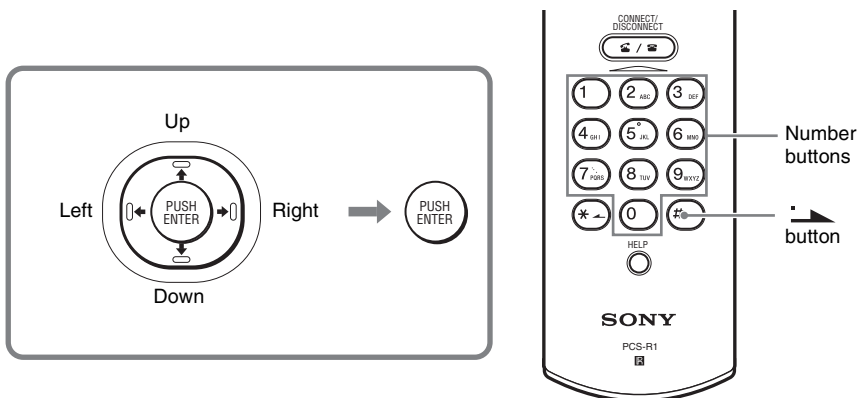
The Dial menu appears on the monitor screen.



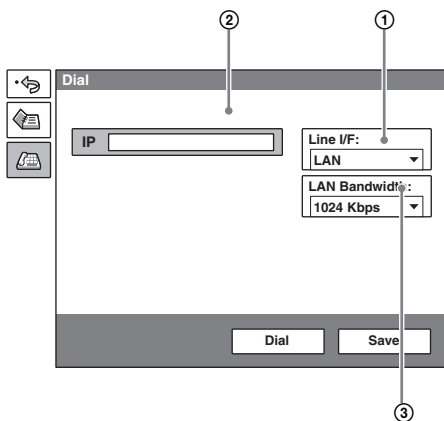
2 Set up the items in the Dial menu.

Use the **▲**, **▼**, **◀** or **▶** button to select the item to be set, then press the PUSH ENTER button.

You can use the number buttons and **◻** (dot) button to input the numerals.

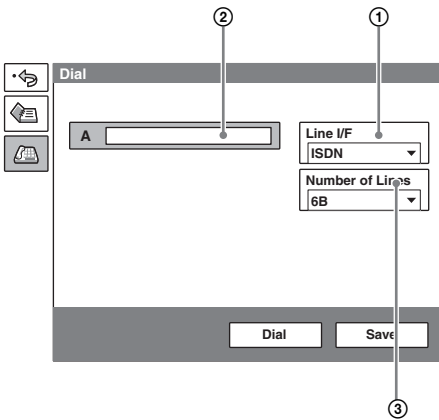


When you connect a remote party over LAN





- ① Select “Line I/F”, then select “LAN” from the displayed submenu.
- ② Select the IP text box, then enter the IP address of the remote party using the number buttons and **◻** (dot) button on the Remote Commander.
- ③ Select “LAN Bandwidth”, then select the bandwidth you are using.

When you connect a remote party over ISDN



- ① Select “Line I/F”, then select “ISDN” from the displayed submenu.
- ② Select the telephone number text box, then enter the telephone number of the remote party with the number buttons on the Remote Commander.
- ③ Select “Number of Lines”, then select the number of channels to be used when dialing the remote party.

- 3** Use the **↑**, **↓**, **←** or **→** button to select “Dial” in the lower part of the Dial menu, then press the **PUSH ENTER** button, or press the **CONNECT/DISCONNECT** ( / ) button.

When the System connects to the remote party, the message “Meeting starts!” is displayed and the screen turns as follows.



Adjusting the Picture and Sound

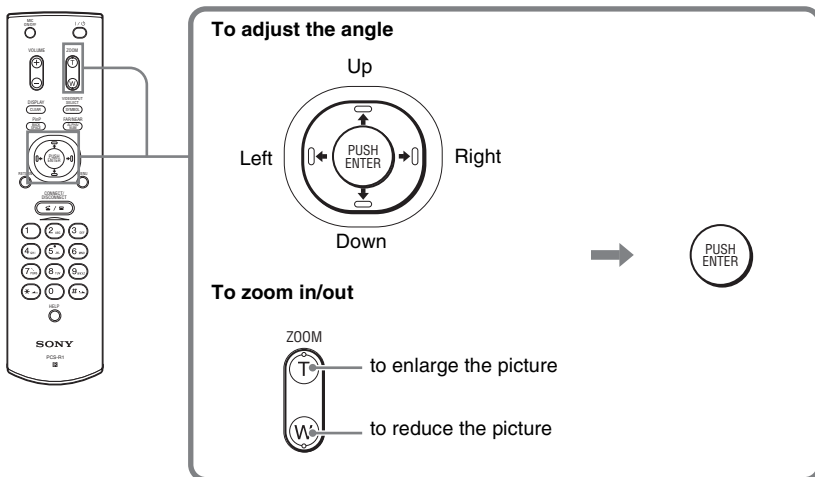
Adjusting the Camera Angle and Zoom

To adjust when not in communication

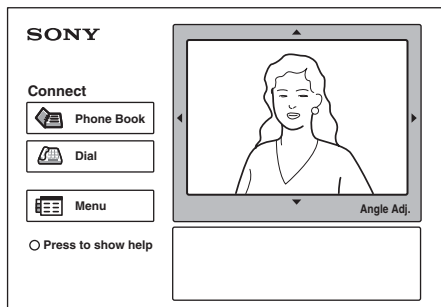
Use the **↑**, **↓**, **←** or **→** button on the Remote Commander to select the picture in the launcher menu, then press the **PUSH ENTER** button.

Press the **↑**, **↓**, **←** or **→** button to adjust the camera angle and the **ZOOM T/W** button to zoom in or out.

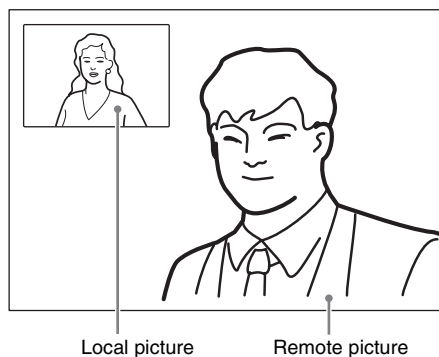
After the adjustment, press the **PUSH ENTER** button.



While not in communication



While in communication



To adjust when in communication

You can adjust the angle of the picture and zoom on the local site with the **▲/▼/◀/▶** and **ZOOM T/W** buttons on the Remote Commander.

Refer to the Operating Instructions to adjust the camera angle of the picture and zoom on the remote site.

Adjusting the Volume

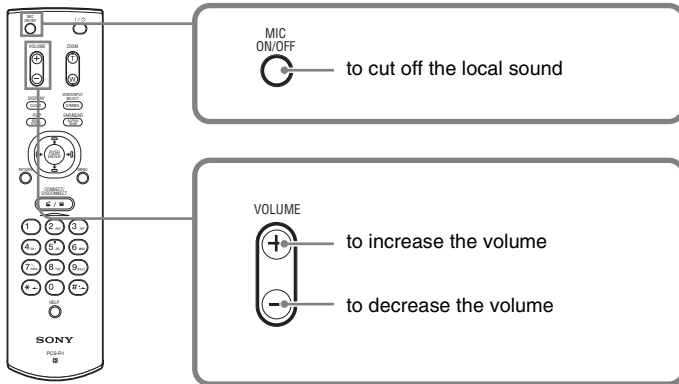
To adjust the volume of the sound received from the remote party

Press the **VOLUME +/-** button on the Remote Commander.

To cut off the sound of the local party sent to the remote party



Press the **MIC ON/OFF** button on the Remote Commander.

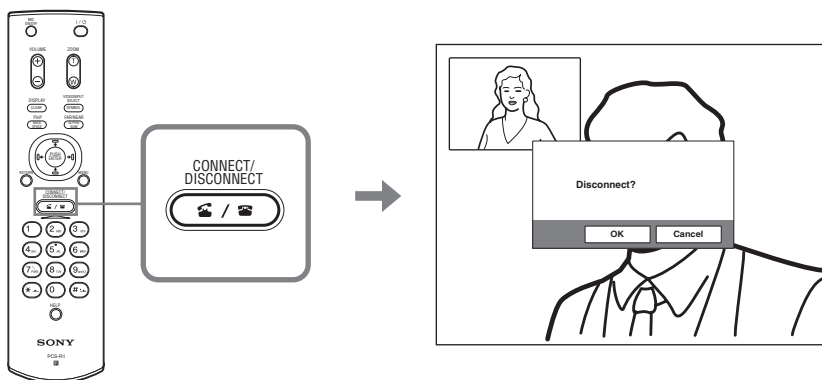
The “**MIC OFF**” indicator is displayed on the monitor screen. To restore the sound, press the **MIC ON/OFF** button again.







Ending the Conference


Disconnecting the Line

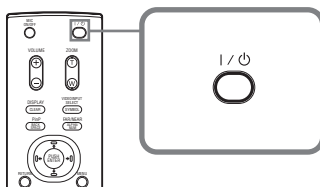
- 1 Press the CONNECT/DISCONNECT ( / ) button on the Remote Commander.
The message “Disconnect?” appears on the monitor screen.






- 2 Press the  or  button on the Remote Commander to select “OK”, then press the PUSH ENTER button, or press the CONNECT/DISCONNECT ( / ) button.
The line is disconnected and the launcher menu is restored.

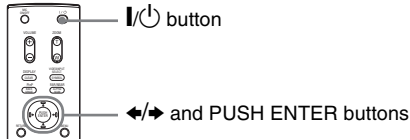
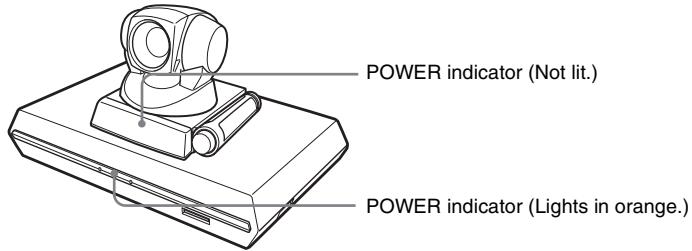
Setting the System to Standby Mode

- 1 Press the  button on the Remote Commander.
The message “Power Off?” appears on the monitor screen.



- 2 Press the  or  button on the Remote Commander to select “OK”, then press the PUSH ENTER button, or press the  button.

The System enters standby mode, and the POWER indicator on the Communication Terminal lights in orange.



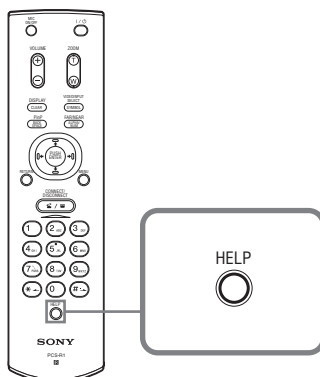
When the System is in this status, you can turn it on with the I/O button on the Remote Commander.
If the system receives a call, the standby mode is automatically canceled and the system is connected.

To turn off the power

Set the power switch on the right side of the Communication Terminal to the off position (O), and turn off other equipment used for the videoconference.

Displaying the Help

Pressing the HELP button on the Remote Commander displays a balloon help or a help screen to guide most operations on the monitor screen.





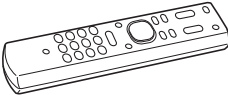
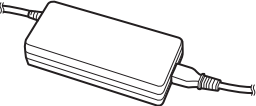
To hide the help guide, press the HELP button again.

System Components

The PCS-11/11P Video Communication System is composed of basic system components for a basic videoconference, and optional equipment for an enhanced videoconference.

Basic System Components

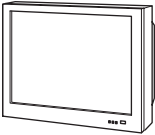
The PCS-11/11P Video Communication System is the basic system of the PCS-11/11P Videoconferencing System. It contains the following components:

Unit	Description
PCS-P11/P11P Communication Terminal 	Contains the video codec, audio codec, echo canceler, network interfaces and system controller.
PCS-C11/C11P Camera Unit 	Composed of the camera and an integrated microphone.
PCS-R1 Remote Commander 	Used to operate the Communication Terminal and Camera Unit.
PCS-AC195 AC adaptor 	Supplies power to the Communication Terminal.

Optional Equipment




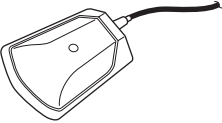
TV monitor

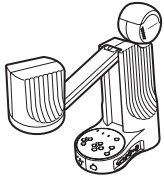

A TV or projector, etc. is required to monitor the images for videoconferencing system.

Unit	Description
TV, Projector, etc. 	Used as a monitor and speakers.

Optional equipment especially designed for use with the PCS-11/11P

The following optional devices are used to enhance your videoconference.

Unit	Description
PCS-B384 ISDN Unit 	Used to connect to an ISDN line. Up to three ISDN lines; 6B channels usable.
PCS-B768 ISDN Unit 	Used to connect to an ISDN line. Up to six ISDN lines; 12B channels usable.
PCS-A1 Microphone 	Omni-directional microphone that picks up sound relatively from all directions, allowing participants to speak from any location. It is recommended to use in a quiet situation.
PCS-A300 Microphone 	Unidirectional microphone. It is recommended when you want to pick up the voice of a speaker directed toward the microphone.

Unit	Description
<p data-bbox="232 121 428 169">PCS-DS150/DS150P Document Stand</p> 	<p data-bbox="524 121 1009 193">Allows transmission of pictures to the Communication Terminal by infrared signals without connecting a cable.</p>
<p data-bbox="232 387 473 435">CTE-600 Communication Transducer</p> 	<p data-bbox="524 387 988 539">Integrated microphone/speaker system suitable for remote communication. The uni-directional microphones pick up clear voice with minimum background noise. Moreover, the omni-directional speaker outputs sound equally in all directions.</p>

Connecting cables

Use the following connecting cables to connect devices in this system.

PCS-11/11P Video Communication System

Cable	Part No.	Number
Camera cable (0.25 m (0.8 feet))	1-827-376-11	1
S-video connecting cable (1.5 m (4.9 feet))	1-776-078-42	1
Audio connecting cable (1 m (3.3 feet))	1-765-258-31	1

Camera cable



S-video connecting cable



Audio connecting cable



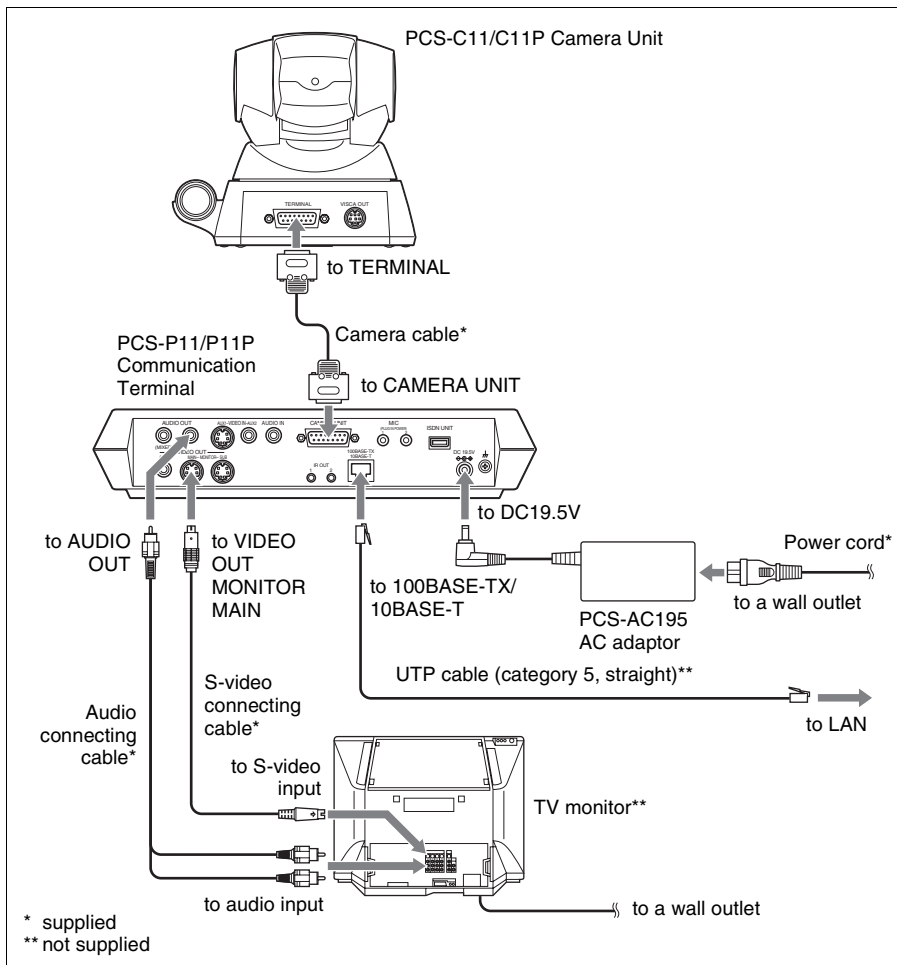
System Connections

This section describes the typical system connections.

Notes

- Be sure to turn off all the equipment before making any connections.
- Do not connect/disconnect the camera cable with the power on. Doing so may damage the Camera Unit or Communication Terminal.
- For safety, do not connect the 100BASE-TX/10BASE-T connector to a network that applies an excess voltage via the 100BASE-TX/10BASE-T connector.

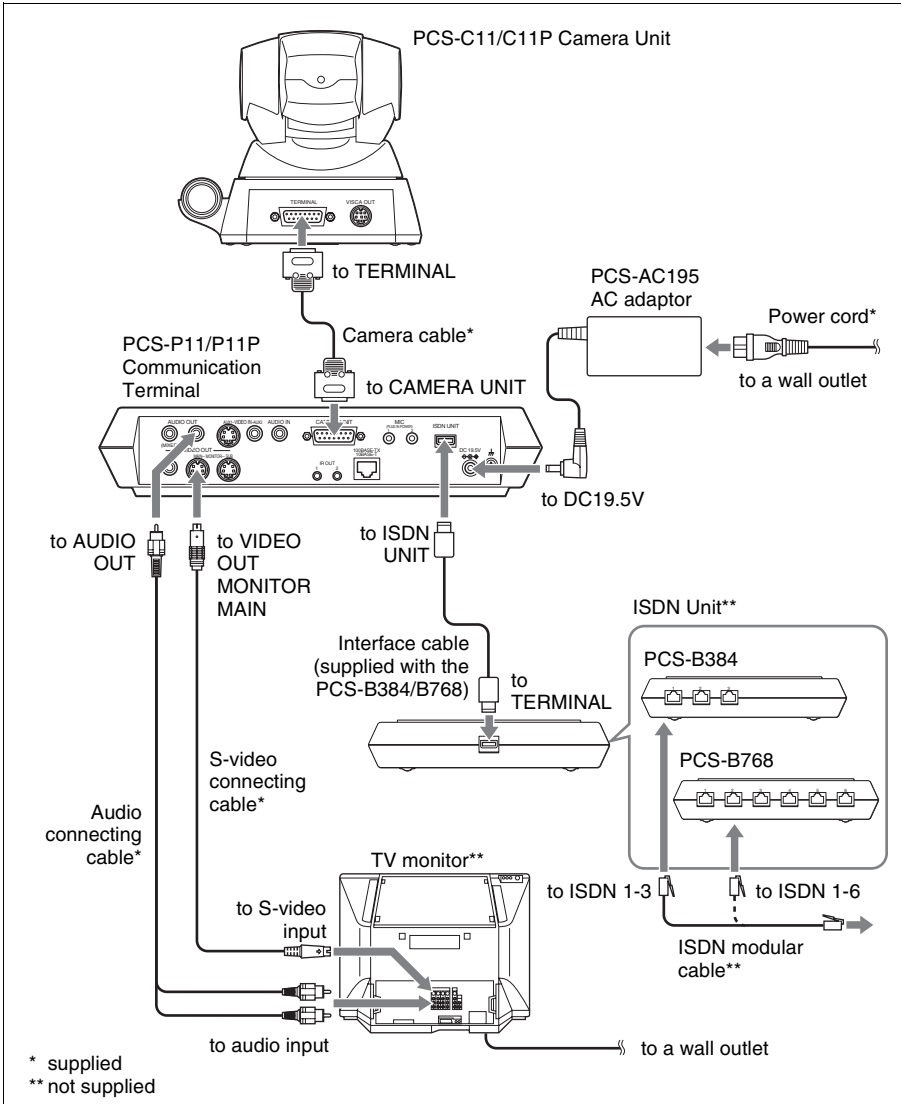
System Connection via a LAN



System Connection via an ISDN

Notes

- Do not connect/disconnect the camera cable or the interface cable with the power on. Doing so may damage the Camera Unit, Communication Terminal or ISDN Unit.
- Used with the ISDN Unit for the first time, the Communication Terminal may upgrade the software of the ISDN Unit. While the upgrading message is displayed on the monitor screen, be sure not to turn off the Communication Terminal. Doing so may cause malfunction of the system.



Specifications

PCS-P11/P11P Communication Terminal

This unit is compliant with ITU-T Recommendations H.320 and H.323.

Motion picture

Operating bandwidth

- 64 Kbps to 1024 Kbps (standard, LAN connection)
 - 56 Kbps to 384 Kbps (when installing the PCS-B384, ISDN connection)
 - 56 Kbps to 768 Kbps (when installing the PCS-B768, ISDN connection)
- Coding H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 (ITU-T Recommendation)

Picture elements

- CIF: 352 pixels × 288 lines
- QCIF: 176 pixels × 144 lines

Color system

- NTSC (PCS-P11)
- PAL (PCS-P11P)
- Capable of connection between both color systems

Still Picture

- Pixels 704 pixels × 480 lines (PCS-P11)
704 pixels × 576 lines (PCS-P11P)
- Encoding H.261 (ITU-T Recommendation Annex. D (4CIF))
H.263 (special format of this system)

Sound

- Bandwidth 7 kHz (G.722 compliant with ITU-T Recommendation)
3.4 kHz (G.711/G.728 compliant with ITU-T Recommendation)
- Transmission rate 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 compliant with ITU-T Recommendation)
48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 compliant with ITU-T Recommendation)
16 Kbps (G.728 compliant with ITU-T Recommendation)

Network

Multiplexing

Video, audio, data

Frame format

H.221 (compliant with ITU-T Recommendation)

Interface

LAN (standard), 64 Kbps to 1024 Kbps
ISDN (BRI), up to 3 lines (when installing the PCS-B384), up to 6 lines (when installing the PCS-B768)

Data transmission rate

LSD 1.2 Kbps, 4.8 Kbps, 6.4 Kbps
MLP 6.4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
HMLP 62.4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

LAN protocol supported

HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP

Remote control

Far end camera control

H.281 (compliant with ITU-T Recommendation)

Data transfer

T.120 (compliant with ITU-T Recommendation)

General

Power requirements

19.5 V

Power consumption

3.0 A

Operating temperature

5°C to 35°C (41°F to 94°F)

Operating humidity

20% to 80%

Storage temperature

-20°C to +60°C (-4°F to +140°F)

Storage humidity

20% to 80% (no condensation)

Dimensions

258 × 54 × 171 mm (w/h/d)
(10 1/4 × 2 1/4 × 6 3/4 inches) (not including the projected parts)

Mass

Approx. 1.3 kg (2 lb 14 oz)

Supplied accessories

Remote Commander PCS-R1 (1)
Size AA (R6) batteries for Remote Commander (2)
IR repeater (2)
Camera cable (0.25 m, 0.8 ft) (1)
S-video connecting cable (1.5 m, 4.9 ft) (1)

Audio connecting cable (1 m, 3.3 ft) (1)
AC adaptor PCS-AC195 (1)
Power cord (1)
21-pin adaptor (1) (PCS-P11P only)
Velcro (3 for the Camera Unit, 2 for the Communication Terminal)
CD-ROM (1)
Operation guide (1)
Warranty booklet (1)

PCS-C11/C11P Camera Unit

Video signal
NTSC color, EIA standards (PCS-C11)
PAL color, CCIR standards (PCS-C11P)

Image device
1/4 type CCD (Charge Coupled Device)
Approx. 410 000 pixels (Effective: approx. 380 000 pixels) (PCS-C11)
Approx. 470 000 pixels (Effective: approx. 440 000 pixels) (PCS-C11P)

Lens
 $f = 3.1$ to 31 mm, $F 1.8$ to 2.9 ,
Horizontal angle 6.6° to 65°

Focal distance
100 (WIDE) to 600 (TELE) mm

Minimum illumination
3.5 lux at $F 1.8/50$ IRE

Illumination range
3.5 lux to 100 000 lux

Horizontal resolution
470 TV lines (PCS-C11)
450 TV lines (PCS-C11P)

Pan/tilt action
Horizontal $\pm 100^\circ$
Vertical $\pm 25^\circ$

Dimension
 $147 \times 130 \times 138$ mm (w/h/d) ($5 \frac{7}{8} \times 5 \frac{1}{8} \times 5 \frac{1}{2}$ inches) (not including the projected parts)

Mass
Approx. 1.1 kg (2 lb 7 oz)

Microphone

Frequency range
18 kHz

Directional characteristic
Narrow-angle directional

PCS-R1 Remote Commander

Signal format
Infrared SIRCS

Control
DC 3V using two size AA (R6) batteries

Dimensions
 $50 \times 24 \times 197$ mm (w/h/d) ($2 \times \frac{31}{32} \times 7 \frac{7}{8}$ inches) (not including the projected parts)

Mass
Approx. 140 g (4 oz) (including batteries)

PCS-AC195 AC Adaptor

Power requirements
100 to 240V AC, 50/60 Hz, 1.3 A to 0.6 A

Output
19.5 V, 4.1 A

Operating temperature
 5°C to 35°C (41°F to 94°F)

Operating humidity
20% to 80%

Storage temperature
 -20°C to $+60^\circ\text{C}$ (-4°F to $+140^\circ\text{F}$)

Storage humidity
20% to 80% (no condensation)

Dimensions
 $63 \times 31 \times 140$ mm (w/h/d) ($2 \frac{1}{2} \times 1 \frac{1}{4} \times 5 \frac{5}{8}$ inches)

Mass
Approx. 410 g (14 oz)

PCS-A1 Microphone (Optional)

Bandwidth
13 kHz

Directional characteristic
Omnidirectional

Dimensions
 $74 \times 16 \times 93$ mm (w/h/d)
($3 \times \frac{21}{32} \times 3 \frac{3}{4}$ inches)

Mass
Approx. 170 g (6 oz)

Power
Plug in power

PCS-A300 Microphone (Optional)

Bandwidth
13 kHz

Directional characteristic
Unidirectional

Dimension
 $68 \times 16 \times 96$ mm (w/h/d) ($2 \frac{3}{4} \times \frac{21}{32} \times 3 \frac{7}{8}$ inches)

Mass
Approx. 200 g (7 oz)

Power
Plug in power

PCS-B384 ISDN Unit (Optional)

Power requirements
19.5 V

Power consumption
0.3 A

Operating temperature
 5°C to 35°C (41°F to 94°F)

Operating humidity
20% to 80%

Storage temperature
 -20°C to $+60^\circ\text{C}$ (-4°F to $+140^\circ\text{F}$)

Storage humidity

Dimensions 20% to 80% (no condensation)
165 × 34 × 127 mm (w/h/d) (6 1/2 ×
1 3/8 × 5 inches) (not including
the projected parts)
Mass Approx. 400 g (14 oz)
Supplied accessories
Interface cable (5 m, 16.4 ft) (1)
Operating Instructions (1)
Warranty booklet (1)

PCS-B768 ISDN Unit (Optional)

Power requirements
19.5 V
Power consumption
0.5 A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
-20°C to +60°C (-4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions 165 × 34 × 127 mm (w/h/d) (6 1/2 ×
1 3/8 × 5 inches) (not including
the projected parts)
Mass Approx. 400 g (14 oz)
Supplied accessories
Interface cable (5 m, 16.4 ft) (1)
Operating Instructions (1)
Warranty booklet (1)

Design and specifications are subject to change
without notice.

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un technicien qualifié.

AVERTISSEMENT

Cet appareil n'est pas équipé d'un commutateur d'alimentation.

Lors de l'installation de l'appareil, incorporez un dispositif de coupure facile d'accès dans le câblage fixe ou branchez le cordon d'alimentation dans une prise murale facilement accessible située à proximité de l'appareil.

En cas d'anomalie pendant le fonctionnement de l'appareil, mettez l'appareil hors tension au moyen du dispositif de coupure ou débranchez le cordon d'alimentation.

IMPORTANT

La plaquette signalétique est située sur la face inférieure de l'appareil.

Ce mode d'emploi part du principe que des lignes RNIS sont utilisées pour la vidéoconférence, mais il couvre également des lignes qui ne sont pas RNIS. Si vous utilisez des lignes RNIS, demandez des informations complémentaires à votre revendeur Sony.

- Le service RNIS n'est pas disponible dans certains pays.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.

De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Si vous vous débarrassez de l'appareil, consultez votre revendeur Sony le plus proche. La batterie intégrée doit être traitée comme un déchet de l'industrie chimique.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

En cas d'utilisation du système pour la première fois

Ce guide décrit brièvement les principales opérations nécessaires pour exécuter une vidéoconférence point à point au moyen du système de communication vidéo PCS-11/11P. Vous apprendrez à exécuter une conférence quotidienne du début à la fin. Pour les opérations plus détaillées et les divers réglages requis pour une conférence, reportez-vous au Mode d'emploi contenu dans le CD-ROM fourni.

A propos du mode d'emploi

Le mode d'emploi du système est enregistré au format PDF dans le CD-ROM fourni. Un message demandant d'utiliser Adobe® Acrobat® Reader pour le lire s'affichera à l'écran. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger la version la plus récente des sites Web ci-dessous.

Comment lire le mode d'emploi

- 1** Insérez le CD-ROM fourni intitulé « Manuals for Video Communication System » dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur.
Après quelques instants, une fenêtre s'ouvre, affichant les fichiers enregistrés sur le CD-ROM.
- 2** Cliquez deux fois sur le fichier PDF intitulé « French ».
Adobe Acrobat Reader démarre, puis affiche la page de couverture du mode d'emploi.

* Adobe et Acrobat sont des marques commerciales d'Adobe Systems, Incorporated.

** Windows et Windows NT sont des marques commerciales d'U.S. Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans les autres pays.

Pour accéder à la page de votre choix, cliquez sur un élément de la table des matières.

Pour installer Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

Pour installer Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) dans votre ordinateur, vous devez disposer du matériel et des logiciels suivants :

- Un ordinateur avec processeur Intel® Pentium® ou 100% compatible
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5 ou Windows 2000 et ultérieur
- RAM de 64 Mo ou plus
- Espace disque libre de 70 Mo ou plus

Vous pouvez vous procurer la version la plus récente de Adobe Acrobat Reader, gratuitement, auprès des sites Web suivants.

Versión nord-américaine :

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

Versión européenne :

<http://www.adobe.com/products/acrobat/accrcenteuro.html>

Versión japonaise :

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

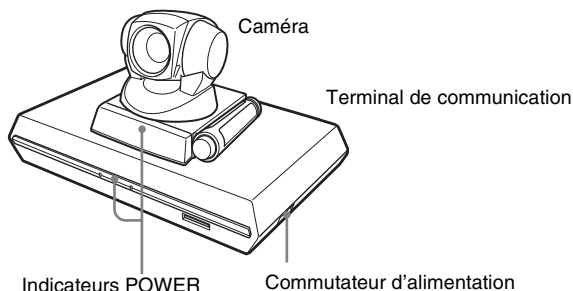
Table de matières

Activation du système	5
Pour appeler un correspondant	6
Réglage de l'image et du son	9
Réglage de l'angle de la caméra et du zoom	9
Réglage du volume	10
Pour terminer la conférence	11
Déconnexion de la ligne	11
Réglage du système en mode de veille	11
Affichage de l'aide	13
Composants du système	14
Composants du système de base	14
Équipement en option	15
Connexions système	18
Connexion système via un réseau LAN	18
Connexion système via un réseau RNIS	19
Spécifications	20

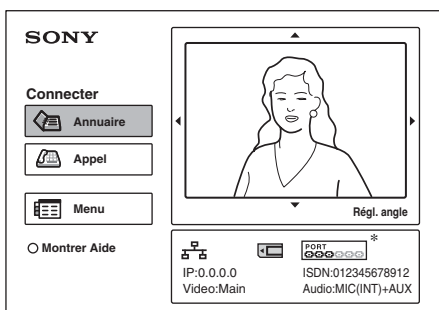
Le CD-ROM fourni contient le mode d'emploi qui donne des informations plus détaillées sur ce système. Veuillez lire le mode d'emploi ainsi que le guide d'utilisation.

Activation du système

- 1 Mettez sous tension le moniteur de télévision.
- 2 Mettez sous tension le ou les autres appareils à utiliser pour la vidéoconférence.
- 3 Placez le commutateur d'alimentation sur le côté droit du terminal de communication sur la position de marche (I).





Le terminal de communication se met sous tension après quelques instants. Trois indicateurs sur la face avant du terminal de communication et l'indicateur POWER sur la caméra s'allument, puis seuls les indicateurs POWER sur les deux appareils restent allumés en vert. Le menu de démarrage s'affiche sur l'écran du moniteur et l'image prise par la caméra locale apparaît aussi dans le menu de démarrage..

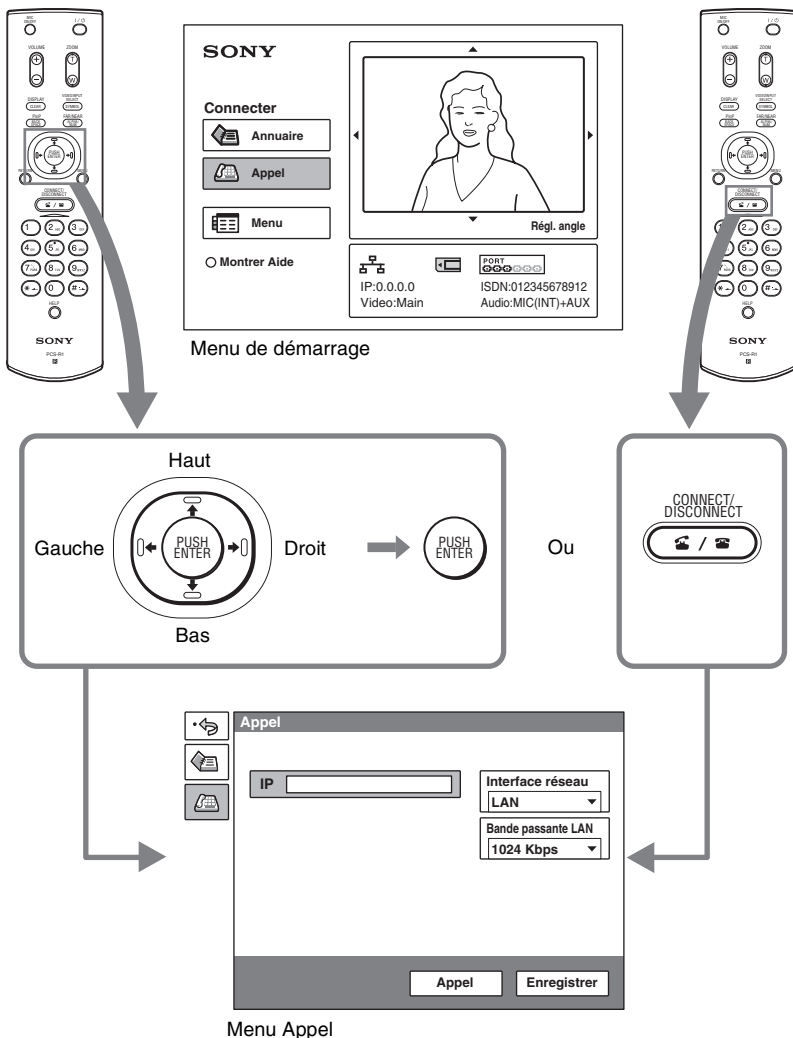


* Chaque fois que le menu de démarrage est illustré dans ce guide, l'unité RNIS PCS-B768 est utilisée. L'indicateur de port RNIS est différent de celui de l'exemple avec utilisation de l'unité RNIS PCS-B384.

Pour appeler un correspondant

Cette section vous montre comment appeler un correspondant non enregistré dans l'annuaire.

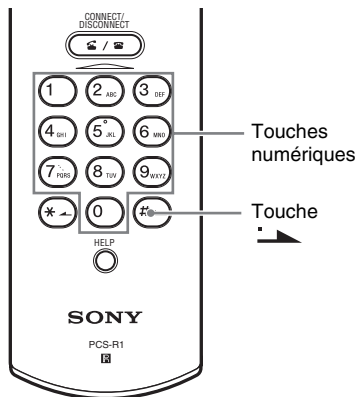
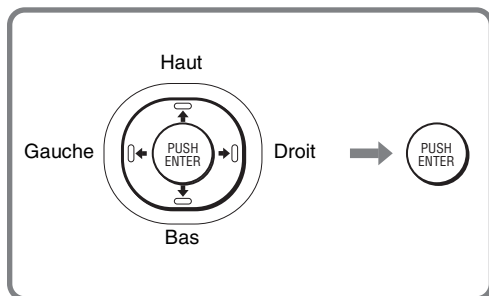
- 1 Appuyez sur la touche **↑**, **↓**, **←** ou **→** de la télécommande pour sélectionner « Appel » dans le menu de démarrage, puis sur la touche **PUSH ENTER**, ou appuyez sur la touche **CONNECT/DISCONNECT** ( / ).
Le menu Appel s'affiche sur l'écran du moniteur.



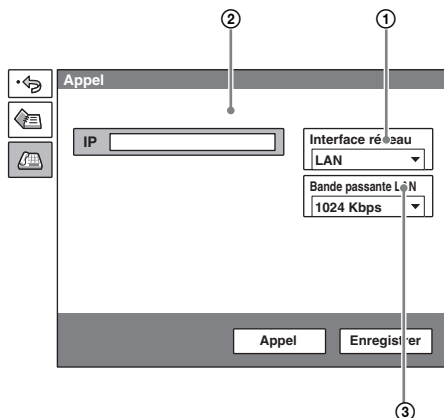
2 Configurez les éléments dans le menu Appel.

Utilisez la touche **↑**, **↓**, **←** ou **→** pour sélectionner l'élément à régler, puis appuyez sur la touche **PUSH ENTER**.

Vous pouvez utiliser les touches numériques et la touche **·** (point) pour entrer les chiffres.

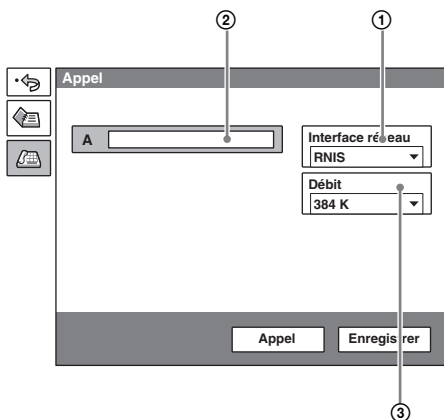


Si vous établissez une connexion avec un correspondant via un réseau LAN





- 1 Sélectionnez « Interface réseau », puis « LAN » dans le sous-menu affiché.
- 2 Sélectionnez la zone de texte IP, puis entrez l'adresse IP du correspondant au moyen des touches numériques et de la touche **·** (point) de la télécommande.
- 3 Sélectionnez « Bande passante LAN », puis la bande passante utilisée.

Si vous établissez une connexion avec un correspondant via une connexion RNIS



- ① Sélectionnez « Interface réseau », puis sélectionnez « RNIS » dans le sous-menu affiché.
- ② Sélectionnez la zone de texte de numéro de téléphone, puis entrez le numéro de téléphone du correspondant à l'aide des touches numériques de la télécommande.
- ③ Sélectionnez « Débit », puis sélectionnez le débit à utiliser pour appeler le correspondant.

- 3** Utilisez la touche **↑**, **↓**, **←** ou **→** pour sélectionner « Appel » dans la partie inférieure du menu Appel, puis appuyez sur la touche **PUSH ENTER**, ou appuyez sur la touche **CONNECT/DISCONNECT** ( / ). Une fois la connexion avec le correspondant établie, le message « Début de la conférence. » s'affiche et l'écran change comme suit.



Réglage de l'image et du son

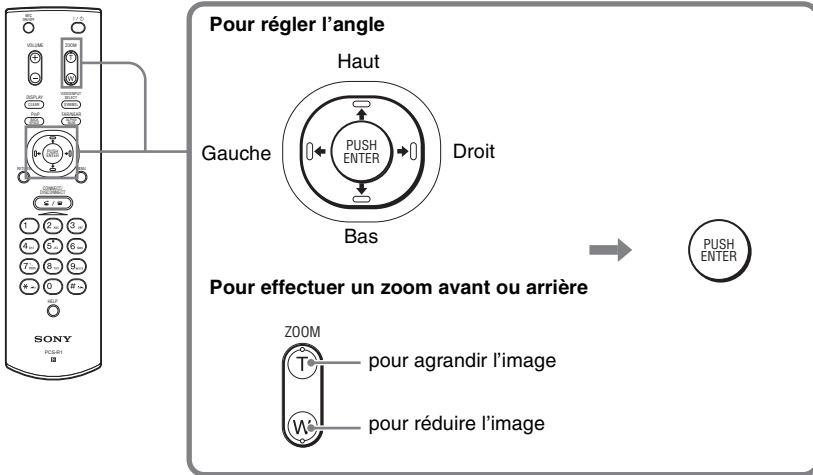
Réglage de l'angle de la caméra et du zoom

Réglages en dehors d'une communication

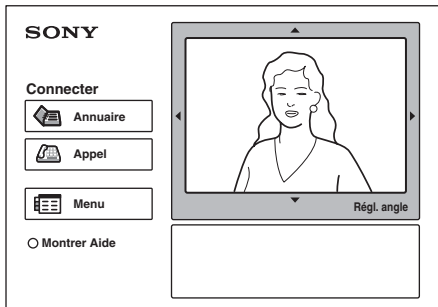
Utilisez la touche **↑**, **↓**, **←** ou **→** de la télécommande pour sélectionner l'image dans le menu de démarrage, puis appuyez sur la touche **PUSH ENTER**.

Appuyez sur la touche **↑**, **↓**, **←** ou **→** pour régler l'angle de la caméra et la touche **ZOOM T/W** pour faire un zoom avant ou arrière.

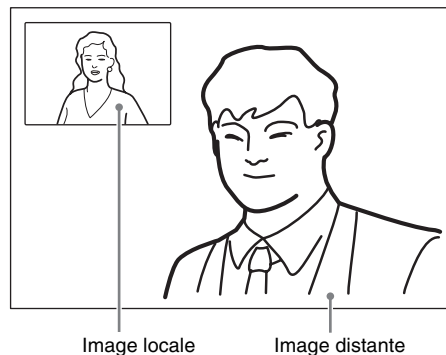
Une fois le réglage effectué, appuyez sur la touche **PUSH ENTER**.



En dehors d'une communication



Pendant une communication



Réglage pendant une communication

Vous pouvez régler l'angle de l'image et le zoom sur le site local à l'aide des touches ▲/▼/◀/▶ et ZOOM T/W de la télécommande.

Reportez-vous au mode d'emploi pour régler l'angle de prise de vue et le zoom sur le site distant.

Réglage du volume

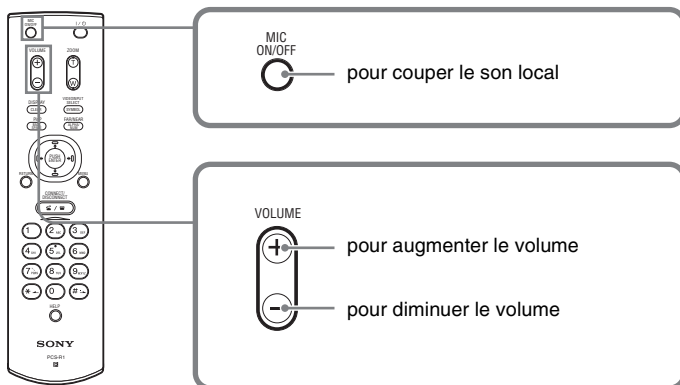
Pour régler le volume du son reçu du correspondant

Appuyez sur la touche VOLUME +/- de la télécommande.

Pour couper le son du site local envoyé au correspondant



Appuyez sur la touche MIC ON/OFF de la télécommande.

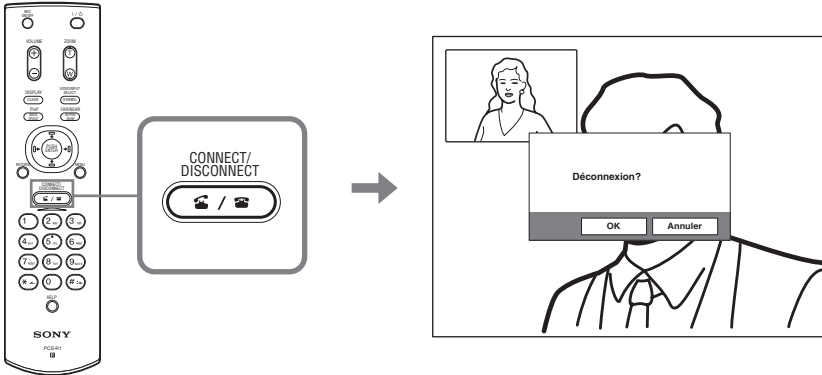
L'indicateur « MIC OFF » s'affiche sur l'écran du moniteur. Pour rétablir le son, appuyez une nouvelle fois sur la touche MIC ON/OFF.







Pour terminer la conférence


Déconnexion de la ligne

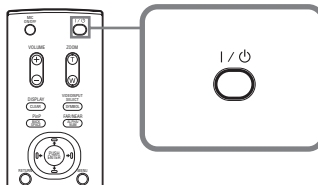
- 1 Appuyez sur la touche CONNECT/DISCONNECT ( / ) de la télécommande.
Le message « Déconnexion ? » s'affiche sur l'écran du moniteur.



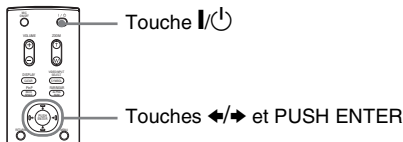
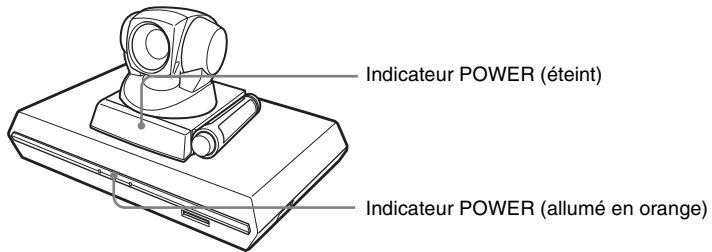
- 2 Appuyez sur la touche  ou  de la télécommande pour sélectionner « OK », puis sur la touche PUSH ENTER, ou appuyez sur la touche CONNECT/DISCONNECT ( / ).
La ligne est débranchée et le menu de démarrage est rétabli.

Réglage du système en mode de veille

- 1 Appuyez sur la touche  de la télécommande.
Le message « Mise hors tension ? » s'affiche sur l'écran du moniteur.



- 2** Appuyez sur la touche ◀ ou ▶ de la télécommande pour sélectionner « OK », puis sur la touche PUSH ENTER, ou appuyez sur la touche I/⏻. Le système passe en mode de veille et l'indicateur POWER sur le terminal de communication s'allume en orange.



Lorsque le système se trouve dans ce mode, vous pouvez l'activer au moyen de la touche I/⏻ de la télécommande.

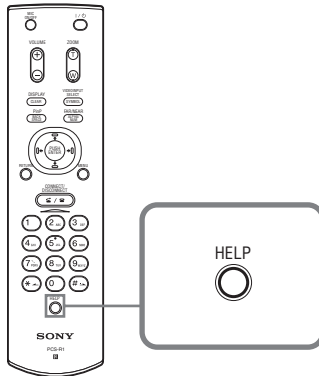
Lorsque le système reçoit un appel, le mode de veille est automatiquement annulé et le système est connecté.

Pour le mettre hors tension

Réglez le commutateur d'alimentation sur le côté droit du terminal de communication sur la position Arrêt (O), et mettez hors tension le ou les autres appareils utilisés pour la vidéoconférence.

Affichage de l'aide

Appuyez sur la touche HELP de la télécommande pour afficher une bulle ou un écran d'aide afin d'obtenir des instructions de guidage concernant la plupart des opérations sur l'écran du moniteur.





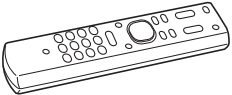
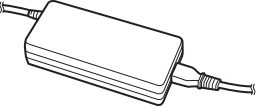
Pour cacher le guide d'aide, appuyez une nouvelle fois sur la touche HELP.

Composants du système

Le système de communication vidéo PCS-11/11P est constitué des composants système nécessaires pour une vidéoconférence de base et d'équipements en option pour une vidéoconférence avancée.

Composants du système de base

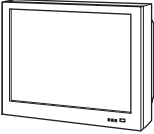
Le système de communication vidéo PCS-11/11P est le système de base du système de vidéoconférence PCS-11/11P. Il est constitué des éléments suivants :

Unité	Description
<p>Terminal de communication PCS-P11/P11P</p> 	<p>Comprend le codec vidéo, le codec audio, l'éliminateur d'écho, les interfaces réseau et le contrôleur système.</p>
<p>Caméra PCS-C11/C11P</p> 	<p>Composée d'une caméra et d'un microphone intégré.</p>
<p>Télécommande PCS-R1</p> 	<p>Permet de commander le terminal de communication et la caméra.</p>
<p>Adaptateur secteur PCS-AC195</p> 	<p>Assure l'alimentation électrique du terminal de communication.</p>

Equipement en option



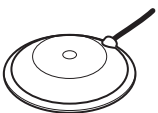
Moniteur de télévision

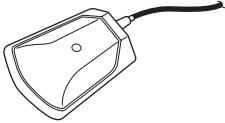
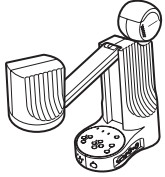
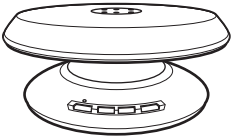
Un téléviseur, un projecteur, etc., est nécessaire pour contrôler les images du système de vidéoconférence.

Unité	Description
Téléviseur, projecteur, etc. 	Utilisé comme moniteur et comme haut-parleur.

Equipement en option conçu spécialement pour être utilisé avec le PCS-11/11P

Les périphériques en option suivants vous permettent d'améliorer vos vidéoconférences.

Unité	Description
Unité RNIS PCS-B384 	Permet de connecter une ligne RNIS. Possibilité d'utiliser jusqu'à trois lignes RNIS et jusqu'à 6 canaux B.
Unité RNIS PCS-B768 	Permet de connecter une ligne RNIS. Possibilité d'utiliser jusqu'à six lignes RNIS et jusqu'à 12 canaux B.
Microphone PCS-A1 	Microphone omnidirectionnel (capable de capter le son dans toutes les directions) permettant aux participants de parler à partir de n'importe quelle position. Il est recommandé de l'utiliser dans un environnement calme.

Unité	Description
<p data-bbox="232 119 452 145">Microphone PCS-A300</p> 	<p data-bbox="524 119 967 196">Microphone unidirectionnel. Recommandé pour capter la voix d'une personne orientée vers le microphone.</p>
<p data-bbox="232 331 430 379">Support Document PCS-DS150/DS150P</p> 	<p data-bbox="524 331 1005 408">Permet de transmettre des images vers le terminal de communication à l'aide de signaux infrarouges sans qu'il soit nécessaire de connecter un câble.</p>
<p data-bbox="232 619 468 667">Transducteur de communication CTE-600</p> 	<p data-bbox="524 619 1005 721">Système de microphone/haut-parleur intégré pour la communication à distance. Les microphones unidirectionnels captent une voix claire avec un bruit de fond minimum.</p> <p data-bbox="524 721 1005 769">En outre, le haut-parleur omnidirectionnel diffuse le son de manière uniforme dans toutes les directions.</p>

Câbles de connexion

Utilisez les câbles de connexion suivants pour connecter les appareils au système.

PCS-11/11P Video Communication System

Câble	Référence de pièce	Quantité
Câble de caméra (0,25 m (0,8 pied))	1-827-376-11	1
Câble de connexion S-vidéo (1,5 m (4,9 pieds))	1-776-078-42	1
Câble de connexion audio (1 m (3,3 pieds))	1-765-258-31	1

Câble de caméra



Câble de connexion S-vidéo



Câble de connexion audio



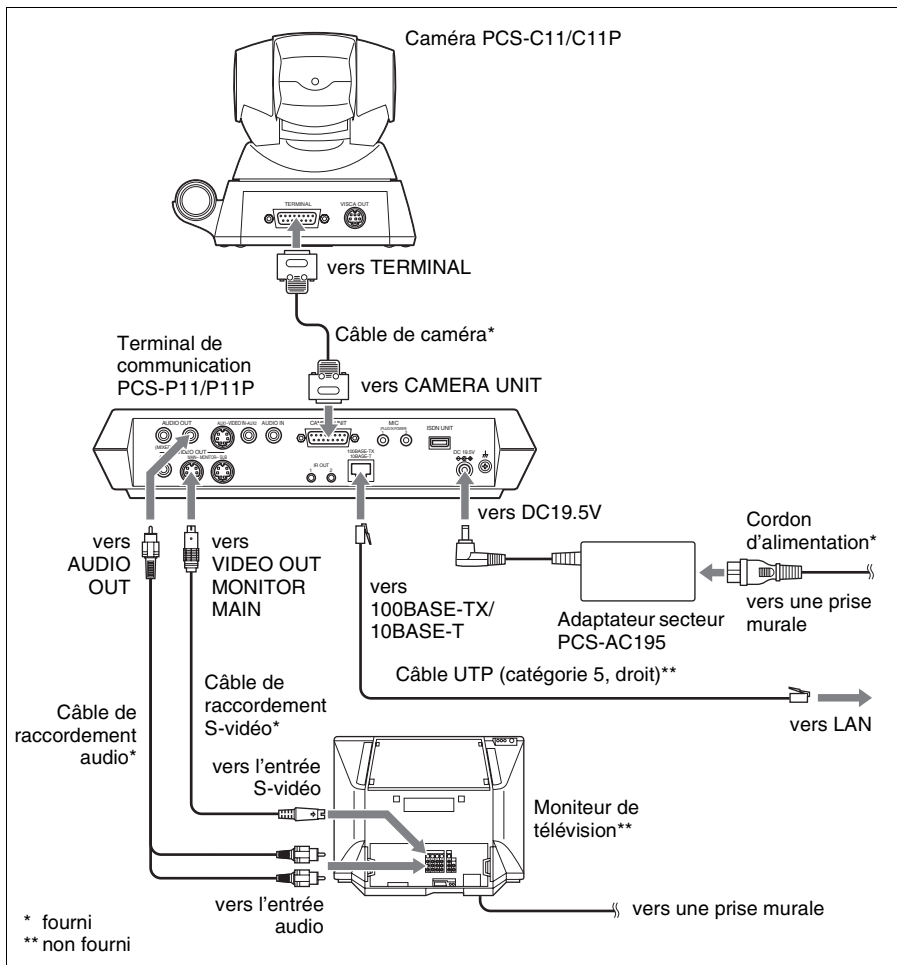
Connexions système

Cette section décrit les connexions système types.

Remarques

- Mettez tous les appareils hors tension avant d'établir quelque connexion que ce soit.
- Ne branchez/débranchez pas le câble de caméra lorsque le système est sous tension. Risque d'endommager la caméra ou le terminal de communication.
- Pour des raisons de sécurité, veillez à ne pas raccorder le connecteur 100BASE-TX/10BASE-T à un réseau susceptible d'envoyer une tension excessive.

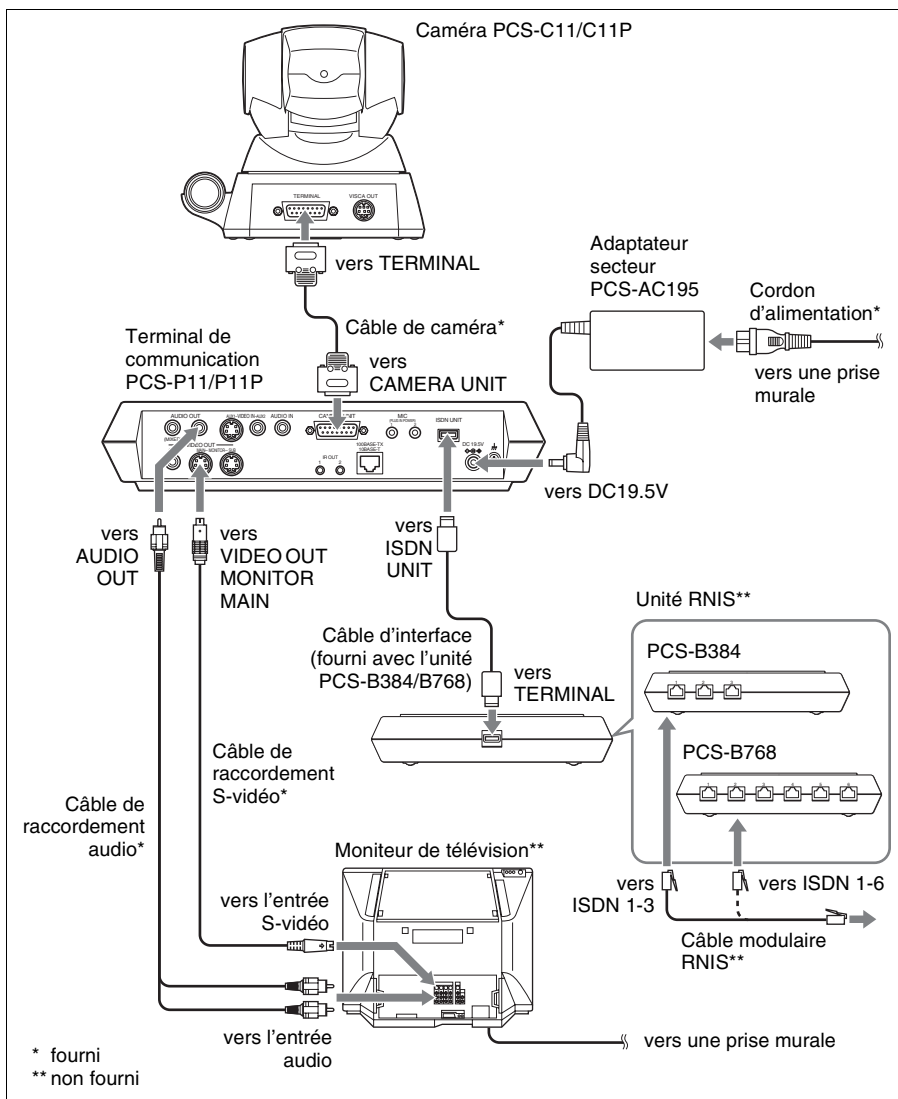
Connexion système via un réseau LAN



Connexion système via un réseau RNIS

Remarques

- Ne branchez/débranchez pas le câble de caméra ou le câble d'interface lorsque l'appareil est sous tension. Risque d'endommager la caméra, le terminal de communication ou l'unité RNIS.
- Lorsqu'il est utilisé pour la première fois avec l'unité RNIS, le terminal de communication peut automatiquement mettre à jour le logiciel de l'unité RNIS. Tant que le message de mise à jour est affiché sur l'écran du moniteur, veillez à ne pas mettre le terminal de communication hors tension. Risque de provoquer un mauvais fonctionnement du système.



Spécifications

Terminal de communication PCS-P11/P11P

Cet appareil est conforme aux recommandations ITU-T H.320 et H.323.

Images animées

Bande passante de fonctionnement	64 Kbps à 1024 Kbps (standard, connexion LAN) 56 Kbps à 384 Kbps (si PCS-B384 est installé, connexion RNIS) 56 Kbps à 768 Kbps (si PCS-B768 est installé, connexion RNIS)
Codage	H.261/H.263/H.263+/H.263+/ H.264 (recommandation ITU-T)
Pixels	CIF : 352 pixels × 288 lignes QCIF : 176 pixels × 144 lignes
Système couleur	NTSC (PCS-P11) PAL (PCS-P11P) Capacité de connexion avec les deux systèmes de couleur

Images fixes

Pixels	704 pixels × 480 lignes (PCS-P11) 704 pixels × 576 lignes (PCS-P11P)
Codage	H.261 (recommandation ITU-T) Annexe. D (4CIF) H.263 (format spécial de ce système)

Son

Bande passante	7 kHz (G.722 conforme à la recommandation ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728 conforme à la recommandation ITU-T)
Débit de transfert	56 Kbps, 64 Kbps (G.711, recommandation ITU-T) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722, recommandation ITU-T) 16 Kbps (G.728, recommandation ITU-T)

Réseau

Multiplexage	Vidéo, audio, données
Format d'images	

Interface	H.221 (conforme à la recommandation ITU-T) LAN (standard), 64 Kbps à 1024 Kbps RNIS (BRI), jusqu'à 3 lignes (avec l'unité PCS-B384), jusqu'à 6 lignes (avec l'unité PCS-B768)
Vitesse de transfert des données	LSL 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
Protocole LAN supporté	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP

Télécommande

Commande de la caméra du correspondant	H.281 (conforme à la recommandation ITU-T)
Transfert de données	T.120 (conforme à la recommandation ITU-T)

Généralités

Alimentation	19,5 V
Consommation électrique	3,0 A
Température d'utilisation	5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement	20% à 80%
Température de stockage	-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage	20% à 80% (sans condensation)
Dimensions	258 × 54 × 171 mm (l/h/p) (10 1/4 × 2 1/4 × 6 3/4 pouces) (parties en saillie non comprises)
Poids	1,3 kg (2 lb 14 oz) environ
Accessoires fournis	Télécommande PCS-R1 (1) Piles AA (R6) pour la télécommande (2) Répétiteur IR (2) Câble de caméra de 0,25 m (0,8 ft) (1) Câble de connexion S-vidéo (1,5 m, 4,9 ft) (1) Câble de connexion audio (1 m, 3,3 ft) (1) Adaptateur secteur PCS-AC195 (1)

Cordon d'alimentation (1)
Adaptateur 21 broches (1)
(PCS-P11P seulement)
Velcro (3 pour la caméra, 2 pour le terminal de communication)
CD-ROM (1)
Guide d'utilisation (1)
Certificat de garantie (1)

Commande Courant continu 3 V avec deux piles AA (R6)
Dimensions 50 × 24 × 197 mm (l/h/p)
(2 × ³/₃₂ × 7 ⁷/₈ pouces) (parties en saillie non comprises)
Poids 140 g (4 oz) environ (piles comprises)

Caméra PCS-C11/C11P

Signal vidéo
NTSC couleur, normes EIA (PCS-C11)
PAL couleur, normes CCIR (PCS-C11P)

Dispositif d'image
CCD 1/4 pouce (dispositif à coupleur de charge)
Environ 410 000 pixels (effectifs : environ 380 000 pixels) (PCS-C11)
Environ 470 000 pixels (effectifs : Environ 440 000 pixels) (PCS-C11P)

Objectif f = 3,1 à 31 mm, F 1,8 à 2,9, angle horizontal 6,6° à 65°

Distance focale
100 (GRAND ANGLE) à 600 (TELEOBJECTIF) mm

Éclairage minimal
3,5 lux à F 1,8/50 IRE

Plage d'éclairage
3,5 lux to 100 000 lux

Résolution horizontale
470 lignes de télévision (PCS-C11)
450 lignes de télévision (PCS-C11P)

Mouvement de panoramique/inclinaison
Horizontal ±100°
Vertical ±25°

Dimension 147 × 130 × 138 mm (l/h/p)
(5 ⁷/₈ × 5 ¹/₈ × 5 ¹/₂ pouces)
(parties en saillie non comprises)

Poids 1,1 kg (2 lb 7 oz) environ

Microphone

Plage de fréquence
18 kHz

Propriétés directives
Directionnel, angle étroit

Télécommande PCS-R1

Format du signal
Infrarouge SIRCS

Adaptateur secteur PCS-AC195

Alimentation
100 à 240V CA, 50/60 Hz, 1,3 A à 0,6 A

Sortie 19,5 V, 4,1 A

Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 94°F)

Humidité de fonctionnement
20% à 80%

Température de stockage
-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)

Humidité de stockage
20% à 80% (sans condensation)

Dimensions 63 × 31 × 140 mm (l/h/p)
(2 ¹/₂ × 1 ¹/₄ × 5 ⁵/₈ pouces)

Poids 410 g (14 oz) environ

Microphone PCS-A1 (en option)

Bande passante
13 kHz

Propriétés directives
Omnidirectionnel

Dimensions 74 × 16 × 93 mm (l/h/p)
(3 × ²/₃₂ × 3 ³/₄ pouces)

Poids 170 g (6 oz) environ

Alimentation Auto-alimentation

Microphone PCS-A300 (en option)

Bande passante
13 kHz

Propriétés directives
Unidirectionnel

Dimension 68 × 16 × 96 mm (l/h/p)
(2 ³/₄ × ²/₃₂ × 3 ⁷/₈ pouces)

Poids 200 g (7 oz) environ

Alimentation Auto-alimentation

Unité RNIS PCS-B384 (en option)

Alimentation
19,5 V

Consommation électrique
0,3 A

Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 94°F)

Humidité de fonctionnement
20% à 80%

Température de stockage

	-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage	20% à 80% (sans condensation)
Dimensions	165 × 34 × 127 mm (l/h/p) (6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties saillantes non comprises)
Poids	400 g (14 oz) environ
Accessoires fournis	Câble d'interface (5 m, 16,4 ft) (1) Mode d'emploi (1) Certificat de garantie (1)

Unité RNIS PCS-B768 (en option)

Alimentation	19,5 V
Consommation électrique	0,5 A
Température d'utilisation	5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement	20% à 80%
Température de stockage	-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage	20% à 80% (sans condensation)
Dimensions	165 × 34 × 127 mm (l/h/p) (6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties saillantes non comprises)
Poids	400 g (14 oz) environ
Accessoires fournis	Câble d'interface (5 m, 16,4 ft) (1) Mode d'emploi (1) Certificat de garantie (1)

Type et caractéristiques sont susceptibles d'être modifiés sans préavis.

VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden.

Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur einem Fachmann.

VORSICHT

Dieses Gerät verfügt über keinen Netzschalter.

Fügen Sie beim Einbau des Geräts einen leicht zugänglichen Schalter in die starre Verkabelung ein oder verbinden Sie das Netzkabel mit einer leicht zugänglichen Steckdose in der Nähe des Geräts.

Tritt beim Betrieb des Geräts ein Fehler auf, betätigen Sie den Schalter, um das Gerät auszuschalten oder ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

WICHTIG

Das Typenschild befindet sich am Boden des Geräts.

Diese Anleitung behandelt hauptsächlich die Durchführung einer Videokonferenz über ISDN-Leitungen; sie enthält jedoch auch Anweisungen für Videokonferenzen über andere Leitungen. Für zusätzliche Informationen zu den ISDN-Leitungen wenden Sie sich an Ihren Sony Händler.

- In einigen Gebieten stehen keine ISDN-Leitungen zur Verfügung.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.

De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Wenn Sie das Gerät entsorgen wollen, wenden Sie sich bitte an das nächste Sony-Kundendienstzentrum. Der eingebaute Akku muß als chemischer Sondermüll entsorgt werden.

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Erstmalige Benutzung des Systems

Diese Anleitung beschreibt die grundlegenden Bedienschritte zum Abhalten einer Punkt-zu-Punkt-Videokonferenz mit dem Videokommunikationssystem PCS-11/11P. Sie lernen alle Schritte, die zur Durchführung einer gewöhnlichen Videokonferenz erforderlich sind. Nähere Einzelheiten über die einzelnen Schritte und die verschiedenen Einstellungen für Videokonferenzen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Hinweis zur Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung ist im PDF-Dateiformat auf der mitgelieferten CD-ROM gespeichert. Zum Lesen der Bedienungsanleitung benötigen Sie Adobe[®] Acrobat[®] Reader. Wenn Adobe Acrobat Reader noch nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die neueste Version von den weiter unten genannten Websites herunterladen.

Bedienungsanleitung zum Lesen aufrufen

- 1 Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM mit dem Titel „Manuals for Video Communication System“ in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Nach kurzer Zeit werden die auf der CD-ROM befindlichen Dateien angezeigt.

- 2 Doppelklicken Sie auf die PDF-Datei „German“.
Adobe Acrobat Reader startet, und die Titelseite der Bedienungsanleitung wird angezeigt.

Durch Klicken auf einen Eintrag im Inhaltsverzeichnis gelangen Sie zur entsprechenden Seite.

Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) installieren

Zur Installation von Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) auf Ihrem Computer benötigen Sie folgende Hardware und Software:

- Computer mit Intel[®] Pentium[®] oder 100 % kompatibelem Prozessor
- Microsoft[®] Windows^{®**} 98 SE, Windows Millennium, Windows NT^{®**} 4.0 Service Pack 5 oder Windows 2000 und höher
- mindestens 64 MB RAM
- mindestens 70 MB freien Platz auf der Festplatte

Die neueste Version von Adobe Acrobat Reader können Sie kostenlos von den folgenden Websites herunterladen.

Version für Nordamerika:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

Version für Europa:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/accrcenteuro.html>

Version für Japan:

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

DE

* Adobe und Acrobat sind Marken von Adobe Systems, Incorporated.

** Windows und Windows NT sind in den USA und anderen Ländern eingetragene Marken der U.S. Microsoft Corporation.

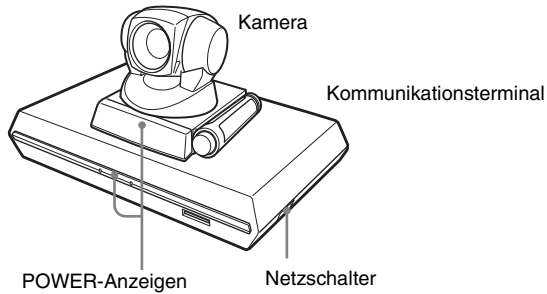
Inhaltsverzeichnis

Einschalten des Systems	5
Anrufen einer anderen Teilnehmergruppe	6
Einstellen von Bild und Ton	9
Einstellen von Kamerawinkel und Zoom	9
Einstellen der Lautstärke	10
Beenden der Konferenz	11
Unterbrechen der Verbindung	11
Aktivieren des Bereitschaftsmodus	11
Aufrufen der Hilfe	13
Systemanschlüsse	14
Systemanschluss über ein lokales Netzwerk	14
Systemkonfiguration mit ISDN ..	15
Technische Daten	16

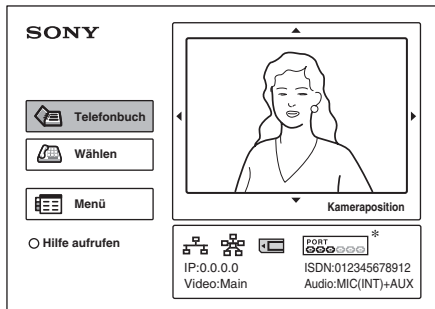
Die auf der mitgelieferten CD-ROM enthaltene Bedienungsanleitung verfügt über weitere Einzelheiten zu diesem System. Bitte lesen Sie Bedienungsanleitung und Betriebsanleitung sorgfältig durch.

Einschalten des Systems

- 1 Schalten Sie den Fernsehmonitor ein.
- 2 Schalten Sie alle anderen für die Videokonferenz benötigten Geräte ein.
- 3 Bringen Sie den Netzschalter rechts am Kommunikationsterminal in die Stellung „Ein“ (I).





Nach einer Weile schaltet sich das Kommunikationsterminal ein. Die drei Anzeigen an der Vorderseite des Kommunikationsterminals und die POWER-Anzeige an der Kamera leuchten auf, dann leuchten nur die POWER-Anzeigen an beiden Geräten weiter grün. Das Startmenü wird auf dem Bildschirm angezeigt und zeigt auch das von der lokalen Kamera aufgenommene Bild..



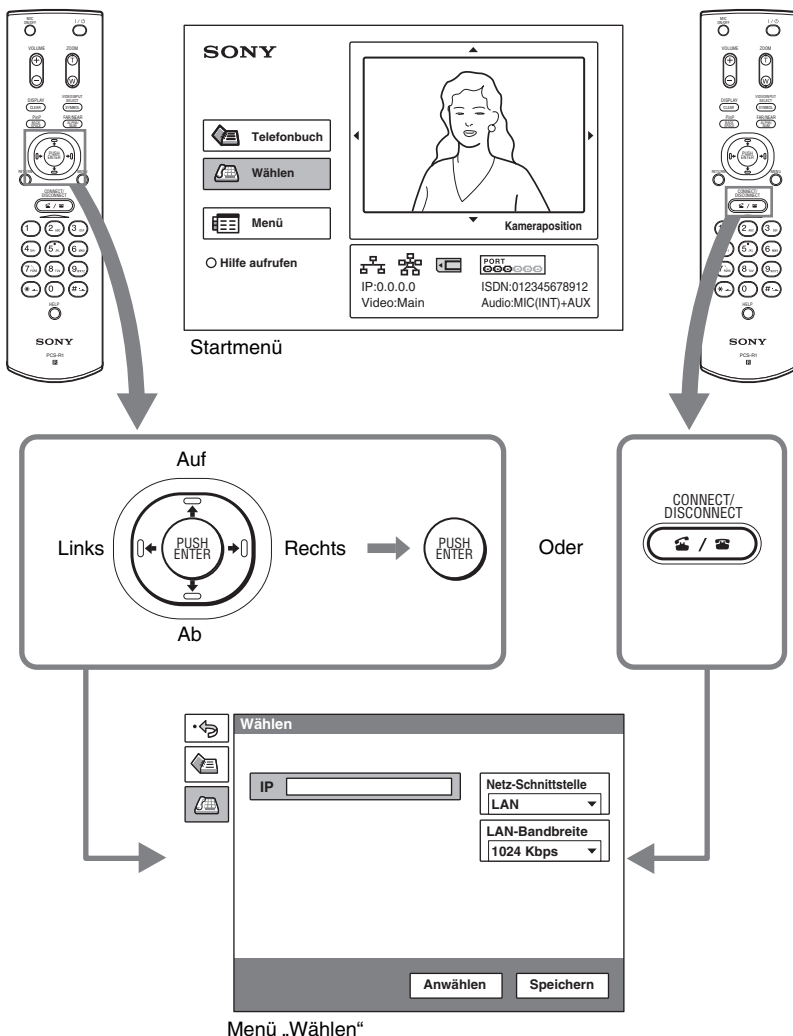
* In der in diesem Handbuch als Beispiel gezeigten Abbildung des Startmenüs wird das ISDN-Gerät PCS-B768 verwendet. Bei Verwendung des ISDN-Geräts PCS-B384 unterscheidet sich die Anzeige der ISDN-Kanäle von dem Beispiel.

Anrufen einer anderen Teilnehmergruppe

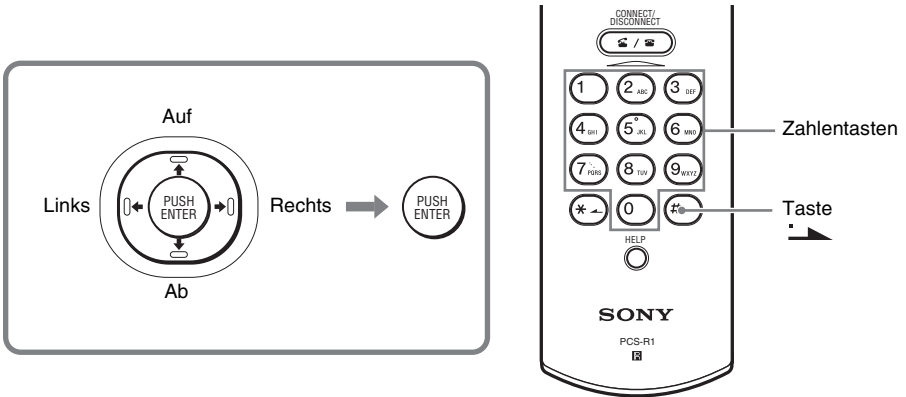
Diese Anleitung erklärt das Anrufen einer anderen Teilnehmergruppe, die nicht im Telefonbuch registriert ist.

- 1 Wählen Sie mit der Taste **↑**, **↓**, **←** oder **→** im Startmenü die Option „Wählen“ aus und drücken Sie dann die Taste **PUSH ENTER**, oder drücken Sie die Taste **CONNECT/DISCONNECT** ( / ) auf der Fernbedienung.

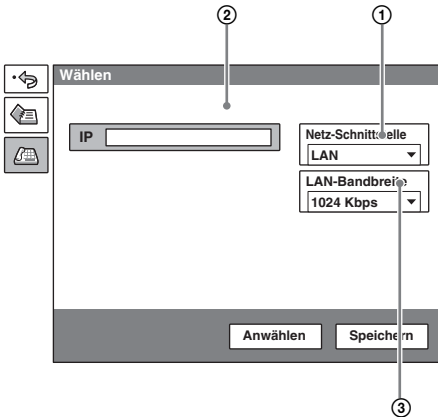
Das Menü „Wählen“ wird angezeigt.



- 2** Nehmen Sie im Menü „Wählen“ die gewünschten Einstellungen vor.
Wählen Sie mit der Taste **↑**, **↓**, **←** oder **→** die Option aus, die eingestellt werden soll, und drücken Sie dann die Taste **PUSH ENTER**.
Zahlen werden über die Zahlentasten und die Taste **•** (Punkt) eingegeben.

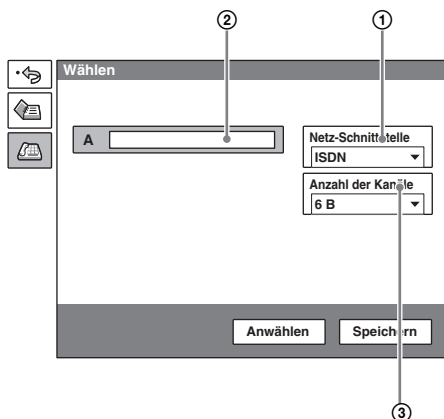


Bei Verbindung über ein lokales Netzwerk (LAN)



- ① Wählen Sie „Netz-Schnittstelle“ und wählen Sie dann „LAN“ aus dem Untermenü aus.
- ② Wählen Sie das IP-Textfeld und geben Sie dann mithilfe der Zahlentasten und der Taste **•** (Punkt) auf der Fernbedienung die IP-Adresse der anderen Teilnehmergruppe an.
- ③ Wählen Sie „LAN-Bandbreite“ und wählen Sie dann die verwendete Bandbreite aus.

Bei Verbindung über ISDN



- 1 Wählen Sie „Netz-Schnittstelle“ und wählen Sie dann „ISDN“ aus dem Untermenü aus.
- 2 Wählen Sie das Textfeld für die Telefonnummer und geben Sie dann mithilfe der Zahlentasten auf der Fernbedienung die Telefonnummer der anderen Teilnehmergruppe ein.
- 3 Wählen Sie „Anzahl der Kanäle“ und wählen Sie dann die Anzahl der Kanäle aus, die für die Verbindung mit der anderen Teilnehmergruppe verwendet werden soll.

- 3 Wählen Sie mit der Taste **↑**, **↓**, **←** oder **→** die Option „Anwählen“ im unteren Teil des Menüs, und drücken Sie dann die Taste PUSH ENTER, oder drücken Sie die Taste CONNECT/DISCONNECT (**☎** / **☎**). Wenn die Verbindung mit der anderen Teilnehmergruppe hergestellt wurde, wird die Meldung „Konferenz beginnt!“ angezeigt, und der Bildschirm sieht nun so aus:



Einstellen von Bild und Ton

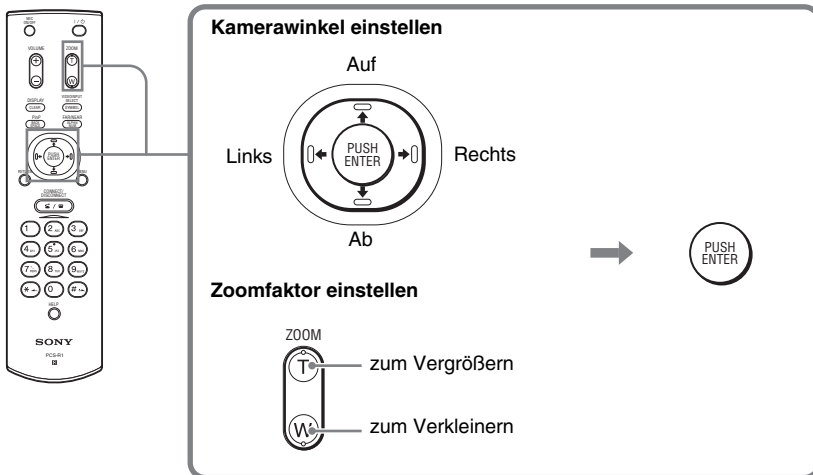
Einstellen von Kamerawinkel und Zoom

Bei nicht stattfindender Kommunikation einstellen

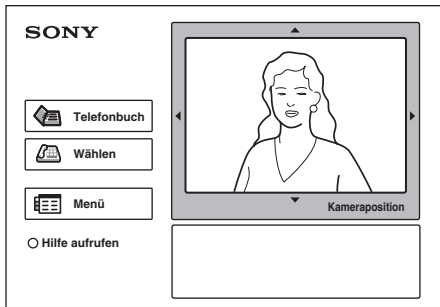
Drücken Sie die Taste **↑**, **↓**, **←** oder **→** auf der Fernbedienung zur Auswahl des Bildes im Startmenü, und drücken Sie dann die Taste **PUSH ENTER**.

Stellen Sie mit der Taste **↑**, **↓**, **←** oder **→** den Kamerawinkel und mit der Taste **ZOOM T/W** den Zoomfaktor ein.

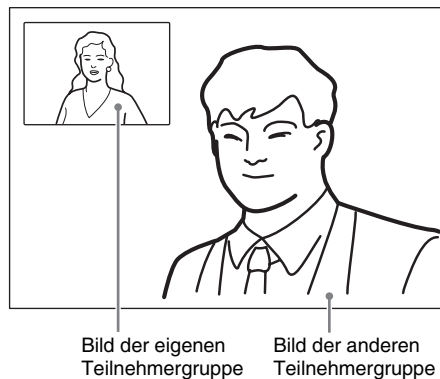
Drücken Sie dann die Taste **PUSH ENTER**.



Wenn keine Kommunikation stattfindet



Während einer Kommunikation



Während der Kommunikation einstellen

Sie können den Winkel des Bildes und den Zoomfaktor am eigenen Standort mit den Tasten **▲/▼/◀/▶** und **ZOOM T/W** auf der Fernbedienung einstellen. Wie Kamerawinkel des Bildes und Zoomfaktor am anderen Standort eingestellt werden, entnehmen Sie bitte der Bedienungsanleitung.

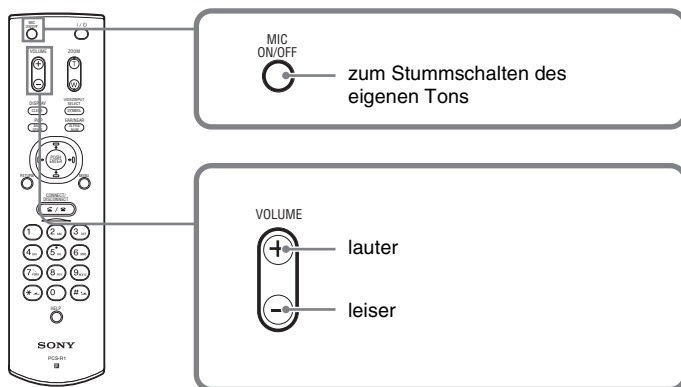
Einstellen der Lautstärke

Lautstärke des von einer anderen Teilnehmergruppe eingehenden Tons einstellen

Drücken Sie die Taste **VOLUME +/-** auf der Fernbedienung.



Übertragung des Tons der eigenen Teilnehmergruppe an die andere Teilnehmergruppe abschalten

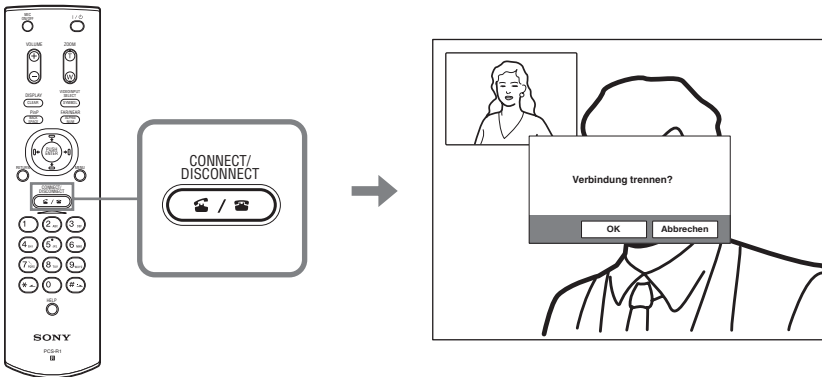
Drücken Sie die Taste **MIC ON/OFF** auf der Fernbedienung. Auf dem Monitorbildschirm erscheint die Anzeige „MIC OFF“. Um die Tonübertragung wieder einzuschalten, drücken Sie die Taste **MIC ON/OFF** erneut.







Beenden der Konferenz


Unterbrechen der Verbindung

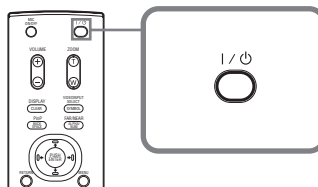
- 1 Drücken Sie die Taste CONNECT/DISCONNECT ( / ) auf der Fernbedienung.
Auf dem Bildschirm wird „Verbindung trennen?“ angezeigt.



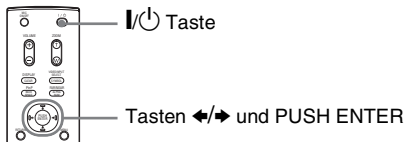
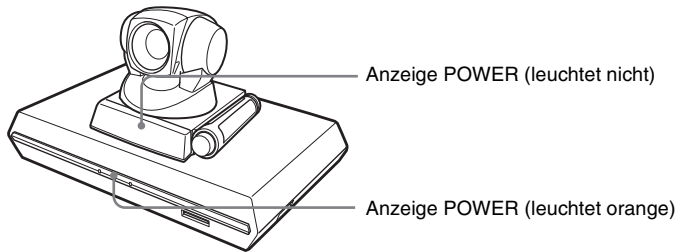
- 2 Wählen Sie mit der Taste  oder  auf der Fernbedienung „OK“ und drücken Sie dann die Taste PUSH ENTER, oder drücken Sie die Taste CONNECT/DISCONNECT( / ).
Die Verbindung wird unterbrochen, und das Startmenü wird wieder angezeigt.

Aktivieren des Bereitschaftsmodus

- 1 Drücken Sie die Taste  auf der Fernbedienung.
Auf dem Bildschirm wird „Ausschalten?“ angezeigt.



- 2** Wählen Sie mit der Taste ◀ oder ▶ auf der Fernbedienung „OK“, und drücken Sie dann die Taste PUSH ENTER, oder drücken Sie die Taste I/⏻. Das System schaltet in den Bereitschaftsmodus, und die Anzeige POWER am Kommunikationsterminal leuchtet orange.



Wenn sich das System in diesem Status befindet, kann es mit der Taste I/⏻ auf der Fernbedienung eingeschaltet werden.

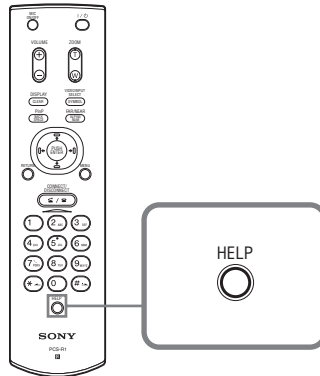
Wenn das System einen Anruf erkennt, wird der Bereitschaftsmodus automatisch abgebrochen und das System ist verbunden.

Ausschalten

Bringen Sie den Netzschalter an der rechten Seite des Kommunikationsterminals in die Stellung „Aus“ (O), und schalten Sie die anderen Geräte, die für die Videokonferenz benutzt wurden, aus.

Aufrufen der Hilfe

Drücken Sie die Taste HELP auf der Fernbedienung, um eine Sprechblasenhilfe oder einen Hilfebildschirm für die meisten Funktionen auf dem Monitor aufzurufen.



Um die Hilfeinformationen auszublenden, Taste HELP erneut drücken.

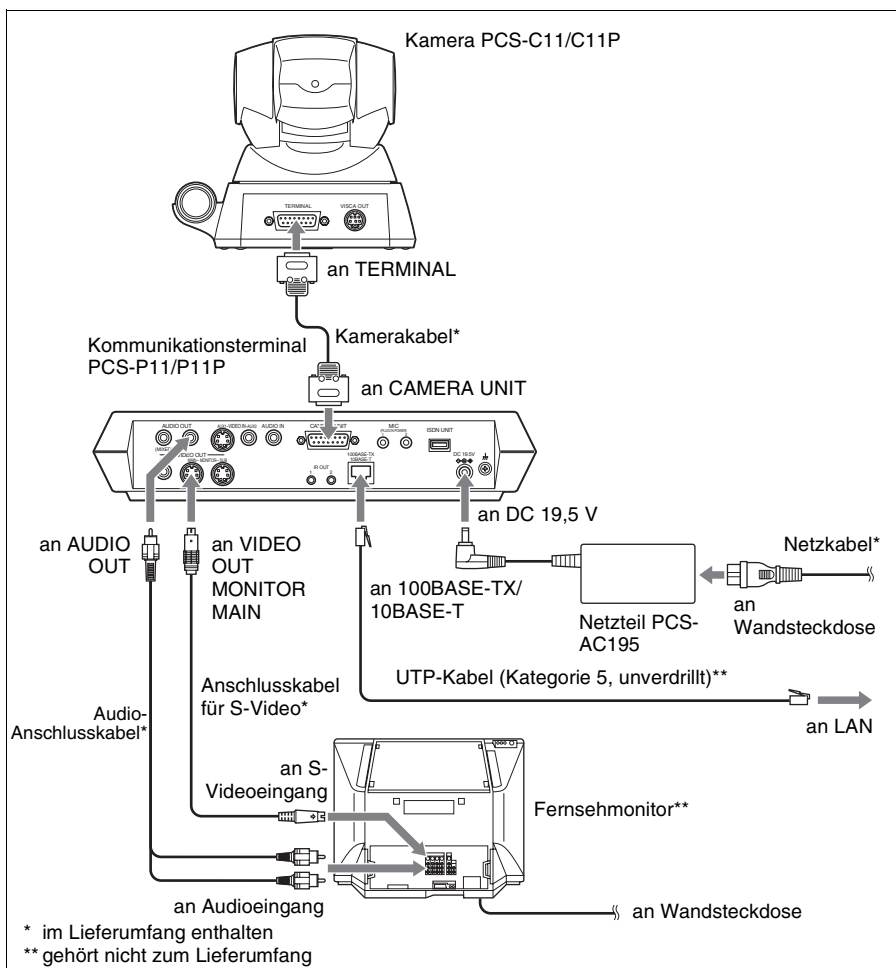
Systemanschlüsse

In diesem Abschnitt werden die typischen Systemanschlüsse beschrieben.

Hinweise

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie Verbindungen herstellen.
- Schließen Sie das Kamerakabel nicht an bzw. trennen Sie es nicht, wenn das Gerät eingeschaltet ist, da dies zu Beschädigungen der Kamera oder des Kommunikationsterminals führen kann.
- Verwenden Sie den Anschluss 100BASE-TX/10BASE-T aus Sicherheitsgründen nicht in einem Netzwerk, in dem der Anschluss 100BASE-TX/10BASE-T Überspannung ausgesetzt ist.

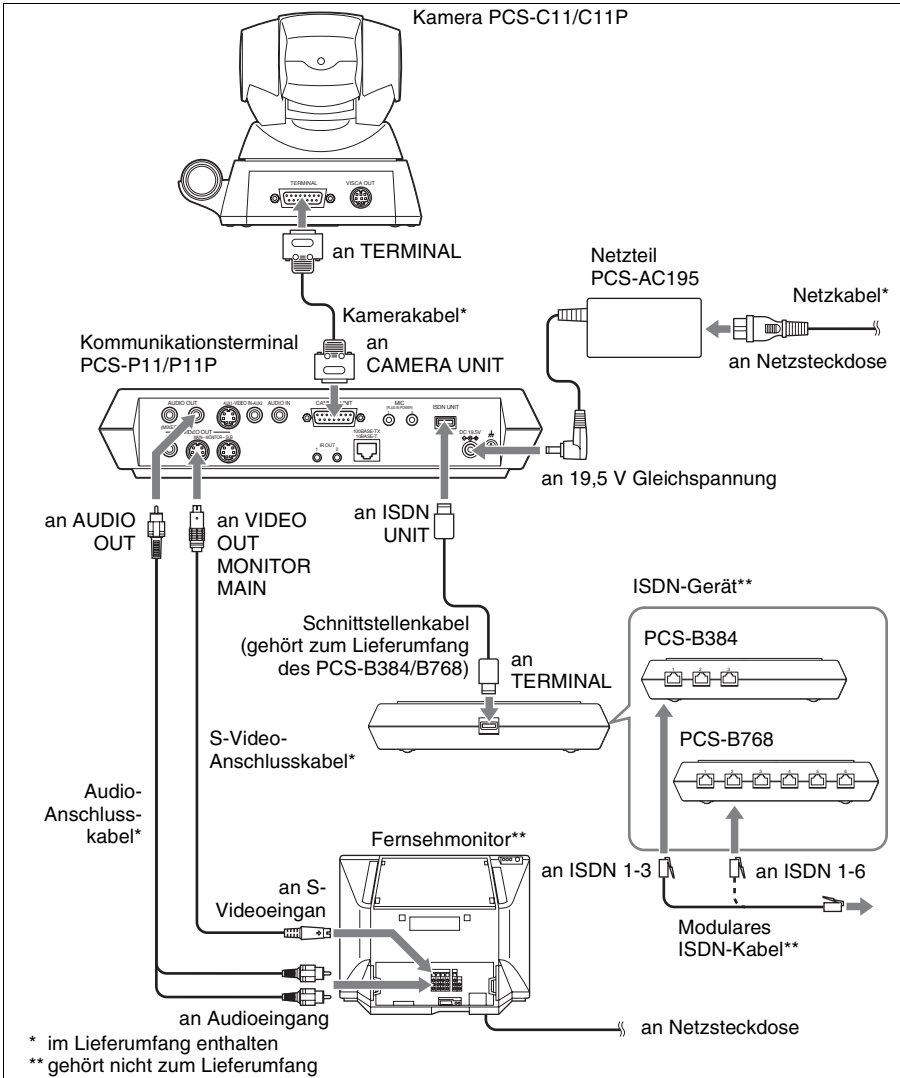
Systemanschluss über ein lokales Netzwerk



Systemkonfiguration mit ISDN

Hinweise

- Schließen Sie das Kamera- bzw. Schnittstellenkabel nur an bzw. trennen Sie es nur, wenn das Gerät ausgeschaltet ist. Andernfalls werden Kamera, Kommunikationsterminal oder ISDN-Gerät beschädigt.
- Bei der ersten Verwendung des ISDN-Geräts aktualisiert der Kommunikationsterminal möglicherweise automatisch die Software des ISDN-Geräts. Während die Aktualisierungsmeldung auf dem Bildschirm angezeigt wird, sicherstellen, dass der Kommunikationsterminal nicht ausgeschaltet wird. Andernfalls kann dies zu einer Fehlfunktion des Systems führen.



Technische Daten

Kommunikationsterminal PCS-P11/P11P

Dieses Gerät entspricht den ITU-T-Empfehlungen H.320 und H.323.

Bewegtes Bild

Betriebsbandbreite	64 Kbps bis 1024 Kbps (Standard, LAN-Anschluss) 56 Kbps bis 384 Kbps (bei Installation des PCS-B384, ISDN-Anschluss) 56 Kbps bis 768 Kbps (bei Installation des PCS-B768, ISDN-Anschluss)
Codierung	H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 (ITU-T-Empfehlung)

Bildelemente

CIF: 352 Pixel × 288 Zeilen
QCIF: 176 Pixel × 144 Zeilen

Farbsystem

NTSC (PCS-P11)
PAL (PCS-P11P)
Verbindung zwischen beiden Farbsystemen

Standbild

Pixel	704 Pixel × 480 Zeilen (PCS-P11) 704 Pixel × 576 Zeilen (PCS-P11P)
Codierung	H.261 (ITU-T Empfehlung) Anhang D (4CIF) H.263 (Sonderformat dieses Systems)

Ton

Bandbreite	7 kHz (G.722 entspricht der ITU-T Empfehlung) 3,4 kHz (G.711/G.728 entspricht der ITU-T Empfehlung)
Übertragungsrate	56 Kbps, 64 Kbps (G.711 entspricht der ITU-T-Empfehlung) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 entspricht der ITU-T-Empfehlung) 16 Kbps (G.728 entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Netzwerk

Multiplexverfahren	Video, Audio, Daten
Vollbildformat	H.221 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)
Schnittstelle	LAN (Standard), 64 Kbps bis 1024 Kbps ISDN (BRI), bis zu 3 Leitungen (PCS-B384), bis zu 6 Leitungen (PCS-B768)
Datenübertragungsrate	LSL 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
Unterstützte LAN-Protokolle	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP

Fernbedienungs-

Steuerung der Kamera am fernen Standort	H.281 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)
Datenübertragung	T.120 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Allgemein

Betriebsspannung	19,5 V
Leistungsaufnahme	3,0 A
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb	20 % bis 80 %
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung	20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen	258 × 54 × 171 mm (B/H/T) (außer Projektteile)
Gewicht	ca. 1,3 kg
Mitgeliefertes Zubehör	Fernbedienung PCS-R1 (1) R6-Batterien der Größe AA für Fernbedienung (2) IR-Repeater (2) Kamerakabel (0,25 m) (1) S-Video-Anschlusskabel (1,5 m) (1) Audioverbindungskabel (1 m) (1) Netzteil PCS-AC195 (1)

Netzkabel (1)
21-poliger Adapter (1)
(nur PCS-P11P)
Klettbänder (3 für die Kamera, 2
für den
Kommunikationsterminal)
CD-ROM (1)
Bedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

Kamera PCS-C11/C11P

Videosignal NTSC Farbe, EIA-Standards
(PCS-C11)
PAL Farbe, CCIR-Standards
(PCS-C11P)

Bildwandler 1/4-Typ CCD (Charge Coupled
Device)
ca. 410.000 Pixel (Effektiv: ca.
380.000 Pixel) (PCS-C11)
ca. 470.000 Pixel (Effektiv: ca.
440.000 Pixel) (PCS-C11P)

Objektiv $f = 3,1$ bis 31 mm, F 1,8 bis 2,9,
Horizontaler Winkel $6,6^\circ$ bis
 65°

Brennweite 100 (WEITW.) bis 600 (TELE)
mm

Mindestbeleuchtungsstärke
 $3,5$ lx bei F 1,8/50 IRE

Beleuchtungsbereich
 $3,5$ lx bis 100.000 lx

Horizontale Auflösung
470 TV-Anschlüsse (PCS-C11)
450 TV-Anschlüsse (PCS-C11P)

Schwenk-/Neigebereich
Horizontal $\pm 100^\circ$
Vertikal $\pm 25^\circ$

Abmessungen $147 \times 130 \times 138$ mm (B/H/T)
(ohne Projektteile)

Gewicht ca. 1,1 kg

Mikrofon

Frequenzbereich
 18 kHz

Direktionale Eigenschaften
Richtmikrofon

Fernbedienung PCS-R1

Signalformat Infrarot-SIRCS-Signal

Steuerung DC 3 V mit zwei Batterien der
Größe AA (R6)

Abmessungen $50 \times 24 \times 197$ mm (B/H/T)
(ohne Projektteile)

Gewicht ca. 140 g (einschließlich Batterien)

AC-Netzteil PCS-AC195

Betriebsspannung
 100 bis 240 V AC, 50/60 Hz, 1,3 A
bis $0,6$ A

Ausgang $19,5$ V, 4,1 A

Betriebstemperatur
 5°C bis 35°C

Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
 20% bis 80%

Lagertemperatur
 -20°C bis $+60^\circ\text{C}$

Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
 20% bis 80% (nicht
kondensierend)

Abmessungen $63 \times 31 \times 140$ mm (B/H/T)

Gewicht ca. 410 g

Mikrofon PCS-A1 (optional)

Bandbreite 13 kHz

Direktionale Eigenschaften
Rundgerichtet

Abmessungen $74 \times 16 \times 93$ mm (B/H/T)

Gewicht ca. 170 g

Stromversorgung
Plug-in-Power

Mikrofon PCS-A300 (optional)

Bandbreite 13 kHz

Direktionale Eigenschaften
Unidirektional

Abmessungen $68 \times 16 \times 96$ mm (B/H/T)

Gewicht ca. 200 g

Stromversorgung
Plug-in-Power

ISDN-Gerät PCS-B384 (optional)

Betriebsspannung
 $19,5$ V

Leistungsaufnahme
 $0,3$ A

Betriebstemperatur
 5°C bis 35°C

Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
 20% bis 80%

Lagertemperatur
 -20°C bis $+60^\circ\text{C}$

Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
 20% bis 80% (nicht
kondensierend)

Abmessungen $165 \times 34 \times 127$ mm (B/H/T)
(ohne Projektteile)

Gewicht ca. 400 g

Mitgeliefertes Zubehör
Schnittstellenkabel (5 m) (1)
Bedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

ISDN-Gerät PCS-B768 (optional)

Betriebsspannung	19,5 V
Leistungsaufnahme	0,5 A
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb	20 % bis 80 %
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung	20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen	165 × 34 × 127 mm (B/H/T) (ohne Projektteile)
Gewicht	ca. 400 g
Mitgeliefertes Zubehör	Schnittstellenkabel (5 m) (1) Bedienungsanleitung (1) Garantieheft (1)

Design und technische Daten können ohne
Vorankündigung geändert werden.

ADVERTENCIA

Para prevenir el riesgo de incendios o de electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra la unidad. En caso de avería, solicite el servicio de personal cualificado únicamente.

ADVERTENCIA

Este equipo no dispone de interruptor de alimentación.

Cuando lo instale, monte un dispositivo de conexión accesible en el cableado fijo, o bien conecte el cable de alimentación a una toma de pared situada cerca de la parte trasera de la unidad y a la que se pueda acceder fácilmente.

Si se produce alguna anomalía de funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para interrumpir la alimentación, o bien desenchufe el cable de alimentación.

IMPORTANTE

La placa de características se encuentra en la parte inferior.

Este manual se centra en el uso de líneas RDSI para realizar videoconferencias, pero también cubre las líneas que no son de este tipo. Si utiliza líneas RDSI, consulte con su proveedor Sony para más información.

- El servicio RDSI puede no estar disponible en ciertas zonas.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.

De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Si tira la unidad, consulte con su Centro de Asistencia Sony más cercano. La batería interna debe ser tratada como residuo químico.

Utilización del sistema por primera vez

Esta guía describe brevemente el funcionamiento básico de una videoconferencia punto a punto mediante el sistema de comunicaciones de vídeo PCS-11/11P. Aprenderá a realizar una conferencia diaria desde el comienzo hasta el final. Para otras operaciones más detalladas y ajustes varios necesarios para la realización de conferencias remítase al Manual de instrucciones en el CD-ROM que se entrega con la unidad.

Acerca del Manual de instrucciones

El Manual de instrucciones del sistema está grabado en el CD-ROM en formato PDF. Para leerlo deberá utilizar el programa Adobe[®] Acrobat[®]* Reader. Si no tiene Adobe Acrobat Reader instalado en su ordenador, puede descargar la última versión del programa desde alguna de las páginas web que se indican más adelante.

Consulta del Manual de instrucciones

- 1 Inserte el CD-ROM “Manuals for Video Communication System” entregado con la unidad en la unidad de CD-ROM de su ordenador.
Tras una breve pausa, se abrirá una ventana con los archivos almacenados en el CD-ROM.

- 2 Haga doble clic sobre el archivo PDF llamado “Spanish”.
Se iniciará el programa Adobe Acrobat Reader y, a continuación, aparecerá la portada del Manual de instrucciones.

Haciendo clic sobre un apartado del Índice le permite avanzar hasta la página correspondiente.

Instalación de Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

Para instalar el programa Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) en su ordenador, necesita cumplir los siguientes requisitos de equipo y software:

- Ordenador con procesador Intel[®] Pentium[®] o 100% compatible.
- Microsoft[®] Windows[®]** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT[®]** 4.0 Service Pack 5, o Windows 2000 y superior
- 64 MB de RAM como mínimo
- 70 MB de espacio disponible en el disco duro como mínimo

Se puede obtener la última versión de Adobe Acrobat Reader gratuitamente de las páginas web que se indican a continuación.

Versión norteamericana:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

Versión europea:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/accrcenteuro.html>

Versión japonesa:

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

* Adobe y Acrobat son marcas registradas de Adobe Systems, Incorporated.

** Windows y Windows NT son marcas registradas de Microsoft Corporation en EE.UU. y demás países.

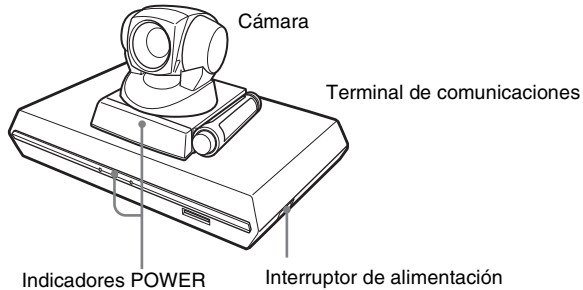
Contenido

Puesta en marcha del sistema	5
Llamada a una ubicación remota	6
Ajuste de imagen y sonido	9
Ajuste de ángulo y zoom de la cámara	9
Ajuste del volumen	10
Finalización de la conferencia	11
Desconexión de la línea	11
Ajuste del sistema en modo en espera	11
Ayuda en pantalla	13
Conexiones del sistema	14
Conexión del sistema a través de una LAN	14
Conexión del sistema a través de una RDSI	15
Especificaciones	16

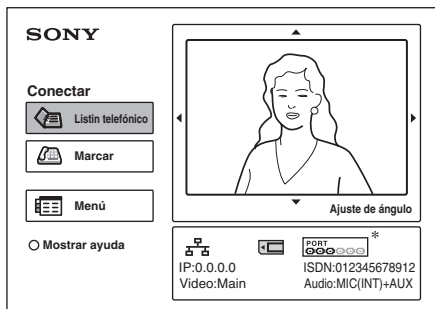
El CD-ROM suministrado incluye el Manual de instrucciones, que proporciona información más detallada sobre este sistema. Lea el Manual de instrucciones y la Guía de funcionamiento.

Puesta en marcha del sistema

- 1 Encienda el monitor de TV.
- 2 Encienda las demás unidades del equipo que se va utilizar para la videoconferencia.
- 3 Accione el interruptor de alimentación situado a la derecha del terminal de comunicaciones (I).





Transcurrida una pausa, se enciende el terminal de comunicaciones. Se encienden los tres indicadores de la parte frontal del terminal de comunicaciones y el indicador POWER de la cámara, a continuación solamente quedan encendidos en verde los indicadores POWER de las dos unidades. En la pantalla del monitor aparece el menú de inicio, donde también es posible ver la imagen capturada por la cámara local.

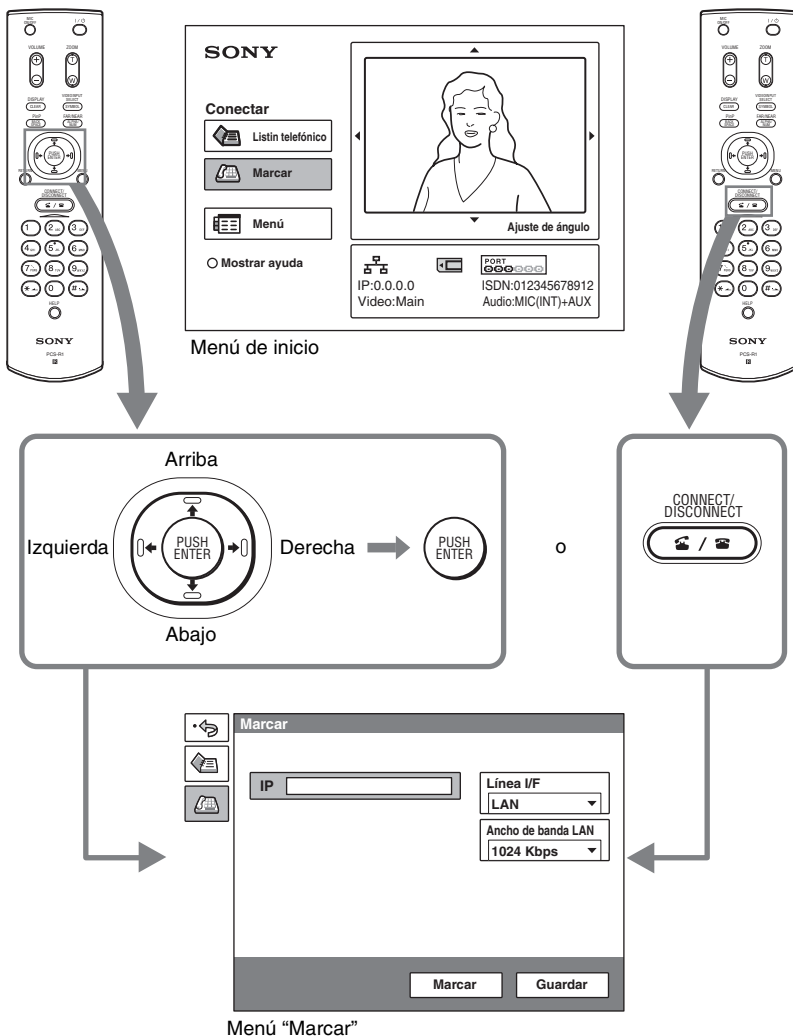


* La ilustración del menú de inicio de esta guía muestra un ejemplo de cuando se utiliza la unidad RDSI PCS-B768. El indicador de puerto RDSI difiere del ejemplo cuando se utiliza la unidad RDSI PCS-B384.

Llamada a una ubicación remota

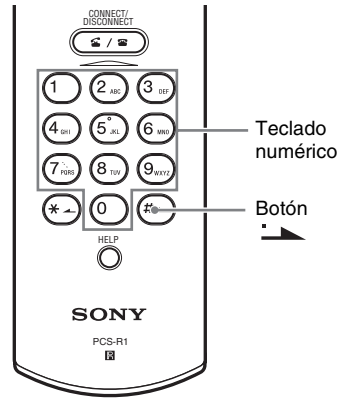
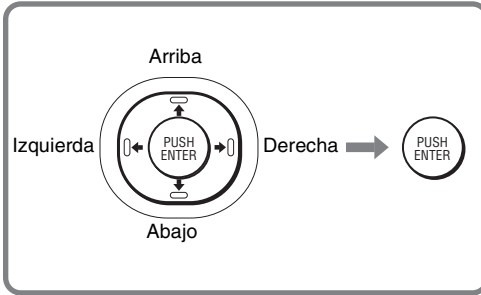
Esta guía muestra la forma de llamar a una ubicación remota no registrada en el Listín telefónico.

- 1 Pulse el botón **↑**, **↓**, **←**, **→** del mando a distancia para seleccionar “Marcar” en el menú de inicio, a continuación, pulse el botón **PUSH ENTER**, o bien pulse el botón **CONNECT/DISCONNECT** ( / ). Aparece el menú “Marcar” en la pantalla del monitor.

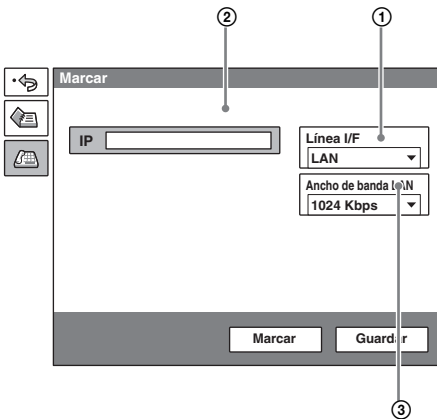


2 Rellene los campos de texto del menú “Marcar”.

Utilice los botones **↑**, **↓**, **←** y **→** para seleccionar los valores de ajuste de cada uno de los apartados, a continuación pulse el botón PUSH ENTER. Asimismo, puede utilizar el teclado numérico y el botón **•** (punto) para introducir los valores numéricos.

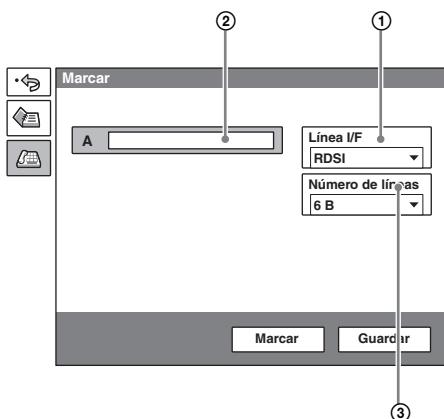


Conexión con una ubicación remota mediante LAN



- 1 Seleccione “Línea I/F”, a continuación seleccione “LAN” en el submenú que aparece en pantalla.
- 2 Seleccione el campo de texto IP, introduzca la dirección IP de la ubicación remota con el teclado numérico y el botón **•** (punto) del mando a distancia.
- 3 Seleccione “Ancho de banda LAN”, a continuación seleccione el ancho de banda que está utilizando.

Conexión con una ubicación remota mediante RDSI



- ① Seleccione “Línea I/F”, a continuación seleccione “RDSI” en el submenú que aparece en pantalla.
- ② Seleccione el campo de texto del número de teléfono, a continuación introduzca el número de teléfono de la ubicación remota con el teclado numérico del mando a distancia.
- ③ Seleccione “Número de líneas”, a continuación seleccione el número de canales utilizados al marcar una ubicación remota.

- 3** Pulse el botón \uparrow , \downarrow , \leftarrow o \rightarrow para seleccionar “Marcar” en la parte inferior del menú “Marcar”, a continuación, pulse el botón PUSH ENTER, o bien pulse el botón CONNECT/DISCONNECT (☎ / ☎).

Cuando el sistema se conecta con la ubicación remota, aparece el mensaje “¡Se inicia la conferencia!” y en la pantalla aparecen las imágenes tal como se muestran a continuación.



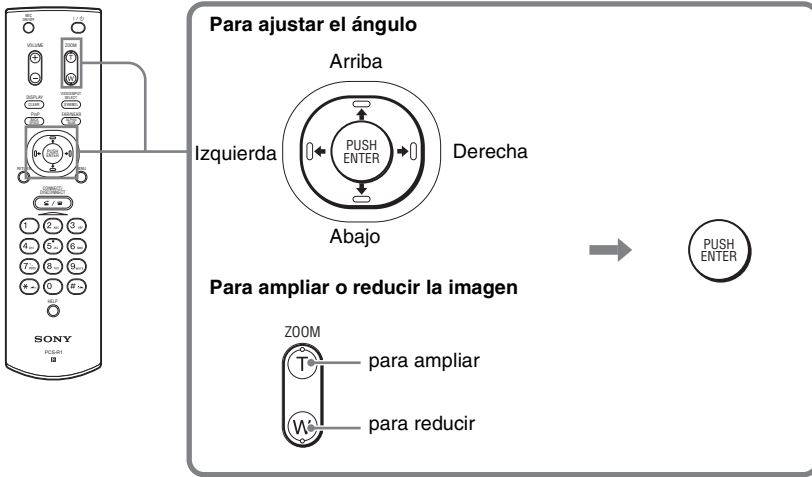
Ajuste de imagen y sonido

Ajuste de ángulo y zoom de la cámara

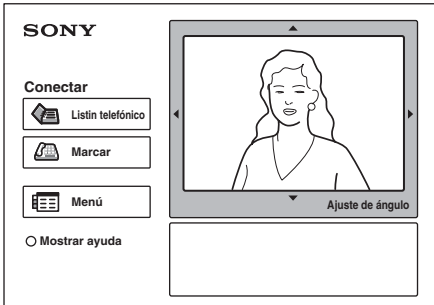
Ajuste sin comunicación

Utilice los botones **↑**, **↓**, **←** y **→** del mando a distancia para seleccionar la imagen en el menú de inicio, a continuación pulse el botón **PUSH ENTER**. Pulse los botones **↑**, **↓**, **←** y **→** para ajustar el ángulo de la cámara y el botón **ZOOM T/W** para ampliar o reducir la imagen.

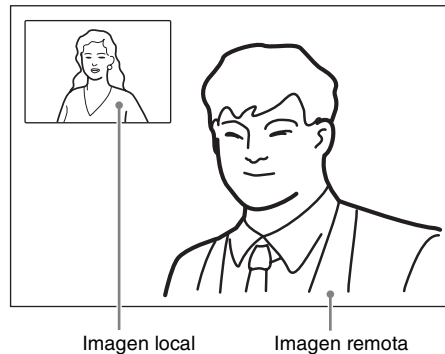
Una vez realizados los ajustes, pulse el botón **PUSH ENTER**.



Sin comunicación



En comunicación



Ajuste en comunicación

Es posible ajustar el ángulo de la cámara y ampliar la imagen local con los botones $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ y ZOOM T/W del mando a distancia.

Para ajustar el ángulo de la cámara y ampliar/reducir la imagen remota, remítase al Manual de instrucciones.

Ajuste del volumen

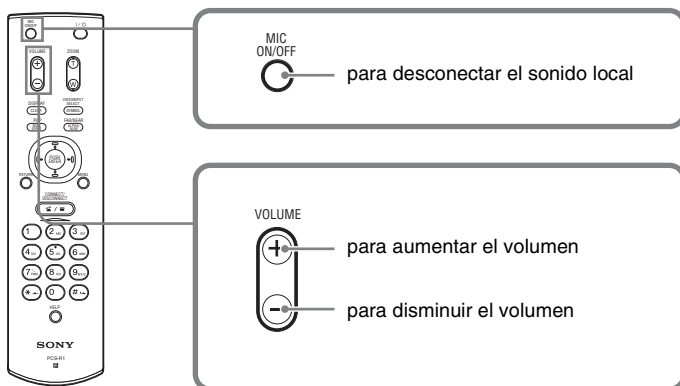
Ajuste del volumen del sonido que se recibe de la ubicación remota

Pulse el botón VOLUME +/- del mando a distancia.

Desconexión del sonido del terminal local a enviar a la ubicación remota



Pulse el botón MIC ON/OFF del mando a distancia.

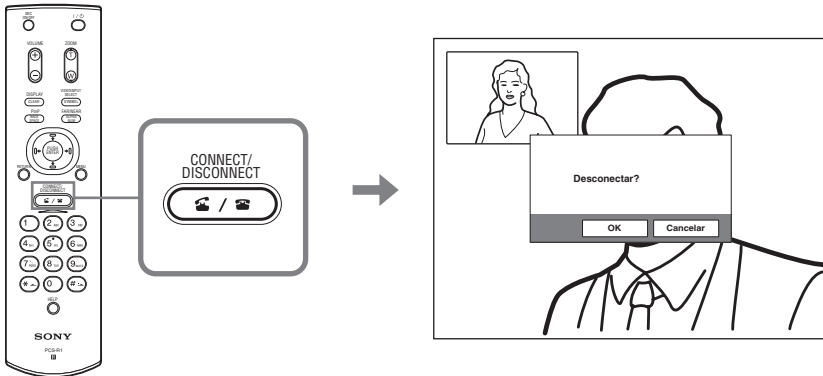
Aparece el indicador "MIC OFF" en la pantalla del monitor. Para restablecer el sonido, pulse de nuevo el botón MIC ON/OFF.







Finalización de la conferencia


Desconexión de la línea

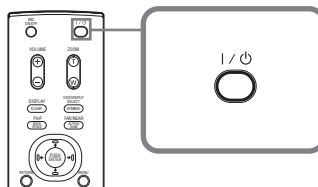
- 1 Pulse el botón CONNECT/DISCONNECT ( / ) del mando a distancia.
Aparece el mensaje “¿Desconectar?” en la pantalla del monitor.



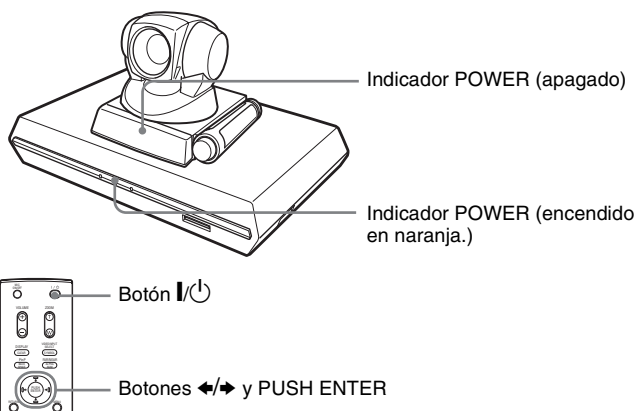
- 2 Pulse el botón  o  del mando a distancia para seleccionar “OK”, a continuación, pulse el botón PUSH ENTER, o bien pulse el botón CONNECT/DISCONNECT ( / ).
A continuación, se desconecta la línea y se restablece el menú de inicio.

Ajuste del sistema en modo en espera

- 1 Pulse el botón  del mando a distancia.
Aparecerá el mensaje “¿Desactivar alimentación?” en la pantalla del monitor.



- 2** Pulse el botón ◀ o ▶ del mando a distancia para seleccionar “OK”, a continuación, pulse el botón PUSH ENTER, o bien pulse el botón I/⏻. El sistema pasa a modo de espera, y el indicador POWER del terminal de comunicaciones se enciende en naranja.



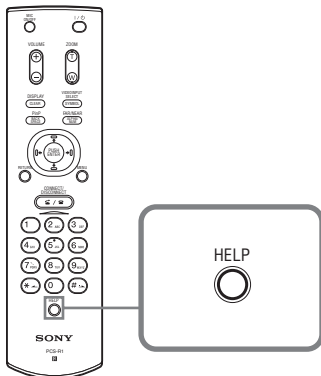
Cuando el sistema está en espera, puede encenderlo con el botón I/⏻ del mando a distancia.
Si se recibe una llamada, el sistema cancela automáticamente el modo de espera y establece la conexión.

Desconexión de la alimentación

Ajuste el interruptor de alimentación situado a la derecha del terminal de comunicaciones en la posición de desconectado (O), y desconecte las demás unidades del equipo utilizadas en la videoconferencia.

Ayuda en pantalla

Pulsando el botón HELP del mando a distancia aparece un globo de texto de ayuda o una pantalla de ayuda para guiar al usuario en la mayor parte de las operaciones desde la pantalla del monitor.



Para ocultar el manual de ayuda, pulse otra vez el botón HELP.

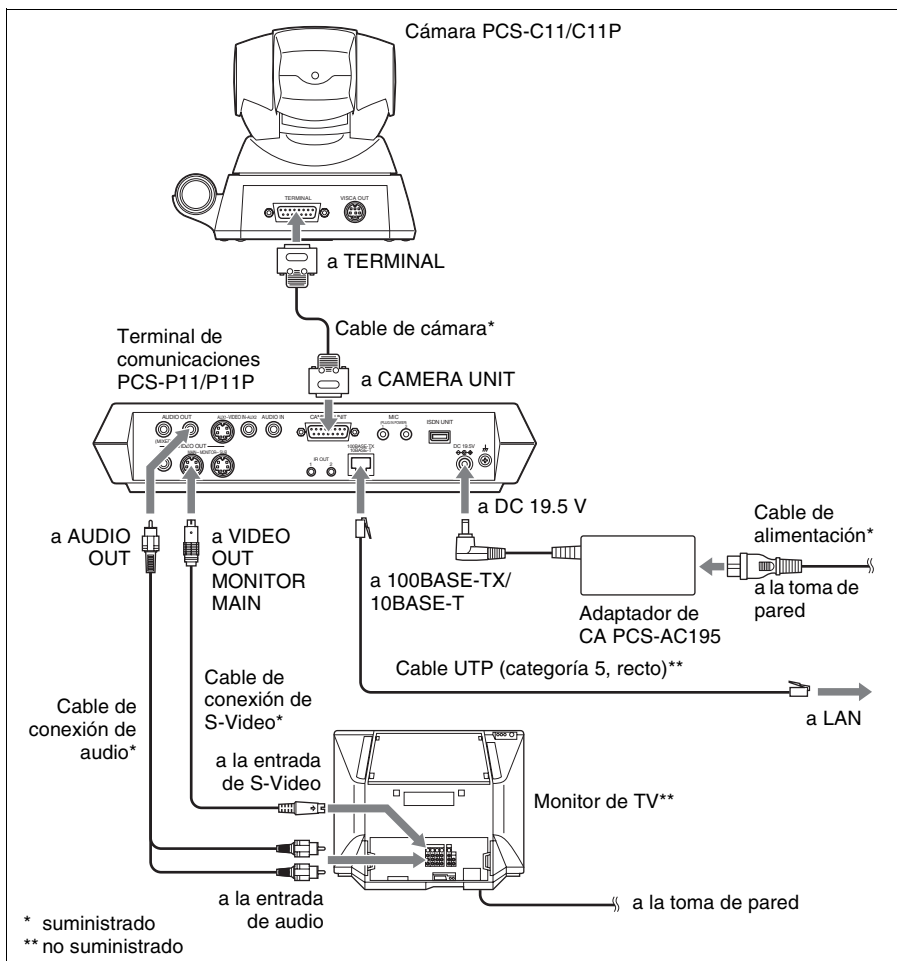
Conexiones del sistema

Esta sección describe las conexiones características del sistema.

Notas

- Asegúrese de desactivar el suministro de alimentación de todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- No enchufe ni desenchufe el cable de la cámara con la alimentación conectada. Si lo hace, la cámara o el terminal de comunicaciones pueden resultar dañados.
- Por motivos de seguridad, no conecte el conector 100BASE-TX/10BASE-T a una red que suministre una tensión excesiva a través del conector 100BASE-TX/10BASE-T.

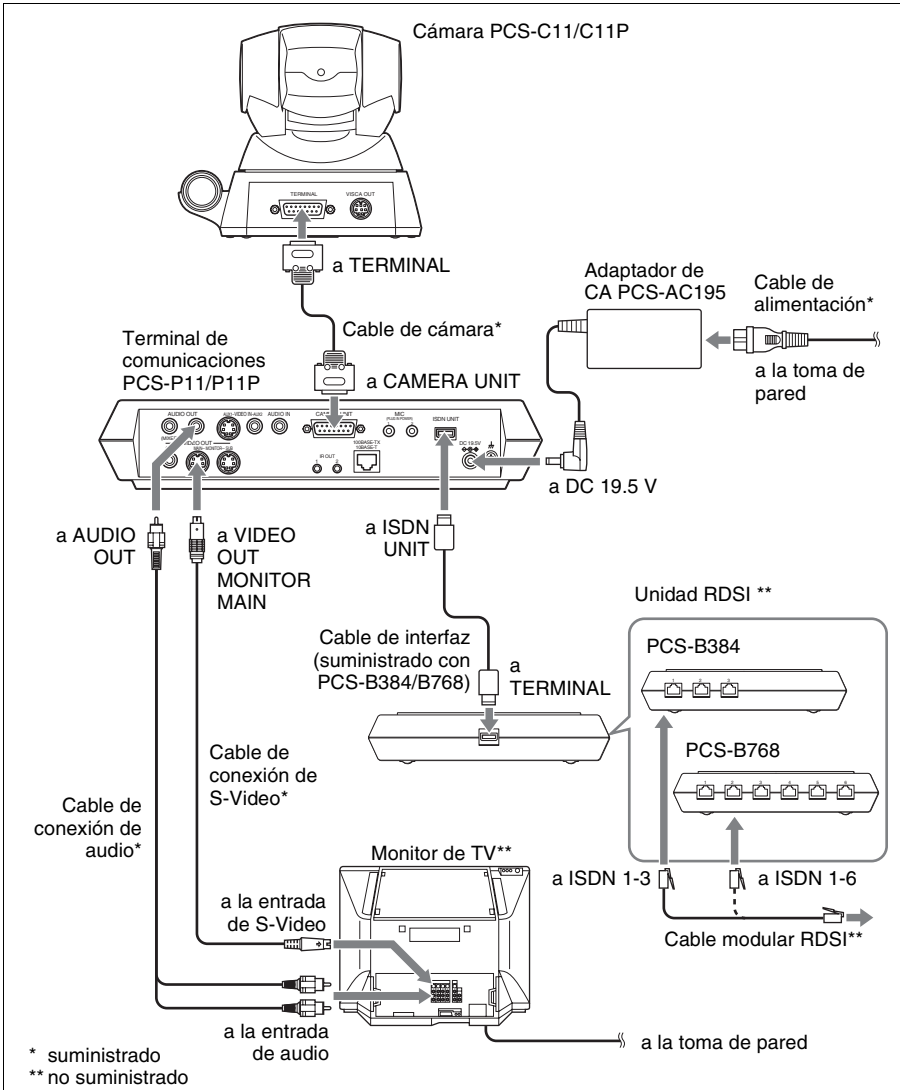
Conexión del sistema a través de una LAN



Conexión del sistema a través de una RDSI

Notas

- No enchufe ni desenchufe el cable de la cámara o el cable de interfaz con la alimentación conectada. Si lo hace, la cámara, el terminal de comunicaciones o la unidad RDSI pueden resultar dañados.
- Cuando se conecta la unidad RDSI por primera vez, es posible que el terminal de comunicaciones actualice automáticamente el software de la unidad RDSI. Mientras aparece el mensaje de actualización en la pantalla del monitor, asegúrese de que no apague el terminal de comunicaciones. Si lo hace, puede provocar una avería en el sistema.



Especificaciones

Terminal de comunicaciones PCS-P11/P11P

Esta unidad cumple las recomendaciones H.320 y H.323 de la ITU-T.

Imagen en movimiento

Ancho de banda operativo	64 a 1024 Kbps (estándar, conexión LAN) 56 a 384 Kbps (si se instala la PCS-B384 para la conexión a una RDSI) 56 a 768 Kbps (si se instala la PCS-B768 para la conexión a una RDSI)
Códigos	H.261/H.263/H.263+/H.263++/ H.264 (Recomendación ITU-T)
Elementos de imagen	CIF: 352 píxeles × 288 líneas QCIF: 176 píxeles × 144 líneas
Sistema de color	NTSC (PCS-P11) PAL (PCS-P11P) Capacidad de conexión entre ambos sistemas de color

Imagen fija

Píxeles	704 píxeles × 480 líneas (PCS-P11) 704 píxeles × 576 líneas (PCS-P11P)
Codificación	H.261 (Recomendación ITU-T) Anexo. D (4CIF) H.263 (formato especial de este sistema)

Sonido

Ancho de banda	7 kHz (G.722 cumple la Recomendación ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728 cumple la Recomendación ITU-T)
Velocidad de transmisión	56 Kbps, 64 Kbps (G.711 que cumple las recomendaciones de la ITU-T) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 que cumple las recomendaciones de la ITU-T) 16 Kbps (G.728 que cumple las recomendaciones de la ITU-T)

Red

Multiplexión	Vídeo, audio, datos
Formato de fotograma	H.221 (que cumple las recomendaciones de la ITU-T)
Interfaz	LAN (estándar), 64 Kbps a 1024 Kbps RDSI (BRI), hasta 3 líneas (si se instala la unidad PCS-B384), hasta 6 líneas (si se instala la unidad PCS-B768)
Velocidad de transmisión de datos	LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
Protocolo LAN admitido	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP

Mando a distancia

Control de cámara remota	H.281 (que cumple las recomendaciones de la ITU-T)
Transferencia de datos	T.120 (que cumple las recomendaciones de la ITU-T)

Generales

Alimentación eléctrica	19,5 V
Consumo de energía	3,0 A
Temperatura de funcionamiento	5°C a 35°C (41°F a 94°F)
Humedad de funcionamiento	20% a 80%
Temperatura de almacenamiento	-20°C a +60°C (-4°F a +140°F)
Humedad de almacenamiento	20% a 80% (sin condensación)
Dimensiones	258 × 54 × 171 mm (an/al/prf) (10 1/4 × 2 1/4 × 6 3/4 pulgadas) (sin tener en cuenta las partes que sobresalen)
Peso	Aprox. 1,3 kg (2 lb 14 oz)
Accesorios suministrados	Mando a distancia PCS-R1 (1) Pilas tamaño AA (R6) para el mando a distancia (2) Repetidor de IR (2) Cable de cámara (0,25 m, 0,8 pies) (1)

Cable de conexión de S-Video
(1,5 m, 4,9 pies) (1)
Cable de conexión de audio
(1 m, 3,3 pies) (1)
Adaptador de CA PCS-AC195 (1)
Cable de alimentación (1)
Adaptador de 21 terminales (1)
(PCS-P11P solamente)
Velcro (3 para la cámara, 2 para el
terminal de comunicaciones)
CD-ROM (1)
Manual de instrucciones (1)
Folleto de garantía (1)

Cámara PCS-C11/C11P

Señal de vídeo
Color NTSC, estándares EIA
(PCS-C11)
Color PAL, estándares CCIR
(PCS-C11P)

Dispositivo de imagen
CCD (dispositivo acoplado de
carga) de tipo 1/4
Aproximadamente 410.000
píxeles (Efectivos:
aproximadamente 380.000
píxeles) (PCS-C11)
Aproximadamente 470.000
píxeles (Efectivos: aprox.
440.000 píxeles) (PCS-C11P)

Objetivo f = 3,1 a 31 mm, F 1,8 a 2,9,
Ángulo horizontal 6,6° a 65°

Distancia focal
100 (GRAN ANGULAR) a 600
(TELEOBJETIVO) mm

Iluminación mínima
3,5 lux a F 1,8/50 IRE

Intervalo de iluminación
3,5 a 100.000 lux

Resolución horizontal
470 líneas de TV (PCS-C11)
450 líneas de TV (PCS-C11P)

Acción de panorámica/inclinación
Horizontal $\pm 100^\circ$
Vertical $\pm 25^\circ$

Dimensiones 147 x 130 x 138 mm (an/al/prof)
(5 7/8 x 5 1/8 x 5 1/2 pulgadas) (sin
tener en cuenta las partes que
sobresalen)

Peso Aprox. 1,1 kg (2 lb 7 oz)

Micrófono

Intervalo de frecuencia
18 kHz

Característica direccional
Direccional con ángulo cerrado

Mando a distancia PCS-R1

Formato de señal
SIRCS por infrarrojos

Control CC de 3 V mediante dos pilas AA
(R6)

Dimensiones 50 x 24 x 197 mm (an/al/prof)
(2 x 31/32 x 7 7/8 pulgadas) (sin
tener en cuenta las partes que
sobresalen)

Peso Aprox. 140 g (4 oz) (incluyendo
las pilas)

Adaptador de CA PCS-AC195

Alimentación eléctrica
100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 1,3 a
0,6 A

Salida 19,5 V, 4,1 A

Temperatura de funcionamiento
5°C a 35°C (41°F a 94°F)

Humedad de funcionamiento
20% a 80%

Temperatura de almacenamiento
-20°C a +60°C (-4°F a +140°F)

Humedad de almacenamiento
20% a 80% (sin condensación)

Dimensiones 63 x 31 x 140 mm (an/al/prof)
(2 1/2 x 1 1/4 x 5 5/8 pulgadas)

Peso Aprox. 410 g (14 oz)

Micrófono PCS-A1 (opcional)

Ancho de banda
13 kHz

Característica direccional
Omnidireccional

Dimensiones 74 x 16 x 93 mm (an/al/prf)
(3 x 21/32 x 3 3/4 pulgadas)

Peso Aprox. 170 g (6 oz)

Alimentación Por enchufe

Micrófono PCS-A300 (opcional)

Ancho de banda
13 kHz

Característica direccional
Unidireccional

Dimensiones 68 x 16 x 96 mm (an/al/prof)
(2 3/4 x 21/32 x 3 7/8 pulgadas)

Peso Aprox. 200 g (7 oz)

Alimentación Por enchufe

Unidad RDSI PCS-B384 (opcional)

Alimentación eléctrica	19,5 V
Consumo de energía	0,3 A
Temperatura de funcionamiento	5°C a 35°C (41°F a 94°F)
Humedad de funcionamiento	20% a 80%
Temperatura de almacenamiento	-20°C a +60°C (-4°F a +140°F)
Humedad de almacenamiento	20% a 80% (sin condensación)
Dimensiones	165 × 34 × 127 mm (an/al/prof) (6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas) (sin tener en cuenta las partes que sobresalen)
Peso	Aprox. 400 g (14 oz)
Accesorios suministrados	Cable de interfaz (5 m, 16,4 pies) (1) Manual de instrucciones (1) Folleto de garantía (1)

Unidad RDSI PCS-B768 (opcional)

Alimentación eléctrica	19,5 V
Consumo de energía	0,5 A
Temperatura de funcionamiento	5°C a 35°C (41°F a 94°F)
Humedad de funcionamiento	20% a 80%
Temperatura de almacenamiento	-20°C a +60°C (-4°F a +140°F)
Humedad de almacenamiento	20% a 80% (sin condensación)
Dimensiones	165 × 34 × 127 mm (an/al/prof) (6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas) (sin tener en cuenta las partes que sobresalen)
Peso	Aprox. 400 g (14 oz)
Accesorios suministrados	Cable de interfaz (5 m, 16,4 pies) (1) Manual de instrucciones (1) Folleto de garantía (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

ATTENZIONE

Per evitare il pericolo di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità e non aprirlo.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'apparecchio. Per eventuali riparazioni, rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

Questo apparecchio non è dotato di un interruttore di alimentazione.

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare il cavo di alimentazione alla presa di corrente, che dovrà trovarsi nei pressi dell'apparecchio e facilmente accessibile.

Qualora si verifici un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scolleghi il cavo di alimentazione.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

Nel presente manuale, vengono descritte principalmente le modalità di utilizzo delle linee ISDN per la conduzione di videoconferenze, sebbene sia inoltre trattato l'uso di linee non ISDN. Per ulteriori informazioni sull'uso delle linee ISDN, consultare il proprio rivenditore Sony.

- Il servizio ISDN potrebbe non essere disponibile in alcune zone.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.

De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Per le modalità di smaltimento dell'apparecchio, consultare il centro di assistenza Sony più vicino. La batteria incorporata deve venire smaltita come rifiuto chimico.

Utilizzo del sistema per la prima volta

La presente guida illustra brevemente le operazioni di base per poter effettuare una videoconferenza punto a punto, utilizzando il sistema di comunicazione video PCS-11/11P. Le istruzioni vi permetteranno di apprendere come condurre conferenze quotidiane dall'inizio alla fine. Per maggiori informazioni sulle operazioni e sulle varie impostazioni richieste per effettuare la conferenza, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso contenute sul CD-ROM in dotazione.

Istruzioni per l'uso

Le Istruzioni per l'uso del sistema sono contenute sul CD-ROM in dotazione e sono presentate in formato PDF. Per leggerle si richiede l'uso del programma Adobe® Acrobat® Reader. Se il programma Adobe Acrobat Reader non è installato sul computer, è possibile scaricare l'ultima versione dai seguenti siti web.

Come leggere le Istruzioni per l'uso

- 1** Inserire il CD-ROM in dotazione intitolato "Manuals for Video Communication System" nell'unità CD-ROM del computer.
Dopo un breve periodo di tempo si apre una finestra che visualizza i file contenuti sul CD-ROM.
- 2** Fare doppio clic sul file PDF intitolato "Italian".
Si avvia il programma Adobe Acrobat Reader, quindi compare la pagina iniziale delle Istruzioni per l'uso.

* Adobe e Acrobat sono marchi di fabbrica di Adobe Systems, Incorporated.

** Windows e Windows NT sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation U.S. negli Stati Uniti e in altri paesi.

Fare clic su una voce dell'Indice per arrivare direttamente a quella pagina.

Installazione di Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

Per installare il programma Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) sul computer, è necessario disporre di hardware e software conformi alle seguenti specifiche:

- Computer con processore Intel® Pentium® o processore compatibile al 100%
- Microsoft® Windows® 98 SE, Windows Millennium, Windows NT® 4.0 Service Pack 5, o Windows 2000 e superiore
- 64 MB o superiore di RAM
- 70 MB o superiore di capacità disponibile

È possibile scaricare gratuitamente l'ultima versione di Adobe Acrobat Reader dai seguenti siti web.

Versione nordamericana:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

Versione europea:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/accrcenteuro.html>

Versione giapponese:

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

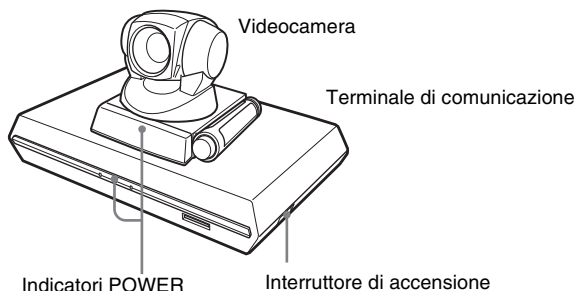
Sommario

Attivazione del sistema	5
Chiamata di un sito remoto	6
Regolazione dell'immagine e dell'audio	9
Regolazione dell'angolazione della videocamera e dello zoom .	9
Regolazione del volume	10
Termine della conferenza	11
Scollegamento della linea	11
Impostazione della modalità standby del sistema	11
Visualizzazione della Guida	13
Connessioni del sistema	14
Configurazione del sistema tramite LAN	14
Connessione del sistema tramite ISDN	15
Caratteristiche tecniche	16

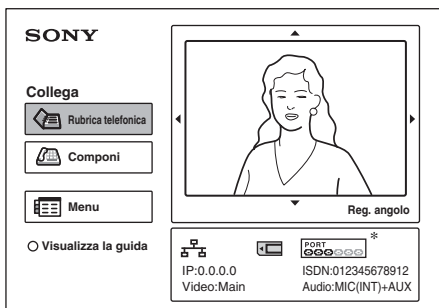
Nel CD-ROM in dotazione sono contenute le Istruzioni per l'uso con informazioni più dettagliate sul sistema. Si prega di leggere sia le Istruzioni per l'uso che la Guida per l'uso.

Attivazione del sistema

- 1 Accendere il monitor TV.
- 2 Inserire l'alimentazione di qualsiasi altro apparecchio necessario per la videoconferenza.
- 3 Impostare l'interruttore di accensione situato sul lato destro del terminale di comunicazione sulla posizione di inserimento (I).





Il terminale di comunicazione si accende dopo un breve periodo di tempo. Si accendono tre indicatori sul lato anteriore del terminale di comunicazione e l'indicatore POWER sulla videocamera, successivamente rimangono illuminati di verde solo gli indicatori POWER su entrambe le unità. Sullo schermo del monitor compare il menu di avvio e l'immagine scattata dalla videocamera locale.

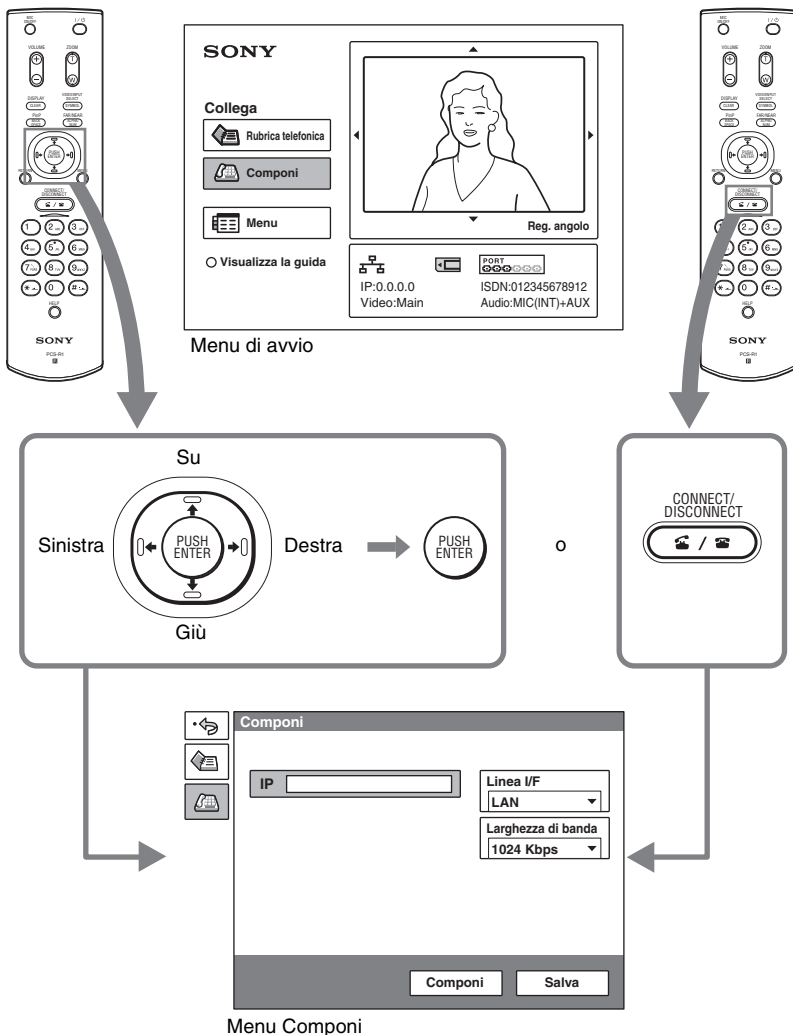


* L'illustrazione del menu di avvio nella presente guida mostra un esempio dell'utilizzo dell'unità ISDN PCS-B768. L'indicatore della porta ISDN differisce da quello mostrato nell'esempio riferito all'utilizzo dell'unità ISDN PCS-B384.

Chiamata di un sito remoto

La presente guida illustra le modalità di chiamata di un sito remoto non registrato nella rubrica.

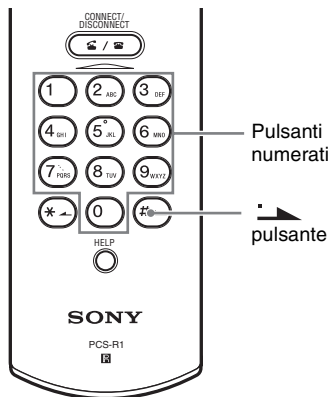
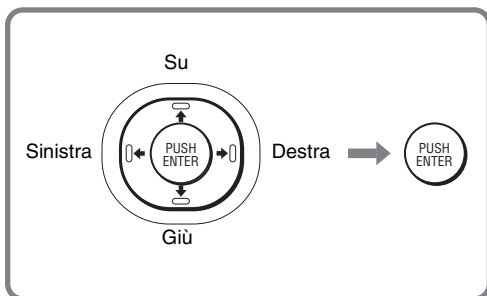
- 1 Premere il pulsante **↑, ↓, ←, →** sul telecomando e selezionare “Componi” dal menu di avvio, quindi premere il pulsante **PUSH ENTER** oppure premere il pulsante **CONNECT/DISCONNECT** ( / ). Compare il menu Componi sullo schermo del monitor.
Compare il menu Componi sullo schermo del monitor.



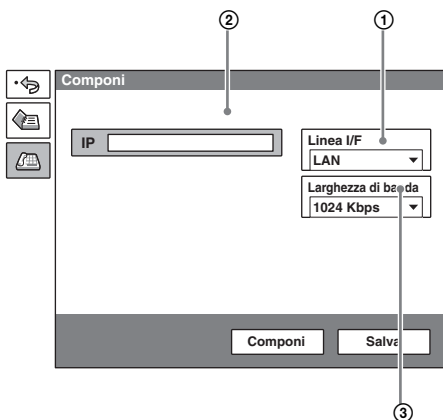
2 Impostare le voci del menu Componi.

Utilizzare il pulsante **↑**, **↓**, **←** o **→** per selezionare la voce da impostare, quindi premere il pulsante **PUSH ENTER**.

Si possono utilizzare i pulsanti numerati e il pulsante ***** (punto) per inserire i numeri.

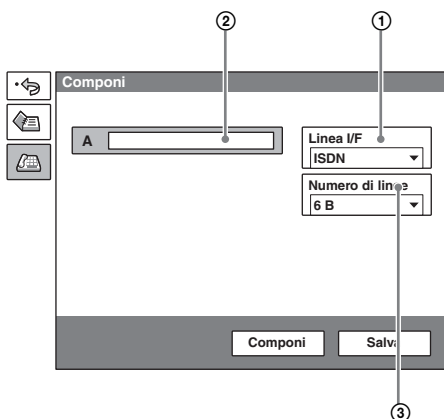


Collegamento di un sito distante tramite LAN



- 1 Selezionare “Linea I/F”, quindi selezionare “LAN” dal sottomenu visualizzato.
- 2 Selezionare la casella di testo IP, quindi inserire l’indirizzo IP del sito remoto utilizzando i pulsanti numerici e il pulsante ***** (punto) sul telecomando.
- 3 Selezionare “Larghezza di banda”, quindi selezionare la larghezza di banda da utilizzare.

Collegamento di un sito remoto tramite ISDN



- ① Selezionare “Linea I/F”, quindi selezionare “ISDN” dal sottomenu visualizzato.
- ② Selezionare la casella di testo del numero di telefono, quindi digitare il numero di telefono del sito remoto con i pulsanti numerici del telecomando.
- ③ Selezionare “Numero di linee”, quindi selezionare i numeri dei canali da utilizzare quando si effettua la chiamata al sito remoto.

- 3** Utilizzare il pulsante \uparrow , \downarrow , \leftarrow o \rightarrow per selezionare “Componi” nella parte inferiore del menu Componi, quindi premere il pulsante PUSH ENTER oppure premere il pulsante CONNECT/DISCONNECT (☎ / ☎). Quando il sistema si collega al sito remoto, viene visualizzato il messaggio “La riunione ha inizio!” e sullo schermo compare quanto segue.



Regolazione dell'immagine e dell'audio

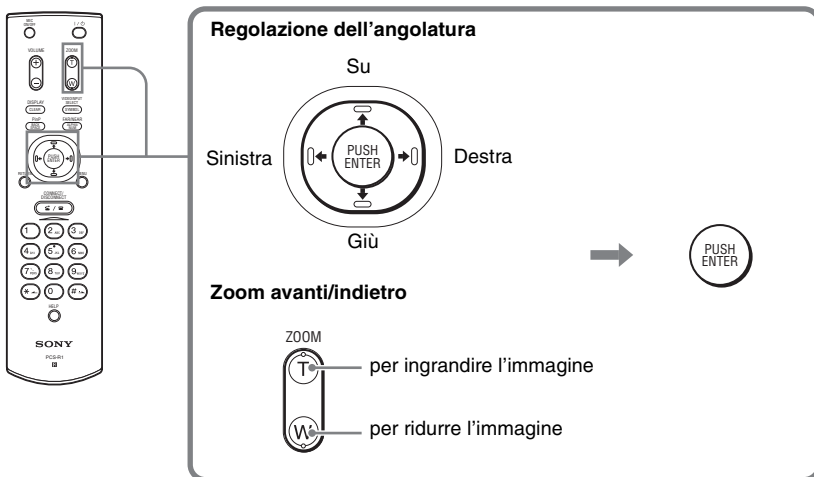
Regolazione dell'angolatura della videocamera e dello zoom

Per regolare quando non si è in comunicazione

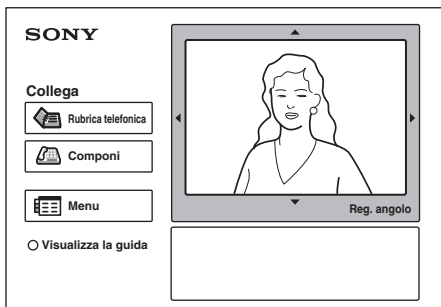
Utilizzare il pulsante **↑, ↓, ←, →** sul telecomando per selezionare l'immagine dal menu di avvio, quindi premere il pulsante **PUSH ENTER**.

Premere il pulsante **↑, ↓, ←, →** per regolare l'angolatura della videocamera e il pulsante **ZOOM T/W** per lo zoom avanti o indietro.

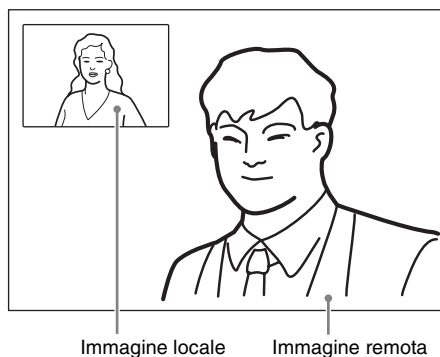
Al termine della regolazione, premere il pulsante **PUSH ENTER**.



Non in comunicazione



In comunicazione



Per regolare quando si è in comunicazione

È possibile regolare l'inquadratura dell'immagine e lo zoom sul sito locale utilizzando i pulsanti $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ e ZOOM T/W sul telecomando.

Fare riferimento alle Istruzioni per l'uso per maggiori informazioni sulla regolazione dell'inquadratura dell'immagine e dello zoom della videocamera sul sito remoto.

Regolazione del volume

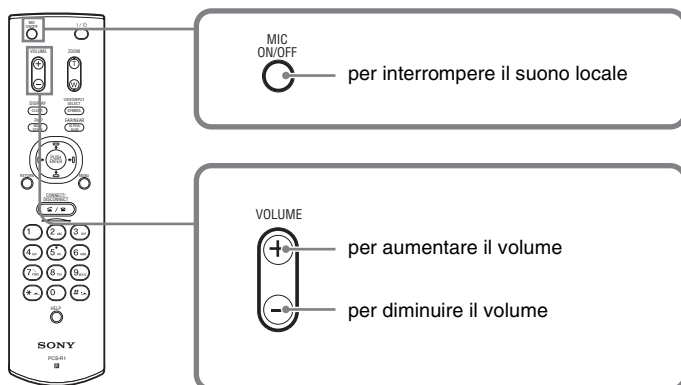
Per regolare il volume dell'audio ricevuto dal sito remoto

Premere il pulsante VOLUME +/- sul telecomando.

Per interrompere l'audio inviato dal sito locale al sito remoto



Premere il pulsante MIC ON/OFF sul telecomando.

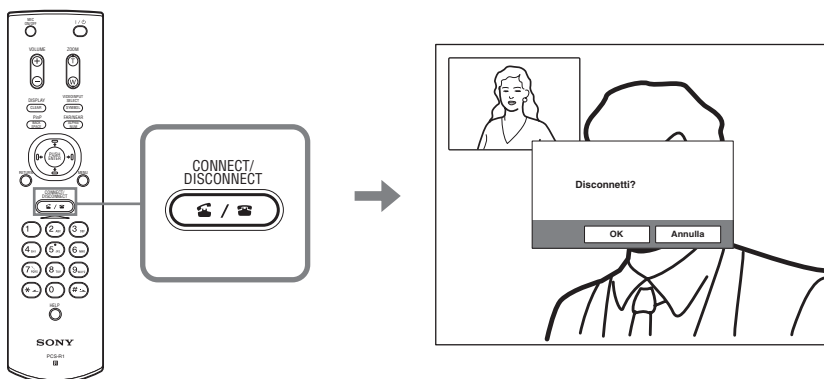
Compare l'indicatore "MIC OFF" sullo schermo del monitor. Per ripristinare l'audio, premere nuovamente il pulsante MIC ON/OFF.







Termine della conferenza


Scollamento della linea

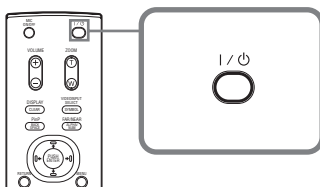
- 1 Premere il pulsante CONNECT/DISCONNECT ( / ) sul telecomando.
Compare il messaggio “Disconnetti?” sullo schermo del monitor.






- 2 Premere il pulsante  o  sul telecomando per selezionare “OK”, quindi premere il pulsante PUSH ENTER oppure premere il pulsante CONNECT/DISCONNECT ( / ).
La linea viene scollegata e ricompare il menu di avvio.

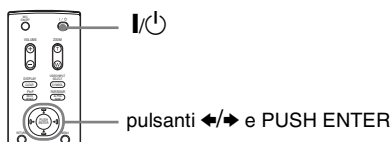
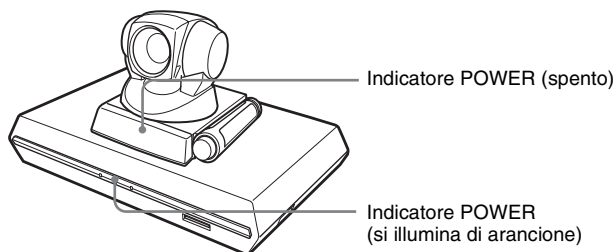
Impostazione della modalità standby del sistema

- 1 Premere il pulsante  sul telecomando.
Compare il messaggio “Spegner?” sullo schermo del monitor.



- 2 Premere il pulsante  o  sul telecomando per selezionare “OK”, quindi premere il pulsante PUSH ENTER oppure premere il pulsante .

Il sistema entra nella modalità di standby e l'indicatore POWER sul terminale di comunicazione si illumina di arancione.



Quando il sistema è in questa modalità, è possibile attivarlo mediante il pulsante I/⏻ sul telecomando.

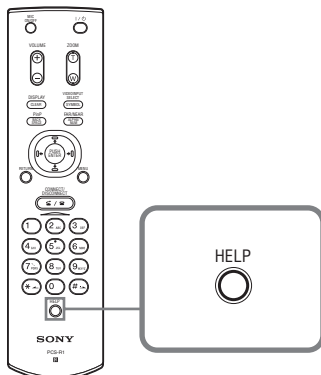
Se il sistema riceve una chiamata, la modalità standby viene automaticamente annullata e il sistema viene collegato.

Disinserimento dell'alimentazione

Impostare l'interruttore di accensione situato sul lato destro del terminale di comunicazione sulla posizione di disinserimento (○), quindi spegnere eventuali apparecchi utilizzati per la videoconferenza.

Visualizzazione della Guida

Premendo il pulsante HELP sul telecomando viene visualizzata una nuvoletta con il testo di guida oppure una schermata di guida per gran parte delle operazioni sullo schermo del monitor.



Per nascondere la guida, premere nuovamente il pulsante HELP.

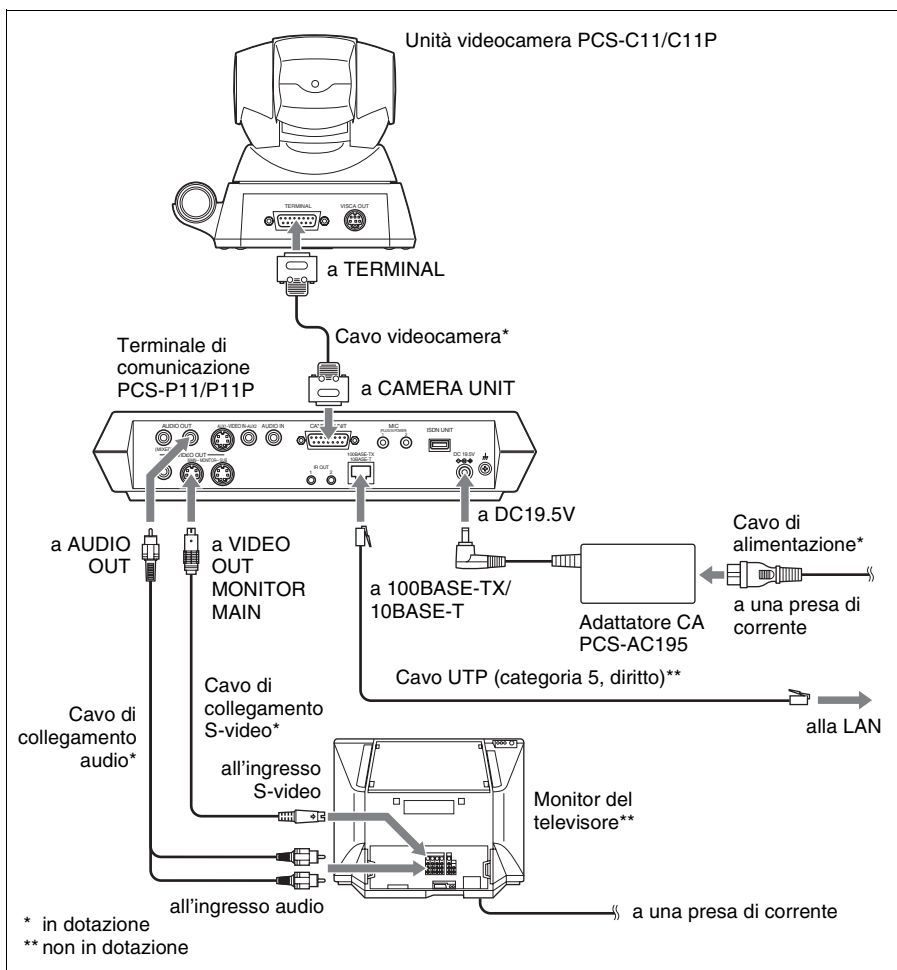
Connessioni del sistema

La presente sezione descrive le connessioni tipiche del sistema.

Note

- Accertarsi di disinserire tutte le apparecchiature prima di effettuare eventuali connessioni.
- Non collegare/scollegare il cavo della videocamera con l'alimentazione inserita. L'inosservanza di queste istruzioni potrebbe danneggiare l'unità videocamera o il terminale di comunicazione.
- Ai fini della sicurezza, non collegare il connettore 100BASE-TX/10BASE-T ad una rete che applica tensione eccessiva tramite il connettore 100BASE-TX/10BASE-T.

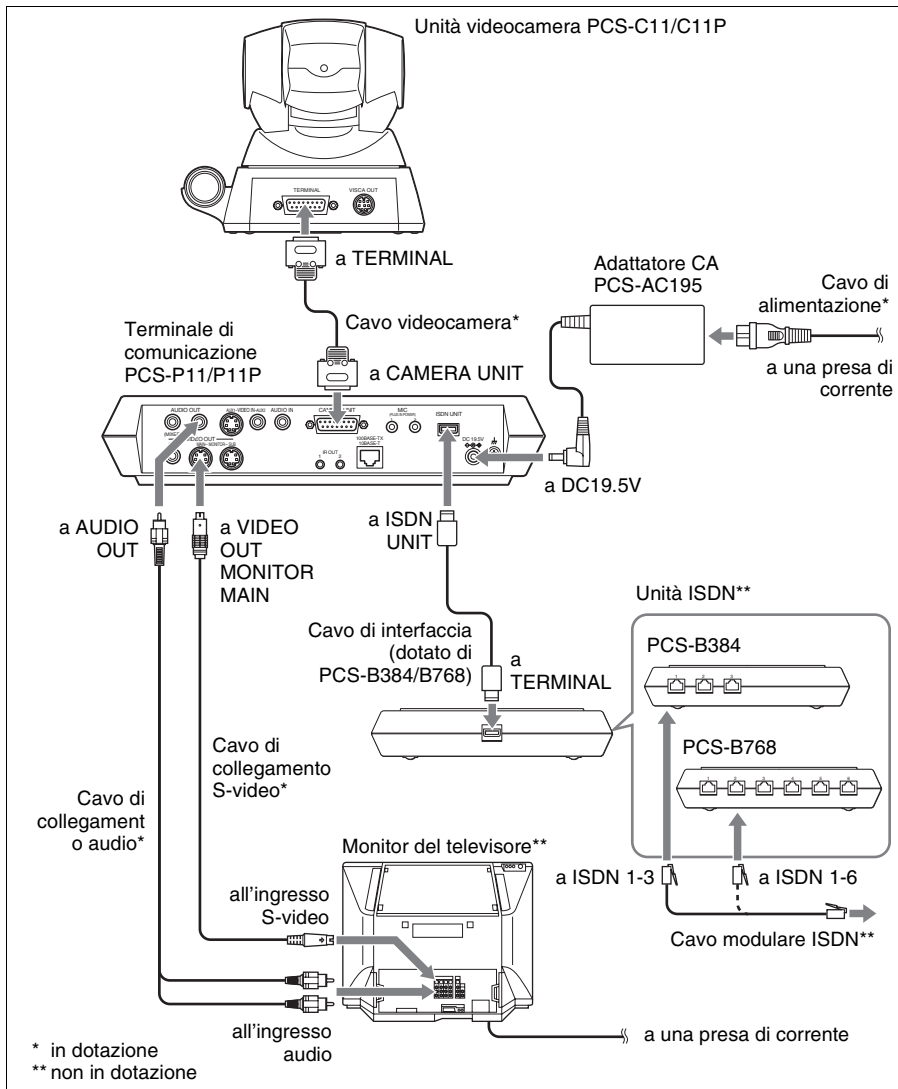
Configurazione del sistema tramite LAN



Connessione del sistema tramite ISDN

Note

- Non collegare/scollegare il cavo della videocamera o il cavo dell'interfaccia con l'alimentazione inserita. L'inosservanza di queste istruzioni potrebbe danneggiare l'unità videocamera, il terminale di comunicazione o l'unità ISDN.
- Quando viene utilizzato per la prima volta con l'unità ISDN, è possibile che il terminale di comunicazione aggiorni automaticamente il software dell'unità ISDN. Fare attenzione a non spegnere il terminale di comunicazione mentre il monitor visualizza il messaggio di aggiornamento. L'inosservanza di questa istruzione potrebbe causare il malfunzionamento del sistema.



Caratteristiche tecniche

Terminale di comunicazione PCS-P11/P11P

La presente unità è conforme alle raccomandazioni H.320 e H.323 ITU-T.

Immagine in movimento

Larghezza di banda di funzionamento	Da 64 Kbps a 1024 Kbps (standard, connessione LAN) Da 56 Kbps a 384 Kbps (quando si installa il PCS-B384, connessione ISDN) Da 56 Kbps a 768 Kbps (quando si installa il PCS-B768, connessione ISDN)
Codice	H.261/H.263/H.263+/H.263++/ H.264 (raccomandazione ITU-T)

Elementi immagine

CIF: 352 pixel × 288 linee
QCIF: 176 pixel × 144 linee

Sistema di colore

NTSC (PCS-P11)
PAL (PCS-P11P)
È possibile il collegamento tra i due sistemi di colore

Fermo immagine

Pixel	704 pixel × 480 linee (PCS-P11) 704 pixel × 576 linee (PCS-P11P)
Codifica	H.261 (Raccomandazione ITU-T) Annex. D (4CIF) H.263 (formato speciale di questo sistema)

Audio

Larghezza di banda	7 kHz (G.722 conforme alle raccomandazioni ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728 conforme alle raccomandazioni ITU-T)
Velocità di trasmissione	56 Kbps, 64 Kbps (G.711 conforme alle raccomandazioni ITU-T) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 conforme alle raccomandazioni ITU-T) 16 Kbps (G.728 conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Rete

Trasmissione in multiplex	Video, audio, dati
Formato fotogramma	H.221 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)
Interfaccia	LAN (standard), da 64 Kbps a 1024 Kbps ISDN (BRI), fino a 3 linee (se è stato installato PCS-B384), fino a 6 linee (se è stato installato PCS-B768)
Velocità di trasmissione dati	LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
Protocollo LAN supportato	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP

Controllo a distanza

Controllo videocamera remota	H.281 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)
Trasferimento dati	T.120 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Dati generali

Alimentazione	19,5 V
Consumo di corrente	3,0 A
Temperatura di utilizzo	Da 5°C a 35°C
Umidità di funzionamento	Da 20% a 80%
Temperatura di deposito	da -20°C a +60°C
Umidità di deposito	Da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni	258 × 54 × 171 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)
Peso	Circa 1,3 kg
Accessori in dotazione	Telecomando PCS-R1 (1) Pile formato AA (R6) per il telecomando (2) Ripetitore IR (2) Cavo videocamera (0,25 m) (1) Cavo di collegamento S-video (1,5 m) (1) Cavo di collegamento audio (1 m) (1)

Adattatore CA PCS-AC195 (1)
Cavo di alimentazione (1)
Adattatore a 21 pin (1) (solo PCS-P11P)
Velcro (3 per la videocamera, 2 per il terminale di comunicazione)
CD-ROM (1)
Istruzioni per l'uso (1)
Garanzia (1)

Unità videocamera PCS-C11/C11P

Segnale video

NTSC colore, standard EIA (PCS-C11)
PAL colore, standard CCIR (PCS-C11P)

Dispositivo immagine

CCD (Charge Coupled Device) da 1/4 di pollice
Ca. 410.000 pixel (Effettivi: ca. 380.000 pixel) (PCS-C11)
Ca. 470.000 pixel (Effettivi: ca. 440.000 pixel) (PCS-C11P)

Obiettivo f = da 3,1 a 31 mm, F da 1,8 a 2,9, angolatura orizzontale da 6,6° a 65°

Distanza focale

100 (WIDE) a 600 (TELE) mm

Illuminazione minima

3,5 lux a F 1,8/50 IRE

Gamma di illuminazione

Da 3,5 lux a 100.000 lux

Risoluzione orizzontale

470 linee TV (PCS-C11)
450 linee TV (PCS-C11P)

Azione panoramica/inclinazione

Orizzontale $\pm 100^\circ$
Verticale $\pm 25^\circ$

Dimensione 147 x 130 x 138 mm (l/a/p)

(escluse le parti sporgenti)

Peso

Circa 1,1 kg

Microfono

Campo di frequenza

18 kHz

Caratteristiche direzionali

Direzionale ad angolo diretto

Telecomando PCS-R1

Formato del segnale

SIRCS a infrarossi

Controllo 3V CC mediante due pile formato

AA (R6)

Dimensioni 50 x 24 x 197 mm (l/a/p)

(escluse le parti sporgenti)

Peso

Circa 140 g (pile comprese)

Adattatore CA PCS-AC195

Alimentazione

Da 100 a 240V CA, 50/60 Hz, da 1,3 A a 0,6 A

Uscita 19,5 V, 4,1 A

Temperatura di utilizzo

Da 5°C a 35°C

Umidità di funzionamento

Da 20% a 80%

Temperatura di deposito

da -20°C a +60°C

Umidità di deposito

Da 20% a 80% (senza condensa)

Dimensioni 63 x 31 x 140 mm (l/a/p)

Peso Circa 410 g

Microfono PCS-A1 (opzionale)

Larghezza di banda

13 kHz

Caratteristiche direzionali

Omnidirezionale

Dimensioni 74 x 16 x 93 mm (l/a/p)

Peso Circa 170 g

Alimentazione

Alimentazione mediante presa

Microfono PCS-A300 (opzionale)

Larghezza di banda

13 kHz

Caratteristiche direzionali

Unidirezionale

Dimensioni 68 x 16 x 96 mm (l/a/p)

Peso Circa 200 g

Alimentazione Alimentazione mediante presa

Unità ISDN PCS-B384 (opzionale)

Alimentazione

19,5 V

Consumo di corrente

0,3 A

Temperatura di utilizzo

Da 5°C a 35°C

Umidità di funzionamento

Da 20% a 80%

Temperatura di deposito

da -20°C a +60°C

Umidità di deposito

Da 20% a 80% (senza condensa)

Dimensioni 165 x 34 x 127 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)

Peso Circa 400 g

Accessori in dotazione

Cavo di interfaccia (5 m) (1)

Istruzioni per l'uso (1)

Garanzia (1)

Unità ISDN PCS-B768 (opzionale)

Alimentazione

19,5 V

Consumo di corrente

0,5 A

Temperatura di utilizzo

Da 5°C a 35°C

Umidità di funzionamento

Da 20% a 80%

Temperatura di deposito

da -20°C a +60°C

Umidità di deposito

Da 20% a 80% (senza condensa)

Dimensioni 165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (escluse
le parti sporgenti)

Peso Circa 400 g

Accessori in dotazione

Cavo di interfaccia (5 m) (1)

Istruzioni per l'uso (1)

Garanzia (1)

Design e caratteristiche tecniche sono soggetti a
modifiche senza preavviso.

警告

为避免火灾或电击危险，请勿将本机暴露于雨水或置于潮湿环境下。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

警告

此设备无电源开关。

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源线与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。

在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源线。

重要

设备铭牌位于底部。

本说明书主要说明使用 ISDN 线路实现视频会议的方法，但也包括对非 ISDN 线路的说明。如果您使用 ISDN 线路，请咨询 Sony 经销商，获取更多信息。

- 在某些地区，可能不提供 ISDN 服务。

如果您将本机弃置不用，请联系临近的 Sony 维修中心。其中内置的电池必须作为化学废弃物处理。

第一次使用此系统时

此指南简要介绍了使用 PCS-11P 会议电视终端召开点到点电视会议的基本操作方法。您将了解如何召开日常电视会议的整个操作过程。有关召开会议所需的详细操作及各种设置，请参见附带 CD-ROM 中的操作说明。

关于操作说明

此系统的操作说明保存在附带的 CD-ROM 中，文件格式为 PDF。您需要下载 Adobe[®] Acrobat^{®*} Reader 来阅读此文档。如果您的计算机中没有安装 Adobe Acrobat Reader，您可以从后面列出的网站中下载。

如何阅读操作说明

- 1 将标有“Manuals for Video Communication System”的 CD-ROM 插入计算机的 CD-ROM 驱动器中。
经过很短一段时间后，屏幕中会打开一个窗口，窗口中显示了 CD-ROM 中所包含的文件。
- 2 双击文件名为“Chinese”的 PDF 文件。
此时将启动 Adobe Acrobat Reader，然后显示操作说明的封面页。

单击目录中的项目跳到相应的页面中。

安装 Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

要在您的系统中安装 Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)，您需要安装以下硬件和软件：

- 使用 Intel[®] Pentium[®] 或 100% 兼容处理器的电脑
- Microsoft[®] Windows^{®**} 98 SE、Windows Millennium、Windows NT^{®**} 4.0 Service Pack 5、Windows 2000 或更高版本的操作系统
- 64 MB 或更多的 RAM
- 70 MB 可用磁盘空间

您可以从以下网站免费获得最新版本的 Adobe Acrobat Reader。

北美版本：

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

欧洲版本：

<http://www.adobe.com/products/acrobat/accrcenteuro.html>

日文版本：

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

* Adobe 和 Acrobat 为 Adobe Systems, Incorporated 的商标。

** Windows 和 Windows NT 为美国和其它国家 Microsoft Corporation 的注册商标。

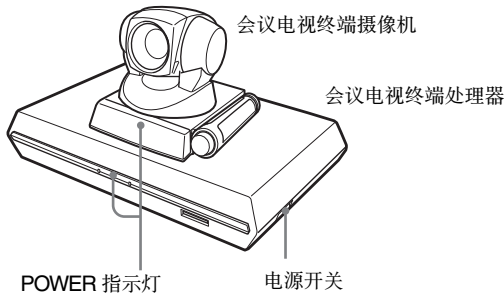
目录

打开系统	5
呼叫对方	6
调整图像和声音	9
调整会议电视终端摄像机 角度和缩放	9
调整音量	10
结束会议	11
断开线路	11
将系统设置为待机模式	11
显示帮助	13
系统连接	14
通过 LAN 的系统连接	14
通过 ISDN 的系统连接	15
规格说明	16

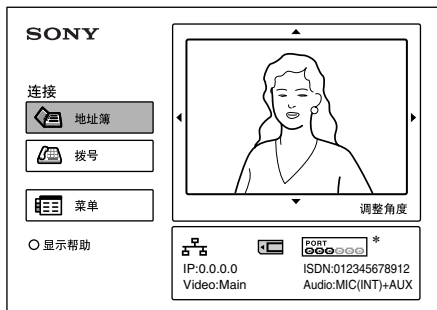
附带的 CD-ROM 中含有对此系统进行了详细介绍的操作说明。请仔细阅读操作说明和操作指南。

打开系统

- 1 打开电视监视器。
- 2 打开会议电视终端需要使用的其它设备电源。
- 3 将会议电视终端处理器右侧的电源开关打到 (I) 位置。



经过一段时间后会议电视终端处理器打开。会议电视终端处理器前面的 3 个指示灯和会议电视终端摄像机上的 POWER 指示灯变亮，随后只有两台设备上的 POWER 指示灯一直显示为绿色。此时监视器屏幕上会出现启动菜单，启动菜单中会显示本方会议电视终端摄像机拍摄的图像。



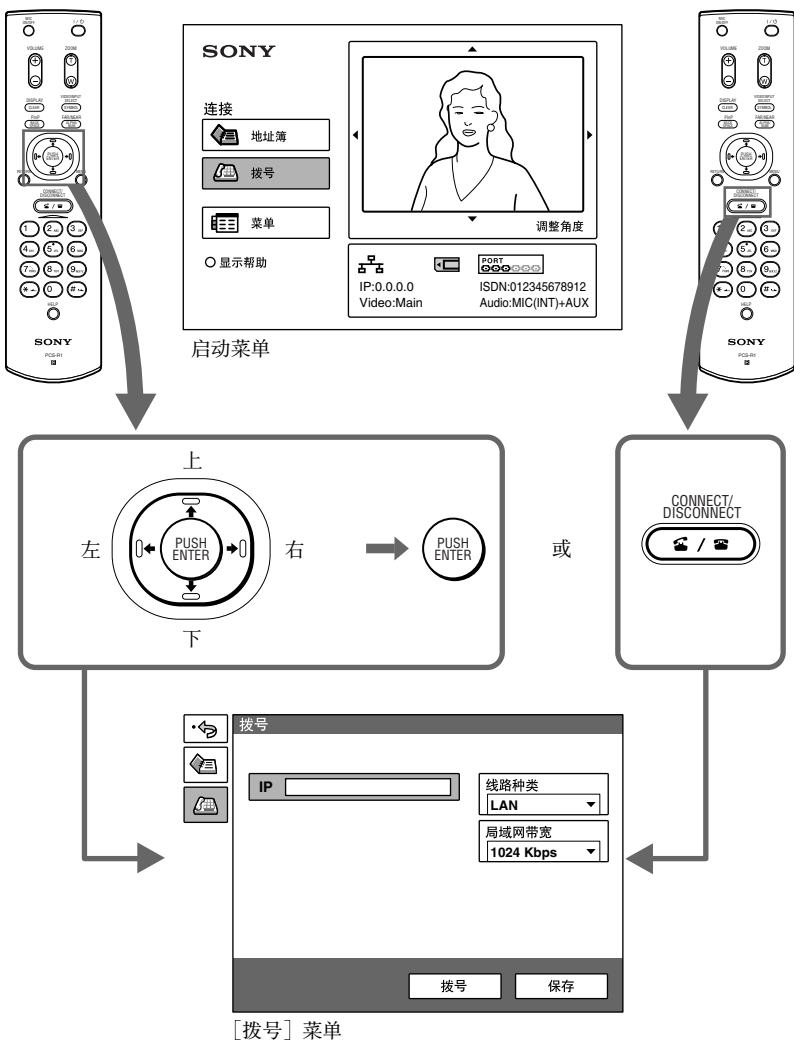
* 本指南中，启动菜单是以连接 PCS-B768 ISDN 模块时的状况为图示的。当连接 PCS-B384 ISDN 模块时，ISDN 接口的指示是不同的。

呼叫对方

这里向您介绍如何呼叫未注册到地址簿中的对方。

- 1 按遥控器上的 **↑**、**↓**、**←** 或 **→** 按钮选择启动菜单中的“拨号”，然后按 **PUSH ENTER** 按钮或按 **CONNECT/DISCONNECT** ( / ) 按钮。

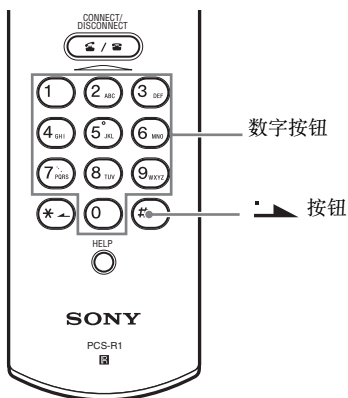
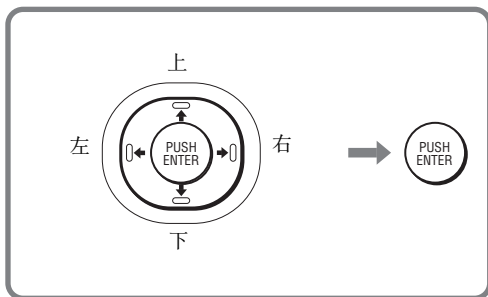
此时监视器屏幕上出现 [拨号] 菜单。



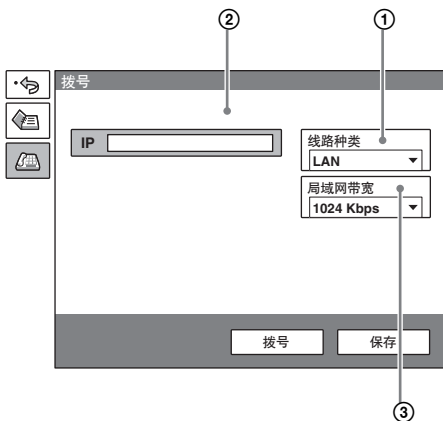
2 设置 [拨号] 菜单中的项目。

使用 **▲**、**▼**、**◀** 或 **▶** 按钮选择要设置的项目，然后按 **PUSH ENTER** 按钮。

您可以使用数字按钮和 **◻** (点) 按钮输入号码。

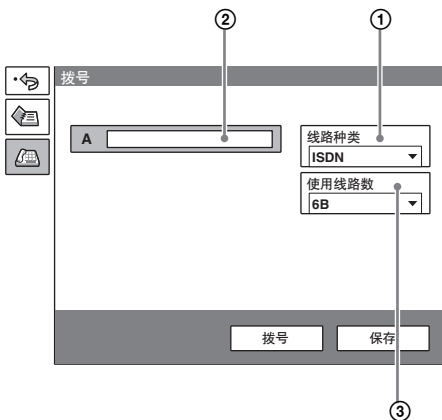


当您通过 LAN 连接对方时





- ① 选择“线路种类”，然后从显示的子菜单中选择“LAN”。
- ② 选择 IP 文本框，然后使用遥控器上的数字按钮和 **◻** (点) 按钮输入 IP 地址。
- ③ 选择“局域网带宽”，然后选择您使用的带宽。

当您通过 ISDN 连接对方时



- ① 选择“线路种类”，然后从显示的子菜单中选择“ISDN”。
- ② 选择电话号码文本框，然后使用遥控器上的数字按钮输入对方的电话号码。
- ③ 选择“使用线路数”，然后选择拨打对方时所使用的线路数量。

- 3** 使用 \uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 或 \rightarrow 按钮选择 [拨号] 菜单下方的“拨号”，然后按 PUSH ENTER 按钮，或者按 CONNECT/DISCONNECT ( / ) 按钮。

当系统连接对方时，屏幕上出现一条消息“开始会议！”，屏幕转到以下画面。



调整图像和声音

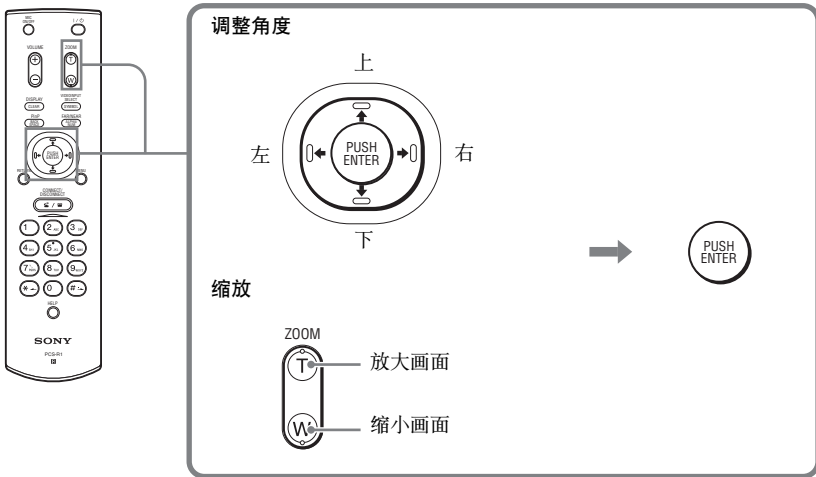
调整会议电视终端摄像机角度和缩放

在未进行通讯时调整

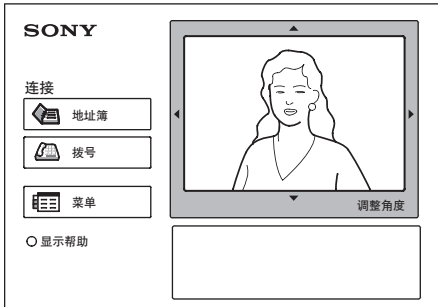
使用遥控器上的 \uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 或 \rightarrow 按钮选择启动菜单中的图像，然后按 PUSH ENTER 按钮。

按 \uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 或 \rightarrow 按钮调整会议电视终端摄像机角度，按 ZOOM T/W 按钮缩放图像。

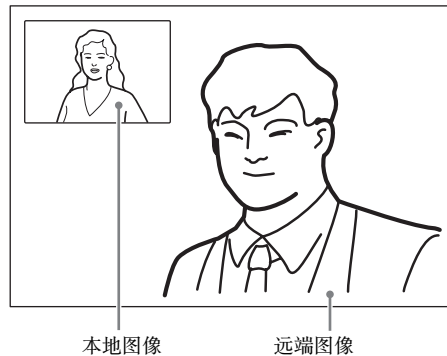
调整完成后按 PUSH ENTER 按钮。



未进行通讯时



通讯时



通讯时进行调整

您可以使用遥控器上的 $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ 和 ZOOM T/W 按钮在本地调整图像的角度和缩放。

参见操作说明获取调整图像角度和缩放的详情。

调整音量

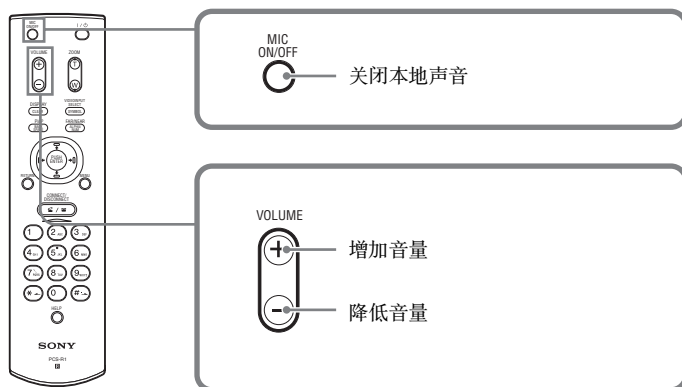
调整来自对方的声音音量

按遥控器上的 VOLUME +/- 按钮。

关闭来自对方的声音



按遥控器上的 MIC ON/OFF 按钮。

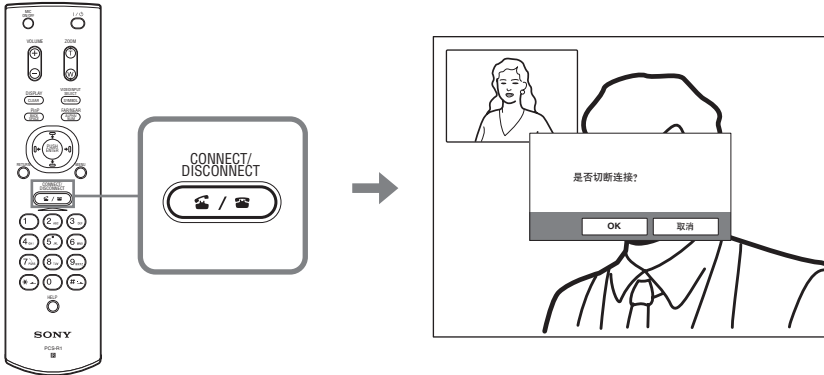
监视器屏幕上出现“MIC OFF”（关闭麦克风）指示器。要恢复声音，再次按 MIC ON/OFF 按钮。







结束会议


断开线路

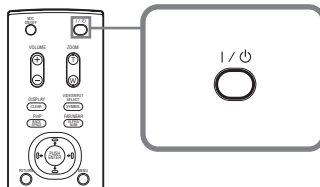
- 1 按遥控器上的 CONNECT/DISCONNECT ( / ) 按钮。
此时监视器屏幕上出现一条消息 “是否切断连接?”。






- 2 按遥控器上的  或  按钮选择 “OK”，然后按 PUSH ENTER 按钮，或者按 CONNECT/DISCONNECT ( / ) 按钮。
此时断开连接的线路，屏幕返回到启动菜单中。

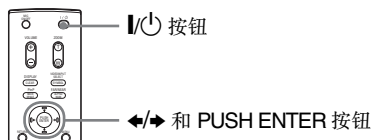
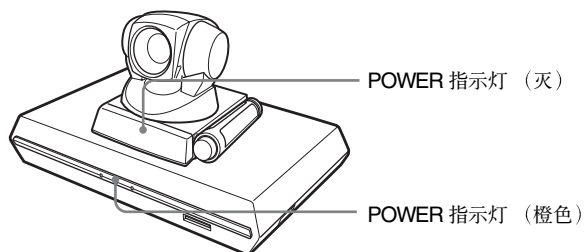
将系统设置为待机模式

- 1 按遥控器上的  按钮。
此时屏幕上出现一条消息 “是否关闭电源?”。



- 2 按遥控器上的  或  按钮选择 “OK”，然后按 PUSH ENTER 按钮，或者按  按钮。

系统进入待机状态，会议电视终端处理器上的 POWER 指示灯显示为橙色。



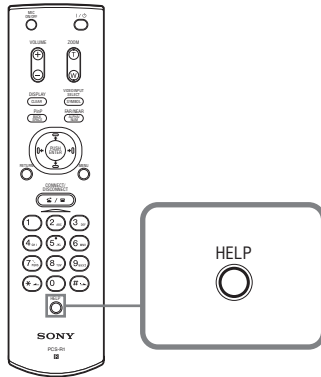
系统处于此状态下时，您可以使用遥控器上的 I/O 按钮将其关闭。如果系统接收到一个呼叫，则会自动取消待机模式并进入连接状态。

关闭电源

将会议电视终端处理器右侧的电源开关打到“关”的位置(O)，然后关闭电视会议所使用的其它设备。

显示帮助

按遥控器上的 HELP 按钮，屏幕上将显示旁述帮助或帮助画面，这些帮助可以指导您在监视器屏幕上进行大部分的操作。



要隐藏帮助指南，再次按 HELP 按钮。

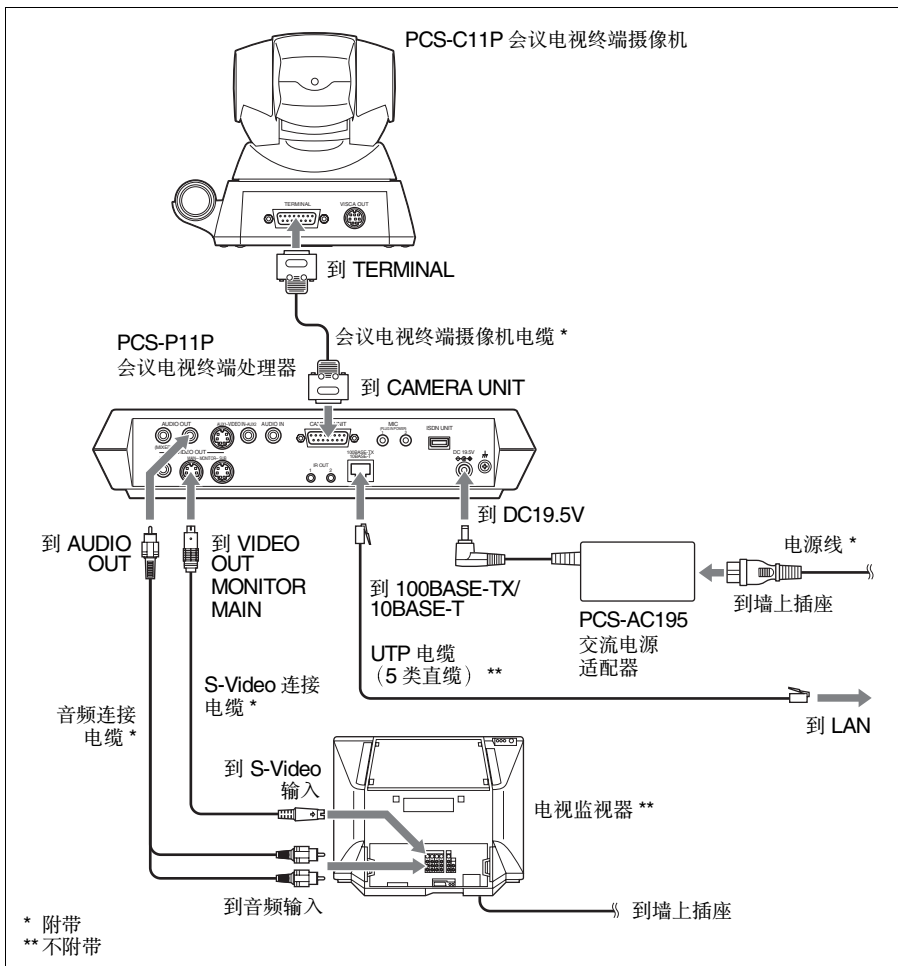
系统连接

本节内容介绍了典型的系统连接。

注意

- 在开始任何连接之前，请确保关闭了所有设备。
- 在电源打开时不要连接 / 拔下会议电视终端摄像机电缆。这样做会严重损坏会议电视终端摄像机或者会议电视终端处理器。
- 考虑到安全性，请不要将 100BASE-TX/10BASE-T 接口与电压超过额定值的网络连接。

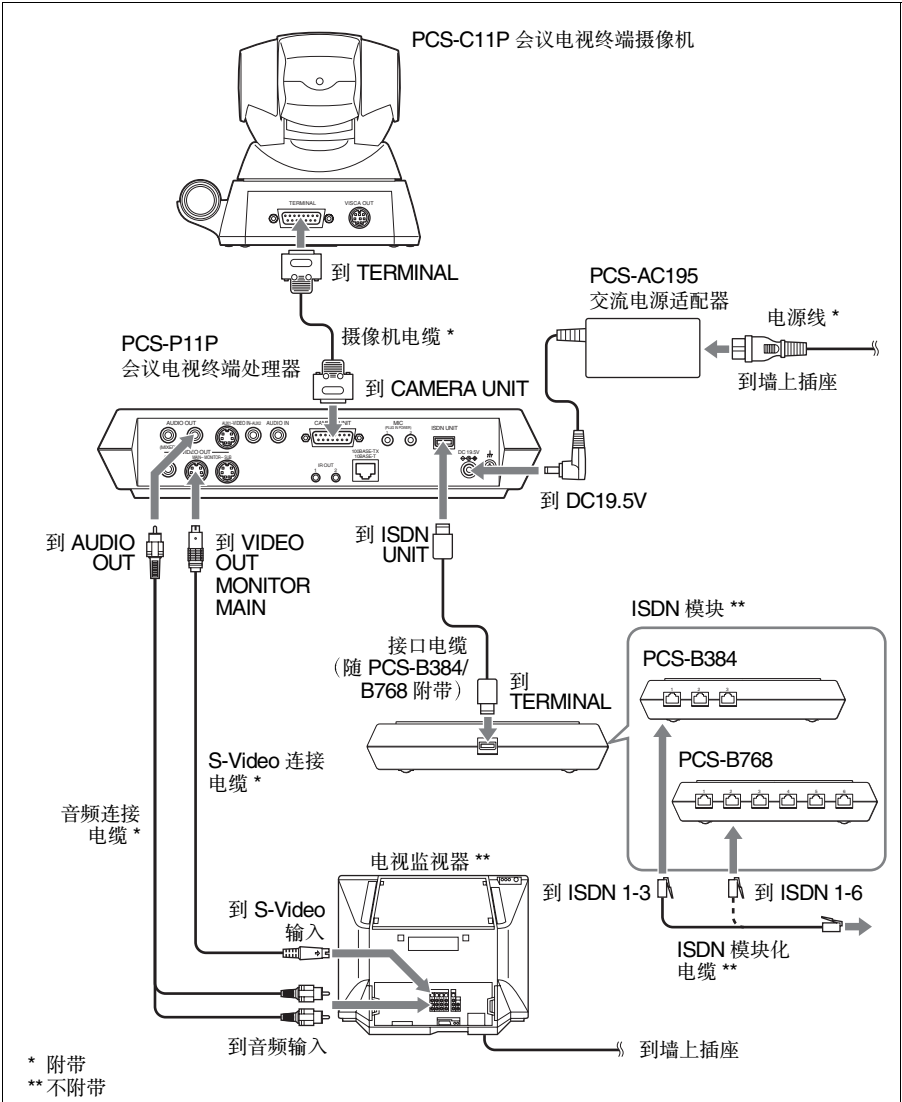
通过 LAN 的系统连接



通过 ISDN 的系统连接

注意

- 在电源打开时不要连接 / 拔下会议电视终端摄像机电缆或者连接电缆。这样做会严重损坏会议电视终端摄像机、会议电视终端处理器或者 ISDN 模块。
- 当您第一次连接并使用 ISDN 模块时，会议电视终端处理器可能会升级 ISDN 模块的软件。当监视器屏幕中显示升级信息时，请不要关闭会议电视终端处理器。否则会导致系统出现故障。



规格说明

PCS-P11P 会议电视终端处理器

此设备符合 ITU-T 的 H.320 和 H.323 建议。

活动图像

工作带宽	64 Kbps 到 1024 Kbps(标准速度, LAN 连接) 56 Kbps 到 384 Kbps (安装 PCS-B384 时, ISDN 连接) 56 Kbps 到 768 Kbps (安装 PCS-B768 时, ISDN 连接)
编码	H.261/H.263/H.263+/H.263++/ H.264 (ITU-T 建议)
像素	CIF: 352 像素 × 288 行 QCIF: 176 像素 × 144 行
彩色制式	PAL 可以连接两种彩色制式

静止图片

像素	704 像素 × 576 行
编码	H.261 (ITU-T 建议) Annex. DD (4CIF) H.263 (用于此系统的特殊格式)

声音

带宽	7 kHz (G.722, 符合 ITU-T 建议) 3.4 kHz (G.711/G.728, 符合 ITU-T 建议)
传输速率	56 Kbps, 64 Kbps (G.711, 符合 ITU-T 建议) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722, 符合 ITU-T 建议) 16 Kbps (G.728, 符合 ITU-T 建议)

网络

多路复用帧格式接口	视频、音频、数据 H.221 (符合 ITU-T 的建议) LAN (标准), 64 Kbps 到 1024 Kbps ISDN (BRI), 多达 3 条线路 (如果安装的是 PCS-B384), 多达 6 条线路 (如果安装的是 PCS-B768)
-----------	---

数据传输速率

LSD	1.2 Kbps, 4.8 Kbps, 6.4 Kbps
MLP	6.4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
HMLP	62.4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

支持 LAN 协议

HTTP
FTP
Telnet
RTP/RTCP
TCP/UDP

遥控

远程摄像机控制

H.281 (符合 ITU-T 建议)
T.120 (符合 ITU-T 建议)

数据传输

一般参数

电源要求	19.5 V
功耗	3.0 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% (无水汽冷凝)
尺寸	258 × 54 × 171 毫米 (宽 / 高 / 厚) (不含投影仪组件)
重量	大约 1.3 千克
随机附件	遥控器 PCS-R1 (1) 用于遥控器的 AA (R6) 电池 (2) 红外线转发器 (2) 摄像机电缆 (0.25 米) (1) S-Video 连接电缆 (1.5 米) (1) 音频连接电缆 (1 米) (1) 交流电源适配器 PCS-AC195 (1) 电源线 (1) 21 管脚转接器 (1) 维可牢尼龙搭扣 (3 个用于会议电视终端摄像机, 2 个用于会议电视终端处理器) CD-ROM (1) 操作说明书 (1) 质保书 (1)

PCS-C11P 会议电视终端摄像机

视频信号	PAL 制式, CCIR 标准
成像元件	1/4 型 CCD (电荷耦合设备) 约 47 万像素 (有效像素: 约 44 万像素)
镜头	f = 3.1 到 31 毫米, F 1.8 到 2.9, 水平角度 6.6° to 65°
拍摄距离	100 (广角) 到 600 (远距) 毫米
最小照度	F 1.8/50 IRE 条件下 3.5 lux
照明范围	3.5 lux 到 10 万 lux
水平分辨率	450 TV 线
全景 / 倾斜	水平 ±100° 垂直 ± 25°
尺寸	147 × 130 × 138 毫米 (宽 / 高 / 厚) (不含投影仪组件)
重量	大约 1.1 千克

麦克风

频率范围	18 kHz
方向特性	小角度定向

PCS-R1 遥控器

信号格式	红外 SIRCS
控制	DC 3V 2 节 AA (R6) 电池
尺寸	50 × 24 × 197 毫米 (宽 / 高 / 厚) (不含投影仪组件)
重量	大约 140 克 (含电池)

PCS-AC195 交流电源适配器

电源要求	100 到 240V AC, 50/60 Hz, 1.3 A 到 0.6 A
输出	19.5 V, 4.1A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% (无水汽冷凝)
尺寸	63 × 31 × 140 毫米 (宽 / 高 / 厚)
重量	大约 410 克

PCS-A1 外置麦克风 (可选)

带宽	13 kHz
方向特性	全向
尺寸	74 × 16 × 93 毫米 (宽 / 高 / 厚)
重量	大约 170 克
电源	插入式电源

PCS-A300 麦克风 (可选)

带宽	13 kHz
方向特性	单向
尺寸	68 × 16 × 96 毫米 (宽 / 高 / 厚)
重量	大约 200 克
电源	插入式电源

PCS-B384 ISDN 模块 (可选)

电源要求	19.5 V
功耗	0.3 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% (无水汽冷凝)
尺寸	165 × 34 × 127 毫米 (宽 / 高 / 厚) (不含投影仪组件)
重量	大约 400 克
随机附件	接口电缆 (5 米) (1) 操作说明 (1) 质保书 (1)

PCS-B768 ISDN 模块 (可选)

电源要求	19.5 V
功耗	0.5 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	-20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% (无水汽冷凝)
尺寸	165 × 34 × 127 毫米 (宽 / 高 / 厚) (不含投影仪组件)
重量	大约 400 克
随机附件	接口电缆 (5 米) (1) 操作说明 (1) 质保书 (1)

设计和规格如有更改, 恕不另行通知。

ADVERTÊNCIA

Para evitar riscos de incêndio ou choque elétrico, não exponha o aparelho à umidade ou à chuva.

Para evitar choque elétrico, não abra o gabinete. Sempre que necessário, procure o Serviço Autorizado Sony.

ADVERTÊNCIA

Este aparelho não possui interruptor de alimentação.

Ao instalar o aparelho, inclua um dispositivo de desconexão de fácil acesso na fiação fixa ou conecte o cabo de alimentação a uma tomada que deve estar próxima ao aparelho e ser de fácil acesso.

Se ocorrer uma falha durante a operação do aparelho, utilize o dispositivo de desconexão para desligar a fonte de alimentação ou desconecte o cabo de alimentação.

IMPORTANTE

A plaqueta de identificação está localizada na parte inferior.

Este manual concentra-se no uso de linhas ISDN para a realização da videoconferência mas também aborda linhas que não sejam ISDN. Se você usa linhas ISDN, consulte seu revendedor Sony para obter mais informações.

- O serviço ISDN pode não estar disponível em algumas áreas.

Usando o sistema pela primeira vez

Este guia descreve brevemente as operações básicas para uma videoconferência ponto a ponto usando o Sistema de comunicação por Vídeo PCS-11/11P. Você aprenderá a conduzir uma conferência diária do início ao fim. Para obter informações sobre operações mais detalhadas e as várias configurações necessárias para a conferência, consulte as Instruções de Operação armazenadas no CD-ROM fornecido.

Sobre as Instruções de Operação

As Instruções de Operação do sistema estão armazenadas no CD-ROM fornecido no formato PDF. Você será solicitado a usar o Adobe® Acrobat®* Reader para ler o arquivo. Caso o Adobe Acrobat Reader não esteja instalado no seu computador, faça o download da versão mais recente nos sites da Web descritos abaixo.

Como ler as Instruções de Operação

- 1 Insira o CD-ROM intitulado “Manuals for Video Communication System” na unidade de CD-ROM do computador.
Após alguns instantes, uma janela será aberta exibindo os arquivos no CD-ROM.
- 2 Clique duas vezes no arquivo PDF chamado “Portuguese”.
O Adobe Acrobat Reader será iniciado e, em seguida, exibirá a página inicial das Instruções de Operação.

* Adobe e Acrobat são marcas comerciais da Adobe Systems, Incorporated.

** Windows e Windows NT são marcas comerciais registradas da U.S. Microsoft Corporation nos E.U.A. e em outros países.

Clicar em um item no Índice analítico permite saltar para a página relevante.

Para instalar o Adobe Acrobat Reader 5.0 (E)

Para instalar o Adobe Acrobat Reader 5.0 (E) no computador, os hardwares e softwares a seguir são necessários:

- Um computador com Intel® Pentium® ou processador 100% compatível
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5 ou Windows 2000 e superior
- 64 MB ou mais de RAM
- 70 MB ou mais de espaço livre em disco

Você pode obter a versão mais recente do Adobe Acrobat Reader, gratuitamente, nos sites da Web a seguir.

Versão norte-americana:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html>

Versão européia:

<http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html>

Versão japonesa:

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

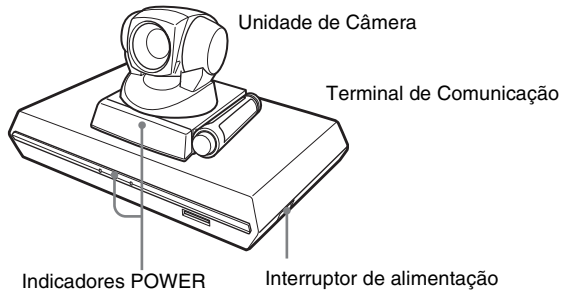
Índice

Ligando o sistema	5
Chamando um local remoto	6
Ajustando a imagem e o som	9
Ajustando o zoom e o ângulo da câmera	9
Ajustando o volume	10
Encerrando a conferência	11
Desconectando a linha	11
Configurando o sistema para o modo de espera	11
Exibindo a Ajuda	13
Conexões do sistema	14
Conexão do sistema via LAN	14
Conexão do sistema via ISDN	15
Características técnicas	16

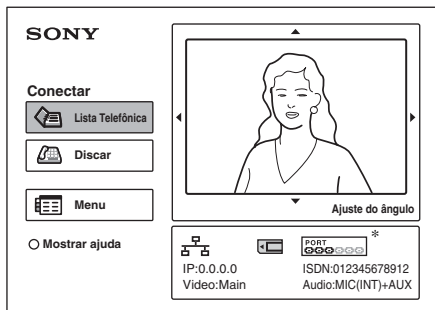
O CD-ROM fornecido inclui as Instruções de Operação que descrevem informações mais detalhadas sobre esse sistema. Favor ler as Instruções de Operação assim como o Guia de Operação.

Ligando o sistema

- 1 Ligue o monitor do TV.
- 2 Ligue os outros equipamentos a serem usados para a videoconferência.
- 3 Coloque o interruptor de alimentação no lado direito do Terminal de Comunicação na posição ligado (I).





O Terminal de Comunicação será ligado após alguns instantes. Três indicadores na frente do Terminal de Comunicação e o indicador POWER na luz da câmera, em seguida somente os indicadores POWER nas duas unidades permanecem acesos em verdes. O menu de inicialização será exibido na tela do monitor e a fotografia tirada pela câmera local também será exibida no menu de inicialização..

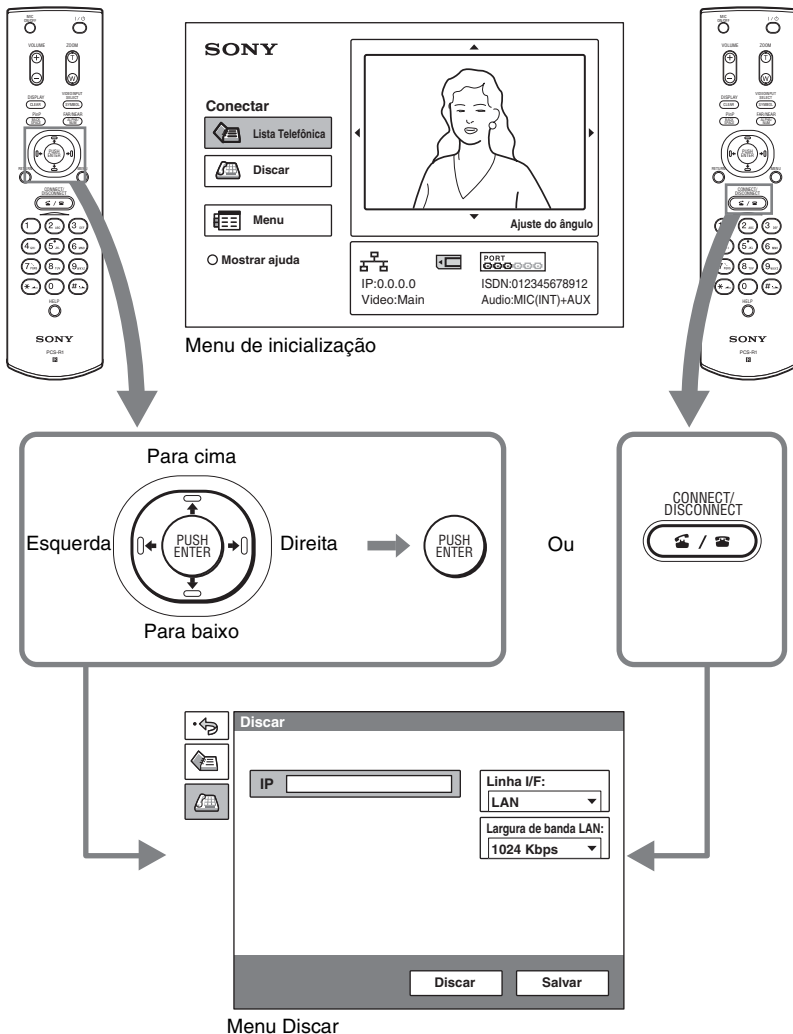


* A ilustração do menu de lançamento neste guia mostra exemplo de quando a unidade PCS-B768 ISDN foi usada. O indicador da porta difere do exemplo de quando usar a Unidade PCS-B384 ISDN.

Chamando um local remoto

Este guia mostra como chamar um local remoto não registrado na lista telefônica.

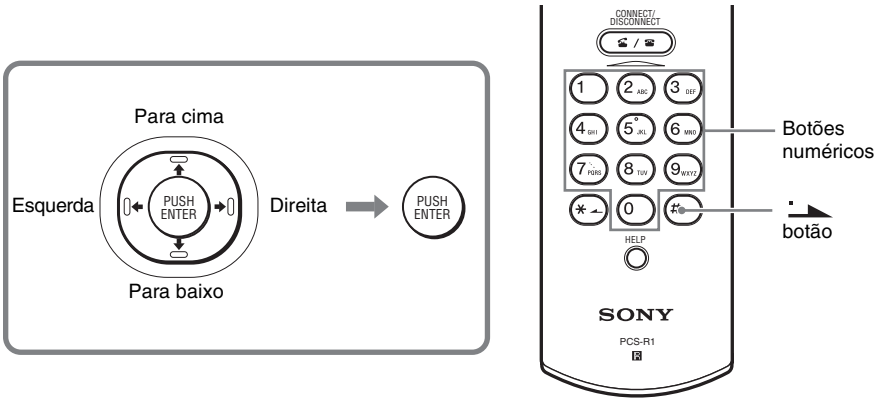
- 1 Pressione o botão **↑**, **↓**, **←** ou **→** no Controle Remoto para selecionar “Discar” no menu de inicialização e pressione o botão **PUSH ENTER** ou pressione o botão **CONNECT/DISCONNECT** ( / ).
O menu Discar será exibido na tela do monitor.



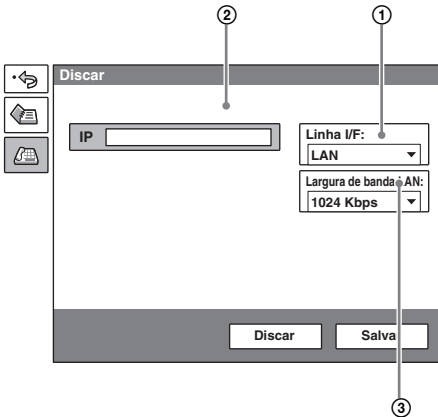
2 Configure os itens no menu Discar.

Use o botão **↑**, **↓**, **←** ou **→** para selecionar o item a ser configurado, em seguida, pressione o botão **PUSH ENTER**.

Para inserir os numerais, use os botões numéricos e **.** (ponto).

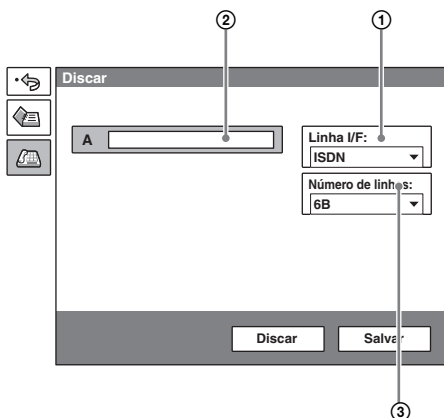


Quando você conecta um local remoto através de LAN



- 1 Selecione "Linha I/F", em seguida, selecione "LAN" no menu secundário.
- 2 Selecione a caixa de texto IP e insira o endereço IP do local remoto usando os botões numéricos e o botão de **.** (ponto) no Controle Remoto.
- 3 Selecione "Largura de banda LAN" e selecione a largura de banda que estiver usando.



Quando você conecta um local remoto através de ISDN



① Selecione “Linha I/F”, em seguida, selecione “ISDN” no menu secundário.

② Selecione a caixa de texto do número de telefone e digite o número do local remoto com os botões numéricos no Controle Remoto.

③ Selecione “Número de linhas” e, em seguida, selecione o número de canais a serem usados quando discar ao local remoto.

3 Use o botão **↑**, **↓**, **←** ou **→** para selecionar “Discar” na parte inferior do menu Discar, em seguida, pressione o botão PUSH ENTER ou o botão CONNECT/DISCONNECT ( / ).

Quando o sistema conecta-se ao local remoto, a mensagem “A reunião começa!” é apresentada e a tela é exibida como a seguir.



Ajustando a imagem e o som

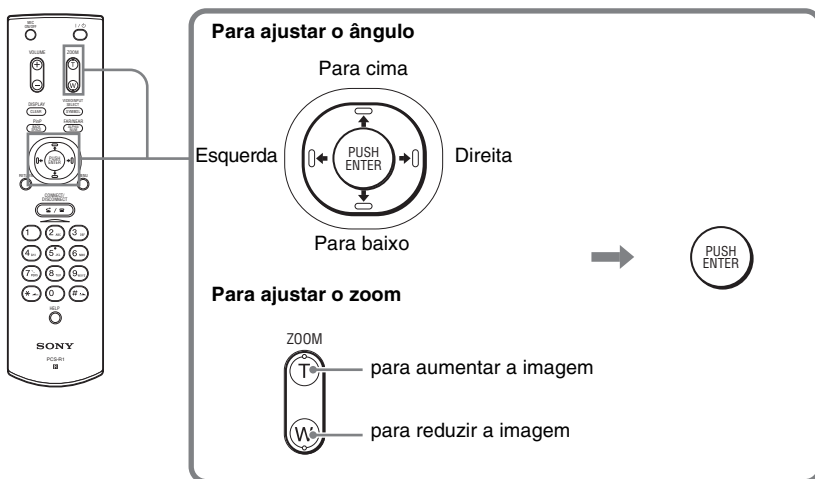
Ajustando o zoom e o ângulo da câmera

Para ajustar quando não estiver em comunicação

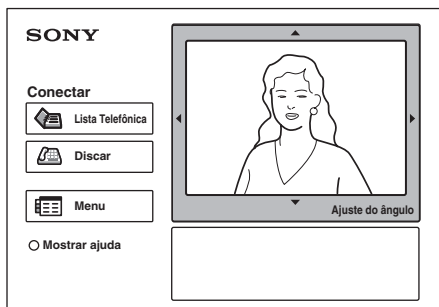
Use o botão **↑**, **↓**, **←** ou **→** no Controle Remoto para selecionar a imagem no menu de inicialização, em seguida, pressione o botão **PUSH ENTER**.

Pressione o botão **↑**, **↓**, **←** ou **→** para ajustar o ângulo da câmera e o botão **ZOOM T/W** para ajustar o zoom.

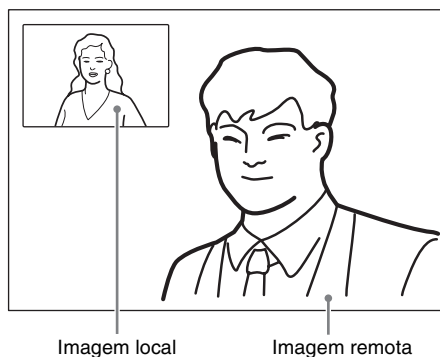
Após o ajuste, pressione o botão **PUSH ENTER**.



Quando não estiver em comunicação



Quando estiver em comunicação



Para ajustar quando estiver em comunicação

Ajuste o ângulo da imagem e do zoom no ambiente local com os botões **▲/▼/◀/▶** e **ZOOM T/W** no Controle Remoto.

Consulte as Instruções de Operação para ajustar o ângulo da câmera da imagem e ajustar o zoom no local remoto.

Ajustando o volume

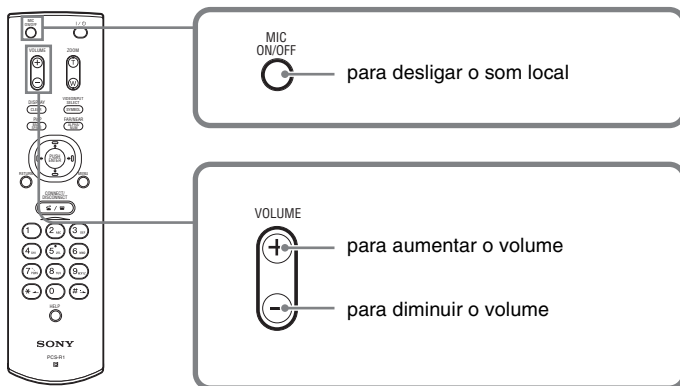
Para ajustar o volume do som recebido do local remoto

Pressione o botão **VOLUME +/-** no Controle Remoto.

Para desligar o som do ambiente local enviado ao local remoto



Pressione o botão **MIC ON/OFF** no Controle Remoto.

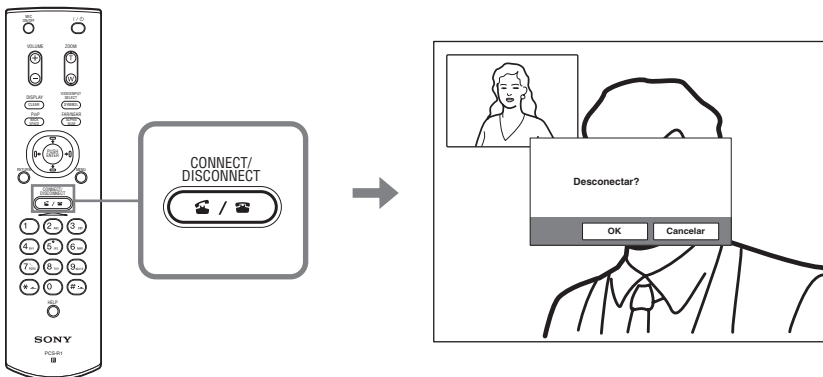
O indicador “**MIC OFF**” é exibido na tela do monitor. Para restaurar o som, pressione o botão **MIC ON/OFF** novamente.







Encerrando a conferência


Desconectando a linha

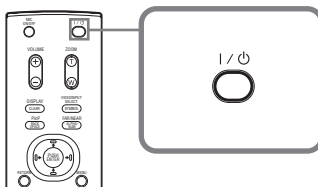
- 1 Pressione o botão CONNECT/DISCONNECT ( / ) no Controle Remoto.
A mensagem “Desconectar?” é exibida na tela do monitor.



- 2 Pressione o botão  ou  no Controle Remoto para selecionar “OK”, em seguida, pressione o botão PUSH ENTER ou o botão CONNECT/DISCONNECT ( / ).
A linha é desconectada e o menu de inicialização é restaurado.

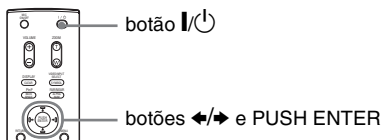
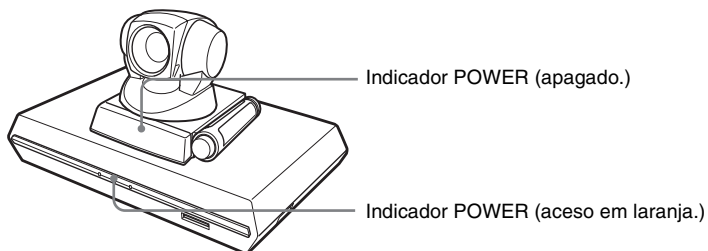
Configurando o sistema para o modo de espera

- 1 Pressione o botão  no Controle Remoto.
A mensagem “Desligar?” será exibida na tela do monitor.



- 2 Pressione o botão  ou  no Controle Remoto para selecionar “OK”, em seguida, pressione o botão PUSH ENTER ou o botão .

O sistema entra no modo de espera e o indicador POWER no Terminal de Comunicação acende em laranja.



Quando o sistema estiver nesse status, ligue-o com o botão I/O no Controle Remoto.

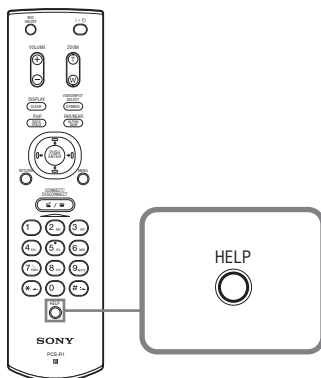
Se o sistema receber uma chamada, o modo de espera será automaticamente cancelado e o sistema será desconectado.

Para desligar a energia

Coloque o interruptor de alimentação no lado direito do Terminal de Comunicação na posição de desligado (O) e desligue os outros equipamentos usados para a videoconferência.

Exibindo a Ajuda

Pressionar o botão HELP no Controle Remoto exibe um balão ou uma tela de ajuda para orientar a maioria das operações na tela do monitor.

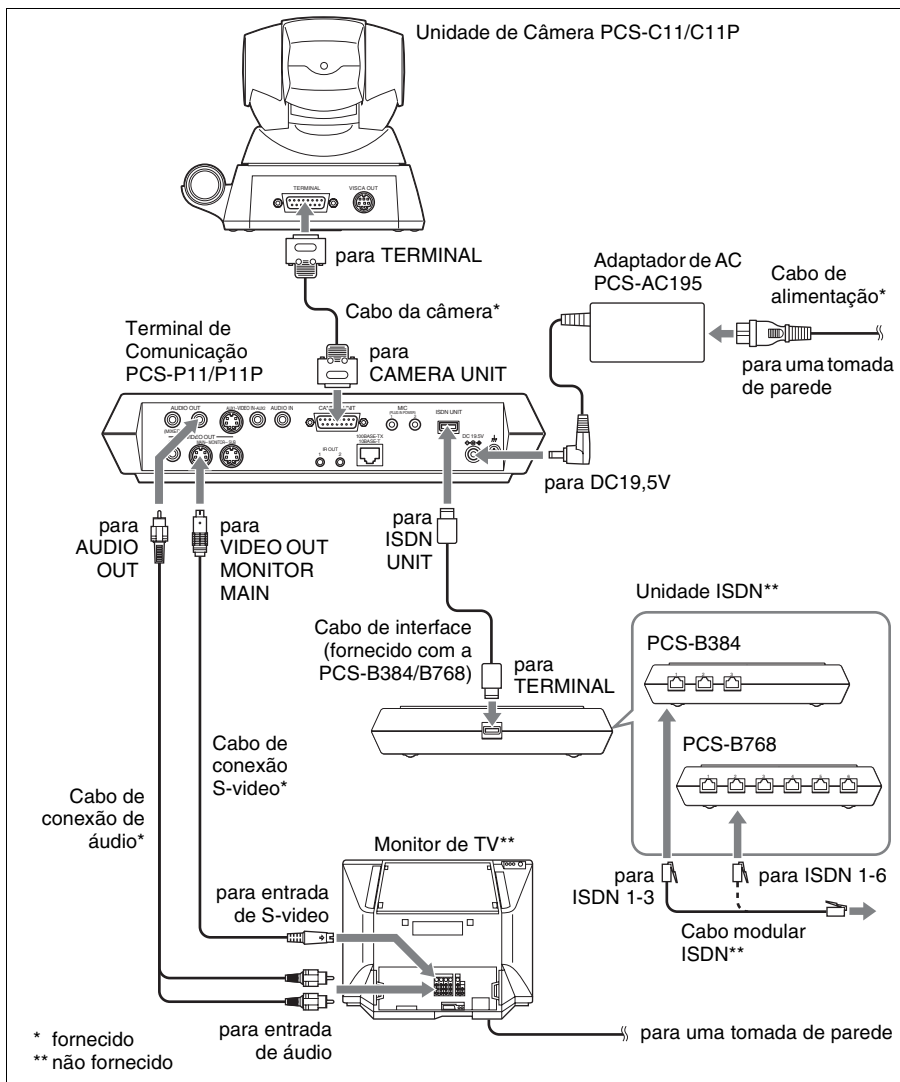


Para ocultar a guia da ajuda, pressione o botão HELP novamente.

Conexão do sistema via ISDN

Notas

- Não conecte/desconecte o cabo da câmera ou o cabo da interface com a energia ligada. Caso contrário, poderá ocorrer dano à Unidade de Câmera, ao Terminal de Comunicação ou à Unidade ISDN.
- Usado com a Unidade ISDN pela primeira vez, o Terminal de Comunicação poderá fazer automaticamente o upgrade do software da Unidade ISDN. Enquanto a mensagem de atualização estiver sendo exibida na tela do monitor, não desligue o Terminal de Comunicação. Caso contrário, isso poderá causar o mau funcionamento do sistema.



Características técnicas

Terminal de Comunicação PCS-P11/P11P

Esta unidade é compatível com as Recomendações ITU-T H.320 e H.323.

Imagem com movimento

Largura de banda operacional	64 Kbps a 1024 Kbps (padrão, conexão LAN) 56 Kbps a 384 Kbps (ao instalar o PCS-B384, conexão ISDN) 56 Kbps a 768 Kbps (ao instalar o PCS-B768, conexão ISDN)
Codificação	H.261/H.263/H.263+/H.263+/ H.264 (Recomendação ITU-T)
Resolução	CIF: 352 pixels × 288 linhas QCIF: 176 pixels × 144 linhas
Sistema de cor	NTSC (PCS-P11) PAL (PCS-P11P) Capaz de efetuar conexão entre ambos os sistemas de cor

Imagem Congelada

Pixels	704 pixels × 480 linhas (PCS-P11) 704 pixels × 576 linhas (PCS-P11P)
Codificação	Anexo H.261 (Recomendação ITU-T). D (4CIF) H.263 (formato especial deste sistema)

Som

Largura de banda	7 kHz (G.722 compatível com a Recomendação ITU-T) 3,4 kHz (G.711/G.728 compatível com a Recomendação ITU-T)
Velocidade de transmissão	56 Kbps, 64 Kbps (G.711 compatível com a Recomendação ITU-T) 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 compatível com a Recomendação ITU-T) 16 Kbps (G.728 compatível com a Recomendação ITU-T)

Rede

Multiplexação	Vídeo, áudio, dados
Formato do quadro	H.221 (compatível com a Recomendação ITU-T)
Interface	LAN (padrão), 64 Kbps a 1024 Kbps ISDN (BRI), até 3 linhas (ao instalar a unidade PCS-B384), até 6 linhas (ao instalar a unidade PCS-B768)
Velocidade de transmissão de dados	LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
Protocolo LAN suportado	HTTP FTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP

Controle remoto

Controle da câmera remota	H.281 (compatível com a Recomendação ITU-T)
Transferência de dados	T.120 (compatível com a Recomendação ITU-T)

Geral

Requisitos de energia	19,5 V
Consumo de energia	3,0 A
Temperatura de funcionamento	5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento	20% a 80%
Temperatura de armazenamento	-20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento	20% a 80% (sem condensação)
Dimensões	258 × 54 × 171 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
Peso	Aprox. 1,3 kg
Acessórios fornecidos	Controle remoto PCS-R1 (1) Pilhas tamanho AA (R6) para o controle remoto (2) Repetidor IR (2) Cabo de câmera (0,25 m) (1) Cabo de conexão S-video (1,5 m) (1)

Cabo de conexão de áudio (1 m)
(1)
Adaptador PCS-AC195 para CA
(1)
Cabo de alimentação (1)
Adaptador de 21 pinos (1)
(somente PCS-P11P)
Velcro (3 para a Unidade de
Câmera, 2 para o Terminal de
Comunicação)
CD-ROM (1)
Guia de operação (1)
Garantia (1)

Unidade de Câmera PCS-C11/C11P

Sinal de vídeo

Padrão de cor NTSC, padrões EIA
(PCS-C11)
Padrão de cor PAL, padrões CCIR
(PCS-C11P)

Dispositivo de imagem

1/4 tipo CCD (Charge Coupled
Device)

Aprox. 410.000 pixels (Efetivos:
aprox. 380.000 pixels)
(PCS-C11)

Aprox. 470.000 pixels (Efetivos:
aprox. 440.000 pixels)
(PCS-C11P)

Lente

$f = 3,1$ a 31 mm, $F 1,8$ a $2,9$,
Ângulo horizontal $6,6^\circ$ a 65°

Distância focal

100 (WIDE) a 600 (TELE) mm

Iluminação mínima

3,5 lux a $F 1,8/50$ IRE

Faixa de iluminação

3,5 lux a 100.000 lux

Resolução horizontal

470 linhas de TV (PCS-C11)
450 linhas de TV (PCS-C11P)

Ação de pan/tilt (girar/inclinar)

Horizontal $\pm 100^\circ$
Vertical $\pm 25^\circ$

Dimensão

$147 \times 130 \times 138$ mm (l/a/p) (não
incluindo as partes projetadas)

Peso

Aprox. 1,1 kg

Microfone

Faixa de frequência

18 kHz

Característica direcional

Direcional com ângulo fechado

Controle Remoto PCS-R1

Formato do sinal

Infravermelho SIRCS

Controle

CC 3 V usando duas pilhas de
tamanho AA (R6)

Dimensões

$50 \times 24 \times 197$ mm (l/a/p) (não
incluindo as partes projetadas)

Peso

Aprox. 140 g (incluindo as
baterias)

Adaptador PCS-AC195 para CA

Requisitos de energia

100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 1,3 A
a 0,6 A

Saída

19,5 V, 4,1A

Temperatura de funcionamento

5°C a 35°C

Umidade para o funcionamento

20% a 80%

Temperatura de armazenamento

-20°C a $+60^\circ\text{C}$

Umidade para o armazenamento

20% a 80% (sem condensação)

Dimensões

$63 \times 31 \times 140$ mm (l/a/p)

Peso

Aprox. 410 g

Microfone PCS-A1 (Opcional)

Largura de banda

13 kHz

Característica direcional

Multidirecional

Dimensões

$74 \times 16 \times 93$ mm (l/a/p)

Peso

Aprox. 170 g

Alimentação

Alimentação interna

Microfone PCS-A300 (Opcional)

Largura de banda

13 kHz

Característica direcional

Unidirecional

Dimensão

$68 \times 16 \times 96$ mm (l/a/p)

Peso

Aprox. 200 g

Alimentação

Alimentação interna

Unidade ISDN PCS-B384 (Opcional)

Requisitos de energia

19,5 V

Consumo de energia

0,3 A

Temperatura de funcionamento

5°C a 35°C

Umidade para o funcionamento

20% a 80%

Temperatura de armazenamento
-20°C a +60°C

Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)

Dimensões 165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não
incluindo as partes projetadas)

Peso Aprox. 400 g

Acessórios fornecidos
Cabo de interface (5 m) (1)
Instruções de Operação (1)
Garantia (1)

Unidade ISDN PCS-B768 (Opcional)

Requisitos de energia
19,5 V

Consumo de energia
0,5 A

Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C

Umidade para o funcionamento
20% a 80%

Temperatura de armazenamento
-20°C a +60°C

Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)

Dimensões 165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não
incluindo as partes projetadas)

Peso Aprox. 400 g

Acessórios fornecidos
Cabo de interface (5 m) (1)
Instruções de Operação (1)
Garantia (1)

Projeto e características técnicas sujeitas a
alteração sem prévia notificação.

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.net/>

Sony Corporation